

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（586）
2. 日 時：令和5年11月16日 10時00分～12時05分※一時中断
13時30分～15時45分
15時55分～17時15分
3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、天野安全管理調査官、江崎企画調査官、
宮本上席安全審査官、秋本主任安全審査官※、熊谷主任安全審査官、
藤原主任安全審査官、小野安全審査官、谷口技術参与、中房技術参与、
三浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

大橋副主任技術研究調査官

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（安全技術担当）、他14名

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 耐津波設計方針について（燃料等輸送船の検討状況）
- （2）泊発電所3号炉 防潮堤の構造成立性確認結果及び指摘事項に対する回答
- （3）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第5条 津波による損傷の防止（DB05 r. 3. 33）
- （4）泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項に対する回答一覧表（第5条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針））
- （5）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第5条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針））
- （6）泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 第5条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針）
- （7）泊発電所3号炉 防潮堤の構造成立性評価方針について（止水ジョイントの設計方針及び指摘事項に対する回答）

- (8) 泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第5条 津波による損傷の防止（止水ジョイントの設計方針）
（DB05 r. 3. 34）
- (9) 泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項に対する回答一覧表（第5条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針））
- (10) 泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第5条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針））
- (11) 泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 第5条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	規制庁フジワラですそれは時間がありましたのでヒアリング始めます。泊発電所3号炉耐津波設計方針について、燃料等造成の検討状況、事業者の方から説明してください。
0:00:12	はい。北海道電力の高橋です。本日は泊3号炉の耐津波設計方針のうちの燃料等輸送性の検討状況ということで、
0:00:23	今まで2回ほど審査会合の場で口頭でご説明してございましたけれども、今回資料化して、
0:00:33	よくご用意をさせていただいております。特に今までと違まして燃料等輸送線、燃料輸送線のですね、
0:00:43	退避訓練を実施してますので、そういったところでそれ以外の検討状況といったようなところで、ご説明させていただきます。説明は村島の方からさせていただきます。
0:00:57	はい。北海道電力の村島でございます。それでは資料1といたしまして燃料等輸送線の検討状況についてご説明させていただきます。
0:01:07	1枚めくっていただきまして1ページ目ですけども、燃料という宗線の検討状況ということで、現状、藤一井。
0:01:16	上段の緑の丸で書いてますけども、燃料という創生の漂流物評価に関しましては、現在、議論を重ねているところでありまして、まだ最終結論には至っていない状況でございますが、
0:01:30	現状の検討状況ということで中間報告という形で資料を作成してございます。
0:01:36	その下、指摘事項を再掲しておりますけども、第1177回の審査会合において二つのご指摘いただいております。一つ目が、
0:01:47	緊急退避の成立性について不確かさを考慮した上で、対比できることを説明すること。
0:01:54	二つ目が、十分な余裕時間が確保できない可能性も踏まえて緊急退避できない場合、その他の対策によって漂流物とならないことを説明することと。
0:02:05	ということでご指摘いただいております。現状の検討状況でございますが、燃料等輸送線の緊急退避の成立性を確認するために、輸送線実機をですね、泊発電所の専用港湾に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:18	呼んでですね、緊急退避の訓練を実施してございます。当初、提示していた、離岸に必要な時間として16分とご説明していましたが、
0:02:30	この16分に対しては、
0:02:32	7分25秒に短縮することが可能となっております。
0:02:37	この7分25秒を基にですね14分以内に小口対比できるものを確認したところでございますが、ご指摘いただいている、不確かさの考慮を
0:02:48	ここ、考えますと退避に要する十分な時間を確保できない可能性を否定できない状況と考えてございます。
0:02:56	その二つ目ですけどもそのため、燃料という創世の漂流物化を防止する対策については、これまで時間短縮による緊急退避を主の方針としておりましたが、
0:03:08	退避を要しない漂流物化防止対策について、現状検討を進めているというところでございます。
0:03:15	三つ目ですけども、燃料という操作が漂流物とならないこと、及び再稼働工程の影響も踏まえて、係留索の緊急退避できない場合の、
0:03:25	漂流物化防止対策については、現在、継続検討中という状況でございますので、対策の成立性を含めまして、次回会合でお示しさせていただくということで考えてございます。
0:03:40	1枚めくっていただきまして2枚目です。緊急退避の時間短縮検討の具体的なお話でございますが、当初の16分、想定していたところのさらなる短縮ということで、
0:03:54	下の方に記載しております。実感短縮として考慮した部分でございますが、巻き上げ速度の速いクレーンの採用ということで、仮設クレーンによる干渉回避、
0:04:05	それから、係留方法の手順の合理化ということで、実際の現状手順から、合理化できるところを、訓練の中で整理して実施したと。
0:04:17	いう状況です。それから通常1隻のタグボート2席に増加することで、離岸までの時間を短縮していると、そういう状況のもとで、訓練を行ったと。
0:04:28	その結果が7分25秒、それから小口までの対比でトータルで13分28秒という数字を確認してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:38	1枚めくっていただきまして、3ページ目ですが、現状ご説明した7分それから13分に関しましては、単純なその積み上げ、
0:04:48	の時間としては、継続時間の実績として14分以内に緊急退避できることを確認してございますが、
0:04:55	やはり不確かさを考慮した場合には、津波到達までに十分な余裕時間を確保できない可能性は否定できない状況と考えてございますので、対比できない場合の、
0:05:06	漂流物化防止対策を今検討を進めているところでございます。
0:05:11	下の表でございまして、前回会合からの検討進捗といたしまして、まず一つ目に記載しております、係留具に関してです。
0:05:20	係留に関しましては、専用港湾内に海底シンカーを配置して、海域からの経理をすることで漂流物化を防止する方策等について継続、検討をしているところでございます。
0:05:33	現状に関しましては、輸送線係留位置における津波に、津波時に作用する係留索への荷重等を算出しているという状況でございます。
0:05:44	二つ目の公害定額でございまして、これは泊の専用高温を使用しないで、一般同士をして他のエリアから事業所外運搬を行う案でございまして、
0:05:56	こちらに関しましては、警備体制の構築ですとか、事案機関との連携、こういうものが必要になってきまして、少なからず原子力発電所としてのセキュリティのリスクが増加すると。
0:06:09	いうことは否定できないと考えておりますので、この方策具に関しましては、123、
0:06:16	この辺の特質を比較した上で、現状判断していくということで進めております。
0:06:23	三つ目の時間短縮でございまして、先ほどご説明いたしました通り、時間短縮に関しては、概ね14分に収まるというのは、カウント上は確認できたもののやはり不確かさを考慮した場合の、
0:06:38	時間的な余裕というのが十分ご説明できるという状況ではない可能性がありますので、こちらに関しては、例えば時間短縮具の話で船を造船して早く出すということも、
0:06:52	考えてございますが、これを作ったとしても、不確かさを十分補えるほどの時間短縮はちょっと難しいかなと思っておりますのでこれも含めまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:02	最有力呉をきちっと整理してですね、今後、会合でお示したいと考えてございます。
0:07:10	簡単ではございますが、資料のご説明は以上です。
0:07:14	規制庁藤原です。質疑に入りたいと思います。私の方からまず今回の事業者の中間報告というのは、まず、訓練をやって、
0:07:25	大体の退避時間を見つけて、緊急退避はちょっと何かもう不確かさを超えるという難しかろうで、以前の会合で述べた構外軽薄とか、新造船とかの話についても、
0:07:37	一応公開把握はちょっと今検討中ですけど、時間短縮の方は、
0:07:44	特に心臓性がちょっと困難の可能性が結構高い。その辺と、あと係留というところについては、今、
0:07:54	前回会合時に、この3ページの前回会合中、あれすかね8月の会合からの検討というふうなことかなと思うんですけど、
0:08:04	輸送線係留位置における津波時に採用する計画の荷重を算出して、多分ここら辺ぐらいを多分言いたいのだろうと思いました。でそこから、
0:08:14	なんですけども、中間報告というのと、一応ちょっと私たちがイメージした中間報告というのは、どちらかというとその溪流がやったときにどこまでの
0:08:25	何ですかね実現可能性があるのかなあっていうところがちょっともしかしたらもうちょっと出てくるのかなとやや思ったところだったんですね。そういった踏まえて
0:08:35	今、作業スケジュール上1月の末に説明をすると言っているものというのはどんな内容が出てくるのかというところがちょっといまいまいちなかなかちょっと今、今回の資料では見えづらくてですね。
0:08:48	その辺ってどうなんでしょうかね今の1月の末に向けた、
0:08:54	取り組みの状況って何か今いえることでありますか。
0:08:57	北海道電力金田でございます。まだその書き物として、提示できないので今日今回こういう形になってるんですけども、海側からの係留としましては、船首船尾側の方に船首の
0:09:10	後、前より少し交換会入れた場所、あと少し見継4ヶ所で係留する形にして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:20	船自体がその津波が来てもあまり動かない、勝ちには止められず、そもそも最初のスキームの2時間かけちゃいけませんから、その形で揺動がそんなに大きく起こらないような形で、
0:09:31	船がとまってる場所の流速とか流況とか、波高を考慮して、いろんな試験をまず用いまして、どれぐらいの力が船にかかるのかということは今算出する最中でございます。
0:09:43	船主側の方ですと、船をもっと進んでいく方向ですから選手があまり力かからないんですね。
0:09:48	やはり尖足側の方から力がかかりますので、そのときの流速を他社でもやってるような理論値と同じような形のものを使いまして、実際にかかる、その船にかかる力を出して、
0:10:00	それを実際つなぐロープの聴力としてどれぐらいに出るのかということを見まして安全率と考えましてそれで成立するような形にすることを今考えております。
0:10:11	具体的にはまだお示しするものはなかなかないんですけども、ロープ自体は世の中の的にはいろいろ強いものがございます、
0:10:19	今考えてるのとしては、国内で大きいものとして度洋上風力と結構違うのが今出ておりますし、あとは今もう実績として30年ぐらいあるものとして佐呂間で様の方で流氷入ってくるのを抑えるロープとかあるんですよ。
0:10:32	そういうのってのは500トンクラスぐらいの聴力があるものもありますので、そういうものを活用することも考えた上で、当社、当社で考えてる泊に来る津波の流速を、
0:10:44	船が実際に止まっている場所での流速をしっかりと評価した上で、聴力を評価して、実現するようなものを、今、作るように今検討しております。
0:10:54	予定としましては、今藤原さんがおっしゃったように、1月の中旬から下旬ぐらいでのヒアリングを目指して、資料の方を作成進めておりますので、今いえることはそこまででございます。以上です。
0:11:07	阿武山規制庁フジワラですちょっとごめんなさいねえと。
0:11:12	私が説明の1月の設定値の審査会合の話をちょっとイメージしたんで、ヒアリングが1月の中旬再度審査会合というのはまだちょっと難しそうなイメージとですね北海道でございます。すいません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:25	審査会合につきましてはその次の2月というところで今、目標を立てて、
0:11:31	今回の係留の策についての総検討を進めているというのが実情でございます。規制庁じゃない作業スケジュール、
0:11:40	のA3の紙のベースでお話を私お伺いしたんですけど、一番上の中に今、星マークがついたかと思ってるんですけど、これ今、すいません金田でございます。
0:11:50	今の社内での検討をまだそこまで行ってないんですけども今ちょっと実情でっていうことで、正直なところ燃すといいますと1月の下旬のヒアリング、審査会合というのが、
0:12:00	無理筋じゃないと思っておりますけれどもやはりしっかりした検討を進めなきゃいけないですし、今回やはりこの係留素で成立させないことには、対比ができないとなりますと、代替策がなかなかないというのが実情ですから、
0:12:13	今後しっかり検討していくので、多少時間を要する可能性があると思っております、遅くとも2月には、
0:12:20	審査会をやりたいと思っております可能であれば1月という今の目標を達成すべき検討を進めてますけれども、実際やってる側としましては、多少ちょっと無理があるのかなというのが実態でございます。
0:12:31	規制庁フジワラさん、大体流れはわかりましたで、ちょっともう1点だけちょっと留意いただきたいのが、今、係留素になんか偉いフォーカスをして、そちら取り組まれてますけども、
0:12:43	大津大まかなその考え方ですかね要は改定において、そこはどういうふうな形で、流れていかないようにするのか、その
0:12:53	後段の説明としてその係留素の実現可能性とかいろいろあると思うんですね。で、そういった、何ていうかね送信とかいうのはやっぱり審査プロセスの改善という観点では、
0:13:05	概ねほぼ何らかの方法だけでも、要は検討なんか偉い進めていく前にでも、何かやらないと手戻りがやっぱ生じるというのもありますので、一応ちょっと私から申し上げておきたいのは、
0:13:17	もしそう言ったんですかね。いきなり結論ドンて持ってくるっていうのもあるかもしれないけど、手戻りを防止すると、ある程度方針だけでも何か何かいえるような、そういった取り組みを何か考えてもいいのかなと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:31	よろしいですかね。なんかあんまりそのいきなりなんか2月の末ぐらいなんか中旬河成ぐらいに持ってくるのではなく、その辺をちょっと踏まえていいですかね、ご検討は。
0:13:42	1頭を体操して行いたいと思います。
0:13:46	はい。北海道電力の村島です。ただいま5面と、承知いたしました現状、資料作成におきまして、今コメントいただきました
0:13:57	全体の流れですね、どのような対策がどう有効になるのかというところはフローで作って、資料の冒頭でお示した上で、最有力となるものはこの対策ですというふうに
0:14:11	全体の流れをまず示そうと考えてございますので、その流れを整理でき次第ですね、別に、結果が示される前にですね全体の方針はお示しすることはできると思っていますので、
0:14:24	その方向で調整をかけていきたいと思います。以上です。
0:14:42	すいません規制庁田内です。今大体、
0:14:45	スケジュール的に何か1月と2月ということで何かお話は聞いていて、それに向けて何かいろいろと協力会社とかあと、
0:14:58	検討されてると思うんですけども、
0:15:00	先ほど藤原も言った通り、
0:15:04	こういった方法で達成するんですよっていうのをあらかじめ、少し検討の途上でもいいんで示してもらった方がいいのかなと思っています。だから例えばね、今、
0:15:14	シンカーとその係留索刀禰なんかで、何かもうロープの強度みたいなものなんかやってるけども、
0:15:22	すでに何か一つ、呉の方法をもうそれを達成するがゆえにも検討しているのか、それとも他の方法も係留に、
0:15:32	対してもいくつか方法あるとは思いますがそういったところも検討中なのか、そこら辺も少し見えるような形で示していただけますかね。ですそういう意味ではもう1本に絞っているんなら、
0:15:43	そこら辺はもう押す、早めにしてもらって、それで技術的に、要はカセ可能なものなのかどうかというところを、後で説明いただくって話になるのかもしれないんですけども、
0:15:56	そういうところは少し示していただければと思うんですが、
0:16:00	北海道立カナダでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:03	今海側からの方の係留というふうにしますその前に、事前に陸側の話であるとか、あと海側でも係留索幾つにするのかとか、そういうことについて一応中では議論しておりました。
0:16:15	今は一番現実的にやれそうなものとして考えているのは先ほど冒頭申し上げたような4ヶ所ぐらいから係留するのだろうと思っております。今その数値とかそういうところまでの説明できませんけれども、
0:16:28	そのコンセプトとしてこういうやり方で経理をしようということを考えているということをお示しするのは、ちょっと今すぐというわけにはいかないですけども、
0:16:38	何らかの形でお示しすることもできると思いますちょっとその辺考えさせていただくことでよろしいでしょうか。
0:16:50	はい。規制庁藤原です。一応今回のこの資料というのは審査会合12月7日に向けた紙資料ということで、その時に作業スケジュールとかもあるとは思いますがそれと、
0:17:02	どう反映するかってのはまだ今後、また見させていただきたいと思っております、はい、じゃあ引き続きまたコメント。
0:17:09	この資料に関しての内容ちょっと1点だけ私細かい話をさせていただきますけども、2ページ目ちょっと開いていただいでですね。
0:17:16	ちょっとこの資料でわかんなかったのは下の方に※1振ってある、既存の港湾事務クレーンについては撤去することも検討中これ、
0:17:26	あれですかね経理するという方向に変えたとしても鉄橋されるという、
0:17:31	ことでいいですかね仮設クレーンでやると。
0:17:37	はい。北海道電力、村島ですただいまのご質問いただきました一部クレーンに関しましては、係留を採用した場合でも、撤去すると。
0:17:47	いうことで考えております。
0:17:49	ちょっとまだ具体的な図面とお示しできている状況ではございませんがこの係留を行うために、荷揚バーにご接岸する位置が若干変わるという状況もございますのでそうなると思います、クレーンの取り回しがなかなか難しくなってくると。
0:18:05	いう、位置的な関係もございまして、基本的には撤去する方向と考えてございます。以上です。はい。規制庁志田です。理由が書いてなかったんですけど、今の話理由はわかりました。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:18	その他確認ありますか。
0:18:27	規制庁熊谷です。はい。
0:18:29	今回わざわざ訓練もされたということなのでちょっと訓練の状況についてお伺いできればと思うんですけども。
0:18:35	訓練のとき、
0:18:37	船ってのはもう、
0:18:39	値上岸壁にもう完璧に着岸してる状態から提案して、小口まで入って書かれてですね、坑口っていうの大体どういったところが坑口っていうことにあるんですかね、ちょっとそこら辺私イメージがわからなかったなので、教えていただければと思います。
0:18:56	はい。北海道電力村島です。まず、船の離岸のスタート位置でございますが、通常値上げを利益作業している状態からスタートしますので、
0:19:10	荷揚げ場に切断した状態で係留策をつけたという状況からスタートしてございます。もう一つ坑口までというところに関しましては、
0:19:22	訓練のポイントとして、まず、今、防波堤が二つございまして、北側防波堤南側防波堤とありますけどもその先端部を直線で引いてですね、
0:19:37	そこを通過するまでの時間を計測するということでそこを坑口と設定いたしました。
0:19:43	以上です。
0:19:47	規制庁小牧です。はい、わかりました。
0:19:50	ちなみにその、
0:19:51	坑口のところで出るところっていうのは、やっぱりその、
0:19:56	北川の方はちょっと多かたりするんですが南側の方が違ったりとかそこら辺はあんまり、距離的にはどちらもあんまり変わらないような状況ですか。
0:20:05	はい。北海道電力村島です。衛藤小口はすいません私の説明が悪くて申し訳ないですけどもうちの一つしかないんですね。
0:20:14	その坑口の両サイドに先ほどご説明しました北側防波堤、それから南側防波堤がありますので、この南側防波堤北側防波堤の、
0:20:25	線先端を直線で結んで、ここを
0:20:30	船が通過するまでの時間を継続してください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:33	わかりましたそこに何か航路みたいなのがあってそこが小口に設定されてるっていうようなイメージではい。その通りでございます。はい、わかりました。はい。私から以上です。
0:20:43	規制庁一定のちょっと聞き忘れたんすけど、今燃料と輸送線だけを今ピックアップしてんすけどその他5月んついても以前審査会合でコメント、
0:20:55	出した方はですね車両とか作業性とかその辺って、今状況ってどんな感じなんですかね。
0:21:01	はい。北海道電力村島です。
0:21:05	燃料という創生の中には燃料輸送線の今、使用済み燃料を輸送する船、それから振鈴量を輸送する分それから、LLWとして放射性廃棄物を輸送する船、こちらも
0:21:21	ご指摘、会合の中でお話もあったものと考えてございますので、資料課といたしましてはまずは船に関しましては、燃料輸送線それから、
0:21:33	LLWを搬出する輸送線、こちらに関しては
0:21:39	整理をかけております。その他陸域にあります車両関係に関しましても、整理をしているという状況でございます。
0:21:50	規制庁シゲマスで整理をしてるっていうのは、
0:21:54	今の状況がどうかっていう、その整理整理の内容ってどういうことですかね。すいません、村島です。今船に関しましては、
0:22:04	燃料輸送線をベースにした漂流、こちらをまず整理を検討を進めておまして、船のサイズでいきますと、LLWを搬出する船も同サイズ呉ですので、
0:22:19	そちらの係留も達成できるように検討を進めているところでございます。一方で陸側作業に関しましては、重機や車両等ございますので、
0:22:29	そちらが漂流物になるかならないか、それから漂流物にならないとしても活動をするかしないか、このような観点で漂流物の評価は進めてございます。
0:22:40	あと、作業員の退避に関しましても、それらの作業を行っても、高台に逃げるような退避が、時間的に成立するということも含めまして検討を進めているという状況でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:55	規制庁志田ですわかりました。一応今の話では2月、1月の末ぐらいに今予定している、説明の中にも何か出てくる項目なのかなという、思ったりしますけど、いかがですかね。
0:23:09	はい。北海道電力村島です。そちらの時間の積み上げ、それから車両船の検討状況も含めまして、2月の会合に向けた資料の中には、
0:23:20	資料化してご説明したいと考えてございます。
0:23:25	すいません。1月の末です。はい。規制庁じゃわかりました。ホソノ確認。
0:23:34	規制庁長瀬ですちょっと確認したかったんですけど、今やった訓練というのは、
0:23:40	既設の事務くらい使わないとすれば、何か移動式クレーンを、
0:23:45	訓練したということでしょうか。
0:23:50	はい。北海道電力村島です。はい。ご指摘いただいた通りでございまして、パワーポイントの2枚目に書いてますこのクレーンと言ってますのは、仮設のクレーンで750tクラスのクレーンを用いて実施しております。以上です。
0:24:04	すいませんナゴ10tくらいなると、対比は難しいと思うんですけど、それは漂流物にならないという評価はされてるということなんですか。
0:24:14	はい。北海道電力村島です。このクレーンに関しましては比重によって、まず、表裏物にはならないということをご説明できると考えてございます。
0:24:25	でも運転手とか作業員は退避できるという状況でしょうか。はい。そのご認識で結構です。はい、了解しました。
0:24:36	今日答え求めてないですけど、中さんが言ってる話で、
0:24:41	この移動強いクレーンする。
0:24:43	ですけども、各ボードも漂流物1個ふやしちゃってるんで、こうしたものも基本的に対比、
0:24:50	するのか。
0:24:51	ぶつかる対象にするのか、それも含めて今後検討しておいてください。何かこういった対応するとともにですね、漂流物になり得るものが、
0:25:02	あるんであればそれを対応に関しても、一応、網羅的に検討していただきますっていただけお伝えときます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:08	はい。北海道電力村島です。ご指摘承知いたしました。呉に関しましても、漂流物になるかならないか、ならない場合でも、活動の影響で、影響与えるような状況になるかどうかこちらも整理をかけて参ります。以上です。
0:25:25	すいませんタグボートも含めまして、はい。
0:25:30	すいません規制庁戸田ですけども
0:25:33	経理するにしろ先ほど審査官が言っていたように、漂流物化して影響与えるあたりの話はしっかりと確認していただきたいというのが私の方もお願いしたいのと一つと、
0:25:46	もうちょっとこれ、あまり細かい詰めをするつもりはないんですが条件だけ教えてください。これ。
0:25:54	んー、退避の時間っていうのが最終的に離岸までが7分、8小口ん退避までが13分というと、
0:26:05	差分で大体6分が船の移動時間だというふうに認識するんですが、これあくまでもタグボート2隻だけの推力で退避するのが6分という感じですか。
0:26:16	はい。北海道電力村島です。今ご指摘いただきました。まず、13分28秒から7分25秒を減じるとコウノ時間というのはご認識の通り、いいです。
0:26:29	ちょっと細かい話になりますけども、離岸Aから小口対比までというのは、先の船の旋回に関わる場所はタグで引き出しますけども、
0:26:40	前回以降、坑口に、輸送線の選手が向いた段階から、輸送線本体の推力によって、逃げております。この時間が、
0:26:51	この差分の6分、数秒という状況でございます。以上です。はい、わかりました。それとこれ訓練は、実際の燃料という線を使ってやってるんですか。
0:27:04	はい。
0:27:05	北海道電力村島です。実際の輸送線を泊に呼んで実施してございます。
0:27:12	それともう一つこの燃料で優先せんのですね要はツツミの状況とかってこれ、
0:27:18	場合によっては
0:27:22	輸送線が到着するもしくは出発する。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:27	特に使用済み燃料なんか積ん積んだ直後に津波来ますよみたいな話になった時に満載してるような状況での話になろうかと思うんですけどそうすると、
0:27:38	今回これは下から2での時間。
0:27:42	ですかね。はい。北海道電力村島です。ご指摘いただいた内容に関してはその通りでございます、かなりの状態で、
0:27:52	時間を計測してございます。そうずっとキャスクが幾つ積めるかちょっと私詳しい話はわからないんですがこれ満載した状況だと、少し時間遅れが生じるような話にもなるのかなという気がするんですがそういったところの検討って何かなさってます。
0:28:08	北海道電力村島です。今からミイの状況等満載の状況でトン数が大きく変わるといご指摘、その次、
0:28:19	重量の変化によって速度が変わるかというご指摘だと思いますけども、ここ主、詳細にちょっと確認しているわけではございませんけども、
0:28:29	小口までのコウコウノ、出力っていうんですかね本線出力に関してはかなり絞ってですねやってございます。
0:28:39	古巣スロットルは入れていないという状況でもございます。で、ミイを積んだとしても、汽水域は変わらないようにバランスと調整をするっていうことでコウコウをするという状況でもございますので、基本的にはスピードはそんなに変わらないと考えてございます。
0:28:56	はい。おっしゃってる意味はわかるんですけど喫水面の話はね最終的には銅像は抵抗か何かところの話なんだけど慣性力としてのね、加速度の方は質量の方に影響してくるのかなっていう気がしてくるんで、
0:29:11	それが、船の総トン数に比べてツツミがね、そんなに大きなものにはならないんですよとか、それともさっきさっきも言ったようにふるさとじゃないからっていう話もあって十分そこは、
0:29:23	飲み込めるような話っていうのであればこういった時間の算出、秒単位で採取今回してるもんだからそういった意味では、どの程度のね、振れ幅あんのかなあというところについては少し、
0:29:34	考察をしといてもらった方がいいような気がするんですけども、いかがでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:39	北海道電力村島です。ご指摘、承知いたしました。ここに関しましても、この時間の中の、その重量の違いによる孔口スピードの違いですとかそういうところにも不確かさが、
0:29:52	若干ありますということに関しては、考察を書き加えたいと思います。以上です。
0:30:00	北電のタカハシですけれども、今の件については今後このアノ対比を主としてやってくときには、そういったところもしっかり書き込んでいこうと思いますけど、今回の中身としては、あんまりそこは、
0:30:13	議論
0:30:14	の中身ではないかなと思ってます。
0:30:23	刀禰。
0:30:26	今後ね、どちらかという、3ページの溪流進化、これ中心になっていくっていう話があって、
0:30:34	それがもう可能だっていう実現可能だっていう話になった時、主軸として、
0:30:39	そうした時にこの緊急退避、今のシナリオっていうのは、
0:30:44	どうする。
0:30:45	やるんですかやらないと、
0:30:48	もともとのままに戻してもいい、いいのかもしれないなっていう気がすんですし、基本的には、
0:30:53	緊急退避っていう、
0:30:56	考え方って、よっぽどこういうことがない限りは、すべて溪流になっちゃうと思うんですよね、時間がないから。
0:31:02	そうすると、こちらのことって今やってはいるんだけど、
0:31:07	ここまで検討するのかどうか。
0:31:09	これを、実際に、
0:31:11	こういった形に全部置き換えるのかどうか、例えば、
0:31:14	クレーンとか、または
0:31:17	何ですかね警備場所を変えるかもしれないんですよね。そういうことも含めて、ここの計画ってのはどうなるのかっていう話ですよ。
0:31:26	どう考えているのかってことだから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:30	北海道電力の高橋です。はい。仮の話ですけれども、もう係留で いくっていうことになると、今回、基準適合性で説明するもの に関しては、
0:31:41	係留という形になろうかなと思いますけれども、津波に関し ても、必ずしも基準津波が来るわけではなくて、1時間だとか、2時 間だとか、非常に時間が長くある、
0:31:56	予報が出たときには、そういった時の退避っていうことも実際と してはあろうかと思えますんで、基準適合性とは別に、社内的に はルールを決めて、そういったことをきちんと整理しておく、 そういったことを考えている。
0:32:12	多分、係留主任していて、
0:32:16	よっぽどずっと係留していて、
0:32:18	大津波警報が出て、これはかなり、
0:32:22	もう出ても大丈夫なのかなっていうと、
0:32:25	相当結構時間がたっているんですね。それで、それで、
0:32:30	十時っての多分津波、
0:32:32	高さもあまり高くなかったりした場合は出る可能性もありますよ ね。そうした場合においてもこの今日説明あった。
0:32:39	状態で、
0:32:41	出発するアカイシするのか、従来通りでいくかっていうのは、そ こは決めきれていないということで、解釈でいいですか。別に ね、随分余裕があるから。
0:32:52	新たなシステムで、
0:32:55	緊急退避、
0:32:57	緊急退避じゃないでしょうねもうゆっくり退避なんで、だから、 通常退避だから、そこまで考えるかどうかで、そこは今後考え得 るということでもいいのかなと思うんですが、
0:33:09	うん。
0:33:11	わかりました。
0:33:19	はい。北海道電力村島です。
0:33:21	現状の計画に関しましては検討しているベースでございますが、 荷揚げ場の既存の係留策は使用をしないことで、
0:33:32	新たな海域からの係留ということで考えてございます。津波が来 たときにどれぐらいの時間が確保できるのかというのは、大津波 警報発令時の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:42	到達時間にやはりよると考えてございますので、それを考慮して、まずは係留を維持できる状態でスタートしていくと、作業も行うということで考えてございます。
0:33:56	一方でこれは基準適合性とは別に、ゆっくり到達するような津波というのが確認できればですね、その経理を解いて、
0:34:06	出ていくということも考えてございますので、そちらの整理も進めているところでございます。以上です。
0:34:17	宮元ですちょっと確認だけです。まず、2 ページのところ、これは私の発想だけで申し訳ないんだけど、
0:34:27	まず、※3 でやっているタグボートによる回答って書いてあるんですけど、
0:34:32	そもそも回答しなくていい止め方はできないんですか。要は、逆ミキっていうか
0:34:37	船首を海アノ外洋側に向けて止めれば回答する必要がないと思うんですけどそういう検討はされてないってことですか。
0:34:46	はい。北海道電力村島です。泊の専用港湾の形状からいきますと、みやげ岸壁の位置、それから角度をと、小口伊井の向き、これが、
0:34:57	単純に言いますと直行しているような感じになりますので、に利益作業を行うときには必ず、船がですね、南側に向くようになっています。逃げる時には、
0:35:11	東側に向けて逃げるということになりますので、この 90 度、首を振るというのをオカイトウと言ってまして、ここは必須と考えてございます。
0:35:21	私言ってんのは、
0:35:24	船首を逆に向け、
0:35:26	向いてるぜ。そういうこと。
0:35:32	そういうこと言ってもらったわけじゃない。
0:35:38	なるほど。
0:35:41	そういうことですね。だから、
0:35:44	選手は向いてるけどタグボートによる少しの
0:35:48	傾斜の変更っていうのをやらなきゃ、これはもうマストでやらなきゃいけないけど、
0:35:53	嫌だ、やらなくていい角度の考案を作るっていう発想はないんですかっていうだけなんですけど、いや要はさっき言ったように、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:01	要はタグボートをタグボートタグボートののが、先ほど言ったように、漂流物になる可能性を、
0:36:11	排除したら、要は一石二鳥じゃないかなと思うんでそこは基準津波とかに影響あるからそこはもう変えられないってことですかね。
0:36:19	はい。北海道電力村島です。はい。今ご説明いただいた通りでございまして、地形変化を伴いますので、ここは基準津波に影響あると考えておりますので、大幅な改造は荷揚げ場に関しましては難しいと。
0:36:35	考えてございます。はいわかりました。あと、これ基本的には多分、公安に入るときには、は口頭な風か何かの、
0:36:46	要は10メートルが何かの決まりっていうのが多分もともとあるはずなんですけど、今回訓練っていうのは、その前提としては、何メートルでやられたんでしたっけ。
0:36:58	はい。北海道電力村島です。今ご指摘いただきました件、入港に際して風速、それから波の高さ、こういうものが設定されておまして、ある一定の値を超えると、もう入港もできないという状況でございますこれは
0:37:16	泊野中に入港に関わるルールの中で数値定めてございますが、その数値から変更はない状況の中で行ってございます。ちょっと具体的に数値をお示しすることができないんですけども、
0:37:30	入港に際して設定している数値内で、入港を行っているという状況でございます。
0:37:36	私ちょっとこれ、今確認したのは、
0:37:40	訓練の実績時間、
0:37:43	短くなりましたっていう時間の前提が、要が一番厳しい、入庫条件でやっているのか、それともイワモトなぎの状態通常の状態で行っているかによっては、
0:37:54	条件が全く変わるので、そうすると今、この基準になっている波が、例えば5メートルぐらい以下で行っているんだったら、当然こん後もこれを維持されるのであれば、今まで10メートルって言ったやつを5メートル以下にしなければいけなくて、
0:38:09	あとは
0:38:11	天気予報しかないんですけど、薄井土肥の大波が高くなる場合は、もう1回外に出してもらおうとか、そういう対応をしなければい

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	けなくなるんじゃないかなと思うんですけどそこは検討されてるところですかね。
0:38:24	北海道電力村島です。ご指摘いただいた内容承知いたしました状況といたしましては入行に先立って設定しているの入庫制限がかかるような数値に関してはまず変えていないというのはご説明した通りなんですけども、
0:38:39	実際に訓練をやったときにどういう状況だったかというところでございますが、これはかなりアノ名木の状態でした。
0:38:47	ですので、その状態を維持するとなるとなかなか難しくなりますので、ここは最終的には先ほど高橋からも説明あったかと思えますけども、この時間内で管理をするということにはならない。
0:39:01	考えておりませんので、ここに十分な余裕を持った時間で逃げる場合は逃げますけども、少なくとも、
0:39:10	この7分中だとか13分で管理するために、入港を制限するようなことはないようにですね、例えば、
0:39:20	30分なり1時間という津波の到達時間が十分確保された状態の中で、ゆっくり逃げていきますというような感じで、整理をかけていくという方向かなと思っています。以上です。
0:39:35	はい富山ですはいわかりました私から以上です。
0:39:42	規制庁の同じちょっと3ページで確認させていただきたいんですけども、
0:39:50	ナンバー1の係留のところで輸送線係留位置における津波時に作用する係留索っていうところで何か先ほどあれだけ津波の流速は、
0:40:01	係留する位置の流速使いますって、確かあの説明をしていたと思うんですけどそれはあれなんでしたっけ。
0:40:09	その辺の最大流速じゃなくて、船の位置で使うのって、あれなんですけど潜航も一緒なんでしたっけ。
0:40:15	ガイドの金田でございます。島根とかも同じ趣旨でこれ漂流物になるものについてはどこにかからないから、最大使うんですけど、そこに止まって止めとく前提になりますので、その場所の流速を作った流向を使うっていうのは適切な考え方を持ってまして。
0:40:30	それは先行も同じようなやり方をしているというふうに考えております。規制庁ですわかりましたありがとうございますそれであれですか。係

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	留地ってのは、物揚岸壁のところの流速使うっちゅうことですか。
0:40:42	細かく見ていきますけれどもそうですね。今先ほど村島がちょっと発言した通り、多少その岸壁の中で、前に後ろに出たりっていうのはこれからいろいろ考えていきますけれども、
0:40:54	ただあの辺になりますと流速的には相当落ちるのが実態でしてやはり岸壁あって、小沼になってますから、流れてくるといわけじゃないですから遅くなりますね。その辺のやつをしっかりと実際のデータを見た上で、
0:41:07	適切なデータを使った上で評価していくってことを考えております。
0:41:12	はい、規制庁モリタありがとうございます。わかりました後に、
0:41:16	2、2本なんですけれども、
0:41:20	あれですかねセキュリティ上のリスクが増加することが今ちょっと懸念事項として挙がっているだけですとそれ以外の要因は、ちょっと特段もないっちゅうことなんですか。
0:41:42	ですすみませんセキュリティ上の観点があるのでちょっと1、1回、マイクを切らせていただきます。
0:45:16	規制庁のすいません今、
0:45:19	セキュリティ関係の確認終わりましたので、はい。
0:45:24	大丈夫です。それでは、秋本さんお願いします。
0:45:29	成長ということですすみません
0:45:33	3ページの6個目のポツの、
0:45:37	2行目からの最後ぐらいなんですけど工事規模や、稼働工程を踏まえてって書いてあるんですけど、
0:45:44	北海道電力の考え方って安全最優先じゃないんですか。
0:45:49	これって何かちょっとよくわかんないなと思ったんですけど。
0:46:21	北海道電力の村島です。
0:46:23	今ご指摘いただいた通りですね。当然安全最優先という形は変わりありません。ですので、この丸二つ目のポツのですね2三行目の書き方については、少し再考させていただきたいと思います。以上です。
0:46:42	規制庁秋本ですはわかりました。
0:46:46	規制庁藤原です。3ページの、さっき尾野の方から言ってたその輸送線、のが岸壁の場所での流速、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:56	とか、
0:46:57	一応これ多分氷山の一角なんですね要は、炉方針の中でその論点というのが浮かび上がってきてそのどこの流速を使うか、そもそも流速を使っていいのかとか、
0:47:09	こんなでっかいやつに対してその流速、使えるのか、要は慣性力が作用するのか、これはだから氷山の一角なんですねだからまず方針をきちっと説明した上で、何が論点になるのかというのはそれから、
0:47:21	今ようやく明らかになって、それで初めてその係留策でどんな荷重かかるかとかいうのはやっぱり決まってくるのかなとは思いますが、この辺ちょっと今のもの、
0:47:31	内容も踏まえて、燃料等輸送線という特殊としてかなり大きなものに対する考え方をちょっと頭に入れて今後検討いただきたいと思っておりますが、今のでよろしいですかね。
0:47:47	北海道電力村島です。はい。ご指摘承知いたしました。基本的にこの係留を宇津。
0:47:57	選定する場合においては、当然今ご説明したその流速、呉の1Eですとか、それを
0:48:07	踏まえて津波名が到達したときにでも、ここの流速で、
0:48:12	適用できるということの、整理をきちっとやった上で、冒頭で方針の中でですね、そういう流速場は適用できますということに関してはご説明できるようにしたいと考えております。以上です。
0:48:36	北海道電力の高橋ですけれども、イマムラシマ言った通り、まずはその方針を示させていただいて、その方針を採用することによって、どういう論点があるんだろうと、流速であったり、ロープの経理の仕方があったりとか、
0:48:53	シンカーであったりとか、そういったことをある程度見据えて、まずは説明すると、そういうことかなと思いますし、先ほど金田が言った通り、
0:49:03	漂流物の係留っていうようなところで、島根の実績なんかを見ると、そこの流速を使ってるといってもしっかりと説明させていただきたいなというふうに思い
0:50:26	ちょっと事業者側で検討中です。
0:53:39	規制庁フジワラセト事業者検討が今、終わったようですので、一応なんか、改めて申し上げますけども、やっぱり何かうん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:49	流速という観点は、やっぱり火大きく我々もよく着目するところ でありますのでそこは十分にはい、ご検討はいただいた方がいい のかなという印象です。はい。
0:54:03	はい。北海道電力の高橋です。今ご指摘いただいた通り早めに方 針を定めてですね、論点が何かってというようなところを整理し て、ご説明して参りたいと思います。
0:54:16	その他規制庁側からWEB参加の方も含めて、
0:54:24	規制庁の浜です。ちょっと私からは北海道電力の田井、本件に対 する対応とスケジュールについて、
0:54:31	ちょっと確認したいんですけど今まで出てきたように、
0:54:35	これまで論点に対する作業方針作業状況、それから作業スケジ ュールということで、コミュニケーションをとって進めると。
0:54:45	いうことになっていたんですけど、今回中間報告をした上で、
0:54:54	これは10、11月末の会合で検討結果を説明という、この中間報告 が、
0:55:02	ちょっと余りに、何て言うんですかね、ちょっと我々から
0:55:07	なかなか中身、いろんな中身を指摘できるような状況ではないん じゃないかと、先ほどありましたようにいきなりけ結果が示され ても、もう、
0:55:18	またそこから北電が考えていない論点がいろいろ出てくるという ことになって今日口頭でいろいろ、こういうことを考えてるああ いうことを考えてると。
0:55:28	こういうことが足りないんじゃないかというやりとりもありまし たけれども、
0:55:32	昨日、
0:55:36	臨時の規制委員会で信用会議といわゆるCEO会議というのがあ って、そこでも審査プロセスの改善というのが、
0:55:45	出てきましたけれども、改めて振り返って、改めてちょっと振り 返っていただいでですね。
0:55:51	藤泊の審査については、
0:55:55	過去の審査が長期化しているということも踏まえて、
0:56:00	2022年ですかね、の3月31日に、
0:56:06	審査プロセスの改善としてさらなる検討の余地がないかというの をお互い議論し、
0:56:14	さらに2022年の4月12日にですね、前回、CEO会議で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:23	その審査会合を踏まえた審査プロセスの改善が議論されたと、そこでもう北海道電力からですね、
0:56:33	さ、さらに効率的に審査を進める方策はあるかということに対して、
0:56:41	北海道電力からは、
0:56:44	今後、そのリソースを大きく使って作業を進める極局面に入る場合には、当社が考える作業方針等について審査会合の場で、
0:56:54	確認させていただきたいと、そういう表明が、
0:56:57	ありましたと。
0:56:58	なのでそういうその何ていうんすかね経営層も含めた社内の方針等、ちょっと現場の
0:57:06	説明がちょっと大分、まだ本当にそうやってるんですかという、
0:57:11	ような感じが見られるんで、
0:57:14	これ指摘が8月3日でもう1月2月となると半年たちますという ことで、
0:57:21	ということなので、ちょっと改めて主要会議なり審査会合で議論された
0:57:29	審査の進め方を踏まえてちょっと
0:57:32	どういうものを次回、
0:57:36	ちゃんと検討状況を出していただいでですね。
0:57:40	方針についてちゃんと議論は、
0:57:43	できて、スケジュールがどうなるのかっていうのは
0:57:47	状況を共有できるようにしていただきたいと思うんですけど、この点いかがでしょうか。
0:57:57	はい。北海道電力の高須です。確かに今まで3月、2022年の3月31日それから2023年の7月10日、
0:58:08	審査プロセスの改善ということで、介護効率的に進める方策ということで、今回の〇〇輸送性に関しましても、
0:58:18	8月3日から大分期間経ってますけれども、非常にこの課題、今までのものに比べて非常に大きな問題、
0:58:29	我々もとらえてまして、非常に精力的に関係者集めてですね、議論を進めてるんですけども、まだ
0:58:41	もっと進め、皆さんが思ってるほどの御説明ができないということで、我々も熟してある、思いのところはありますけれども、そうは言っても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:54	これは我々、審査を進める上で非常に大きな課題ですので、しっかり結果で示すわけではなくてまず方針、それからその後、
0:59:04	論点を含めて結果というようなことでスケジュール含めて考えていきたいというふうに思いますので、今天野さんのご指摘、
0:59:14	理解はしているつもりですけれども、非常にこの課題というのは、今まで直面した中では非常に大きな課題だなという、
0:59:24	認識を持っているところでございます。そうは言っても仕方がありませんので、極力早期にご説明できるように、方針から準備して参りたいと思います。
0:59:36	はい。規制庁の浜です。今までのCEO会議でもありましたけど何ていうんすかね現場の検討状況とその経営層の判断っていうのが、ちょっと遅いとか、コミュニケーションがちょっと、
0:59:50	うまくってというような話もありましたけど、今日、今日の話聞いててもちょっとその、何て言うんすかね。判断が、
0:59:57	ちょっと迅速に行われてるのかという感じもするんですけど、改めて江藤CEO会議でも議論されているので、
1:00:06	その、その方針とった対応をやっていたらいいのかなという疑問が生じる場所もありますので、
1:00:14	そこは、ちょっと改めて社内で確認していただきたいと。ちなみに、本日、
1:00:21	ヒアリングで参加していただいているあれですか、Headの方は、北海道電力側はどなたになるんですか。
1:00:30	すいません北海道電力の石川でございますけどもちょっと私今日web参加になって申し訳なかったんですけども、私の方事務局の責任者として私も出席してございます。
1:00:40	今し方、天野さんからご指摘いただいた、現場の検討状況と経営層とのコミュニケーションがうまくできてるのかっていう視点につきましては、今回、難しいE L O C A課題の多い、
1:00:53	テーマについて検討してることにしましては逐次ですね、まさい最低限でも毎週毎週1回、詳細な検討状況を経営層に伝えと。
1:01:04	そして意見をもらうというようなコミュニケーションはしっかりとれているというふうに考えてございます。
1:01:10	とりあえず私からは以上でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:14	規制庁野村です。わかりました。あと、スケジュール、スケジュールがもしかしたら1月下旬を目標にしたのが2月中にはって話ありましたけど、
1:01:25	そのスケジュールが示される変更が示されるタイミングっていうのは、
1:01:31	今どのようにお考えなんでしょうか。
1:01:33	はい。北海道電力の石川でございます。
1:01:38	次回ですねスケジュール面談、27日に予定してございますけれども、その時に燃料という宗線、それからその他、まだ課題でいただいております。
1:01:51	呉系につきまして、お示しするべくですね今準備を進めているところでございます。
1:01:57	先ほどのご指摘もありましたけども、1月の末に設定している審査会合で結論まで出せない場合においても、
1:02:07	いきなり2月の中旬下旬に設定するかもしれない、数会合で結論だけ持ってくるのではなくって、1月下旬に、当初予定されている会合でも、今の現時点での検討状況それから方針方向性、
1:02:22	についてお示しできるように準備して参ります。
1:02:26	規制庁の天田です。わかりました私から以上です。
1:02:33	規制庁藤尾ですけどその他、規制庁側からありませんですかね。はい。北海道電力から本日の話について、何かございますか。
1:02:45	はい。北海道電力からもございません。
1:02:49	規制庁藤原です。今日のヒアリングについては以上としたいと思います。
1:03:02	規制庁藤原です。それはヒアリング再開します。次に資料2のシリーズの方で、包丁での構造成立性確認結果及び指摘事項に対する回答1をこれだけ。
1:03:13	防潮でのニワ評価結果で治水上においてはまた別のヒアリングがありますが、これについて事業者の方から説明をしてください。
1:03:22	はい。北海道電力の高橋です。それでは膨張での構造成立性の確認結果ということで、こちらにつきましては今回1回目のヒアリングとして実際に計算結果等をお示して、
1:03:37	いきたいというふうに思ってます。希望としましては1月末の介護を、
1:03:45	に向けてご説明していこうというふうに思っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:49	す。また本日大変申し訳なかったんですけどもまとめ資料のところで、一部調査時間に誤記等ございまして、こちらも後程詳細をご説明させていただきたいと思います。申し訳ございません。
1:04:04	それではマツモトの方からご説明させていただきます。北海道電力の松本です。それでは資料2-1に従ってご説明させていただきます。
1:04:15	まず、先ほど高橋の方から説明がありました動きのところについて初めに訂正させていただきたいと思います。まとめ資料資料2-2の233ページをお願いいたします。
1:04:32	資料2-2の233ページの第9の自費、12表になりますけどもこちら基本ケースの照査時刻1.68と記載しておりますが、
1:04:44	正しくは16.7秒となりまして、年時刻の記載の動きがございしますので、次回訂正させていただきたいと思います。
1:04:54	同様の誤りがですね、235ページ、236ページ。
1:05:00	あと、237、239。
1:05:04	あと240241ページにありましてこちら全部調査時刻ステップから時刻に記載するのをちょっと起用して公表しておりますので次回修正して改めさせていただきたいと思います。
1:05:21	それでは資料2-1の方でご説明をさせていただきます。
1:05:28	3ページをお願いいたします。
1:05:31	本日の説明趣旨としましては丸の二つ目、構造成立性評価結果について構造成立性があることをご説明させていただきます。あと丸の三つ目としまして審査会合における指摘事項について回答させていただきます。
1:05:47	4ページをお願いいたします。
1:05:52	4ページにおきましては構造成立性の評価の流れについてご説明させていただきますいておりますが、左下の防潮て標準部の構造成立性評価の流れでご説明させていただきますと、
1:06:04	まず要求性の許容限界値の設定、設計方針の設定、部位ごとの設計方針の設定、こちらについてはこれまでの資料等でご説明させていただいた内容となっております。
1:06:16	構造成立性評価断面の選定につきましては前回審査会合においてご説明させていただいたものを、5ページに改めてご説明させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:27	構造成立性評価自身はの選定につきましては今回 6 ページにおいて新規にご説明させていただきます。
1:06:35	あと、耐震評価、耐津波評価については 13 ページ 14 ページ 15 ページにてご説明をさせていただきます。
1:06:43	右側の端部の構造成立性評価につきましては標準部と同様の流れになっておりますけども、地震時のみの評価としまして津波時、重畳時につきましては、標準分の結果を代表させるということで整理をしております。
1:07:00	5 ページにつきましては、5 ページに行きまして、こちらについては、これまでに説明した内容であるためことでの説明は省略させていただきます。
1:07:12	6 ページをお願いいたします。
1:07:14	6 ページ構造成立性評価自身はの選定ですけども、都丸の一つ目ですが、
1:07:20	泊発電所における基準地震動 19 はのうち構造成立性評価に用いる基準地震動を一般に選定するために、2-2 断面において、1 次元波動論による地震応答解析を行っております。
1:07:33	地震応答解析の結果を下に示しておりますけども、S s3-5 を構造成立性評価自身はと選定しております。
1:07:43	矢羽根の一つ目ですが、水平最大加速度に関して、下部コンクリートより強度の小さいセメント改良度の成立性のホを確保する観点から、
1:07:54	セメント改良度分において、応答が大きい S s3 の方を選定する方針としております。
1:07:59	また矢羽根の二つ目ですが、水平最大相対変位に関して、止水ジョイントの構造成立性の観点から、
1:08:07	変位の応答が大きい S s3 の方を選定する方針としております。
1:08:13	続いて 7 ページをお願いいたします。
1:08:18	包丁での構造概要を示しているところになります。
1:08:23	飛田梨衣の別の図の列の標準部の各部位の使用ということで、セメント改良度は、設計基準強度 6.5 ニュートン高強度につきましては、40 ニュートン
1:08:35	止水ジョイントにつきましては記載の通りで、下部コンクリートについては石油基準強度 24 ニュートンのものを設計をしております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:43	右側端部の各部位の仕様につきましては端部コンクリートにつきましては42tのもので構築するということで設計をしております。
1:08:53	上の四角の丸の二つ目に行きまして施工目地における津波による地中部の透水力に対して、止水ジョイントの根入れ深さの延長またはその他の対策を、設置変更許可段階で説明させていただきたいと思っております。
1:09:08	これにつきましては口頭での説明になりますけれども、現状の根入れ1メートルでは、ボイリングに対する対策が必須な状況でございます。
1:09:16	ですので現在止水版等の止水材を地中部に設置することを検討しております、次回のヒアリングまでには具体的な方針を説明したいと考えているところです。
1:09:31	続いて8ページをお願いいたします。
1:09:36	こちらは解析モデルということで解析条件等を示しておりますが、左上のモデル化条件のポツ三つ目でございますが、
1:09:46	傷オカ検討対象層である地下水以深の埋戻し動及び砂層は、エース液状化パラメータを暫定的に設定するという事でまだこちら審査中でございますので、
1:09:57	暫定的なパラメーターで積をしているというところを記載しております。
1:10:03	9ページをお願いいたします。
1:10:09	9ページにおきましては、解析モデル二次元のものを示しております、左上の2次元動的FEM解析モデルというところをご覧いただけますと防潮底の幅は今回の2-2断面でいきますと30メートルとなっております。
1:10:24	右上高強度部の拡大図がございますが、高強度部の範囲につきましては幅2メートル、高さ5メートルとして設計を行っております。
1:10:35	続いて10ページをお願いいたします。
1:10:41	10ページの火、10ページにおきましては3次元静的FEM解析の解析モデルの説明等になっておりますが、左上の3次元静的FEM解析のモデルを見ていただきたいんですけども、
1:10:54	左側が基本ケースとして、漂流物荷重を高強度部の天端の中央部に当てたケース。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:01	右側が高強度部の設置範囲を確認する、設置を決めるための影響。
1:11:08	範囲検討ケースとしまして、
1:11:10	漂流物荷重を、高強度部下端の直下によるセメント改良度に、漂流物荷重を作用させたときのケースとして行っております。
1:11:23	続いて 11 ページをお願いいたします。
1:11:27	11 ページにつきましては膨張で端部の解析モデル等を示しております。
1:11:32	こちらにつきましては 2 次元動的平面解析モデルの図を見ていただきますと、幅 14.2 メーター、高さが 9 メーターの形状となっております。
1:11:46	12 ページをお願いいたします。
1:11:51	12 ページは、調査項目と許容限界を示しておりますこれまで江藤資料等で示させていただいた内容を改めて示したものになります。
1:12:03	続いて 13 ページをお願いいたします。
1:12:07	13 ページが、包丁で標準部の耐震評価地震時の評価結果となります。
1:12:14	左側がセメント改良度及び高強度部における滑り安全率最小時刻の局所安全係数の分布図となっております。
1:12:23	図中の赤線につきましては、赤線が滑り線、最小値となった滑り線のもの示しております。
1:12:32	滑り線はこれ以外にも高強度部等通る滑り線も評価しております、今回の結果では一番滑り安全率が最小となる滑り線のみを、こちらの図で示しております。
1:12:44	右側、下部コンクリートにおける滑り安全率の最小時刻の局所安全係数分布になっておりましてこちらも同様に、
1:12:53	赤線で滑り案線を引いておりまして、一番滑り安全率が小さくなったもののみをこちらに示しております。
1:13:01	右側の表が、構造成立性評価結果ということで、許容値に対する照査値を示しております。
1:13:09	いずれも許容値を満足する結果となっております判定としては、同系というふうになっております。
1:13:17	続いて 14 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:24	14 ページにおきましては、津波時の結果を示したものになります。
1:13:30	左の 3 次元の解析結果のうち左側が防潮で天端に漂流物荷重を、高強度部の天端に、
1:13:40	漂流物荷重を算出させたとき、その右側が高強度部直下のセメント改良度に作用させた結果図となっておりますが、
1:13:50	いずれも局所安全係数は、人以上あるという結果となっております。
1:13:57	続いて右側の絵とか、下部コンクリートの局所安全係数分布になりますけども、こちらもあり、
1:14:05	滑り線を赤線で示しております。
1:14:08	数値的に右側で表にまとめておりますが、すべて許容値に対して、技師長たちが共有地以上となっていることを確認しておりますので判定としてOKとなっております。
1:14:20	ただセメント改良度と高強度部の滑り安全率につきましては、巨すべての局所安全係数が 1.5 以上、
1:14:30	破壊領域が存在しておりませんのでこちらで滑り安全率 1.2 以上を確保しているといったところを確認しております。
1:14:39	15 ページをお願いいたします。
1:14:44	15 ページにつきましては、重畳時の結果をし、まとめておりますが、地震時と同様の整理の仕方になっておりこちらも判定としてはすべてOKという結果になっております。
1:14:57	16 ページをお願いいたします。
1:15:01	16 ページは包丁で端部の結果のまとめとなっておりますがこちら地震時の結果、滑り線は、図中に示している通りでこちらも、
1:15:12	右側の表に示す通り、許容値以上であることを確認しておりますので判定としてはOKとなっております。
1:15:20	17 ページをお願いいたします。
1:15:23	こちらは、構造成立性評価における裕度ということで、どこに裕度が条件として裕度があるかというところを示したものになります。
1:15:33	丸の一つ目ですが、構造成立性評価について、以下に示す保守的に設定した条件において構造成立性があることを確認しております、一つ目としましては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:44	津波荷重について、構造成立性評価では暫定的に設定した津波高さ 19 メーターとしていること。
1:15:51	また漂流物荷重の作用位置についても防潮定点盤に作用させていること。
1:15:57	防潮定配面に作用する度圧については、
1:16:00	駄目を集約するために、地震時にロクロク断面の図を 2 の断面に保守的に作用させたこと等が、
1:16:08	させたことが、保守的な条件と考えているところです。
1:16:12	また、丸の二つ目ですけども、工認段階において作用荷重が上振れした場合につきましては、資料 2-2-2、示す安全裕度の向上対策により、基本構造を変更することなく対応が可能であるというふうに考えております。
1:16:30	続いて 18 ページをお願いいたします。
1:16:36	こちらについては審査会合における指摘事項に対する回答となります。
1:16:41	積事項とつきましては防潮底の前面にある護岸等の構築物について防潮てに近接している場合には、地盤の液状化による変状を考慮して波及的影響を検討し説明すること。
1:16:55	ということになっております。これまで下の 1032 回審査会合の資料において、赤囲みしているところですけども、調停に近接する構築物のうち既設護岸以外の構築物については、
1:17:11	もう第 4 条において網羅的に抽出し、抽出された構築物による膨張への波及的影響評価結果については工認段階で説明するというふうなことを示しておりました。
1:17:23	四条側の方で近接する構築物等を整理しましたのでそれを改めてこの指摘事項の回答として整理したものになります。
1:17:33	19 ページをお願いいたします。
1:17:38	19 ページにおいて、ぼ丸の一つ目ですけども、防潮てに近接する既設護岸以外の構築物等につきましては、周辺斜面、
1:17:48	及び構内排水設備がございます。
1:17:51	周辺斜面につきましては、基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価において、基準地震動に対する安定性解析を実施し、周辺斜面が崩壊せず、防潮てへの影響がないことを確認する方針としております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:06	構内排水設備につきましては、構内排水設備を構成する各部位の役割を整理した上で、工認段階において基準地震動に対する構造健全性評価により、
1:18:18	構内排水設備が損傷せず膨張等への影響がないことを確認する方針です。
1:18:23	こちらにつきましては前回のヒアリングにおいて、構内排水設備を構成する設備が何があるのかというところを明確にした上で、各設備に対する要求機能を整理する。
1:18:36	予定でございまして今後資料に反映させていただきたいと思っております。
1:18:41	都丸の二つ目ですが、上記以外の構築物として、12号取水炉、12号放水の3号取水炉の防潮底がございまして、これらの構築物については工認段階において、
1:18:54	防潮での機能を確保するために基準地震動に対して間接支持機能を維持することを確認する方針でございます。
1:19:03	20ページをお願いいたします。
1:19:05	こちらにつきましてはセメント改良ドカンの施工目地に設置される止水目地についてセメント改良度の特性を踏まえ、構造成立性を説明することということで構造成立性の説明をさせていただいているものです。
1:19:19	21ページに、構造成立性の評価結果を示しておりますが、この構造成立性評価結果のまとめたものが先ほど13ページ15ページに示した抜粋した値が13ページ15ページに示されているというところなんです。
1:19:36	22ページをお願いいたします。
1:19:43	22ページにおきましては防潮庭の平面線形の形状決定の考え方により複雑な形状となる箇所について、水平2方向及び鉛直方向の地震動並びに
1:19:53	津波荷重による応答特性並びに津波荷重の評価を含め、防潮での設計に与える悪影響の有無を説明することというものです。
1:20:02	回答としましては、1063回審査会合において複雑な形状となる屈曲部については、
1:20:10	水平2方向及び鉛直方向の地震動並びに津波荷重により、応力が集中する悪影響を想定されるため、膨張て屈曲部に施工目地を設

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	置し、弱軸強軸が明確となり、応力が集中しないように配慮すること。
1:20:24	設置変更許可段階においては二次元断面で構造成立性を評価することを、上記の指摘事項に対する一部回答としておりました。
1:20:33	都丸の三つ目ですが、今回膨張で前線の施工目地について屈曲部と同様に応力が集中しないように配慮して設置する方針を、次のページに整理しておりますが、
1:20:45	これを整理した上で、今後説明としていた二次元断面における防潮での構造成立性について、構造成立性があるといったところを、先ほどの13ページから15ページで示しているというものになります。
1:21:00	23ページをお願いいたします。
1:21:04	23ページにおきましては、包丁で野瀬コウ明治の設置位置について説明したのになります。
1:21:11	丸の一つ目ですが、膨張での施工目地は、設置箇所①防潮庭が屈曲する断面、それ以外に、水路が横断する断面、
1:21:21	防潮での幅が変化する断面、
1:21:24	防潮店の高さに変化する断面、施工量に基づくブロック割り箇所、
1:21:29	防潮で標準部と端部の境界に設置する予定でございます。
1:21:34	設置箇所、34号につきましては、工認段階で説明させていただきたいと考えております。
1:21:43	資料につきましては簡単でございますが以上の説明となります。
1:21:48	はい。規制庁藤原です。質疑に入りたいと思います。じゃ、
1:21:54	もう少し、
1:21:57	はい。
1:22:00	そうですね、ちょっと資料2-4のですねちょっとこれは後でまた、了解なんかは言うんですけども、資料2-4の1ページ目のナンバー8番において、
1:22:13	液状化の評価において、このコメント内容ですね、サンゴ目星の範囲においても、12号の終了を用いることで、保守的な評価になる。要は液状化強度特性の話ですよ。
1:22:26	ていうのがあります。また書きでこの影響は、今後説明することになって本日回答ナカガワですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:34	なんかはっきり書いてないんですよ。12号を用いることで、保守できいな評価を示すことに対する直接的な回答がない。これ、もしコメントに対してですね、対応しないのであれば、
1:22:47	やらないというふうに書かないといけませんし、曖昧であるし、あとそもそも論としてこの液状化強度特性というふうに使ってるのかっていうのはこのパウポにも、
1:22:58	まとめ資料にも見当たらないにもかかわらず、結果が示されているというのが、意図がよくわかりません。これどういうことなのでしょうかね。
1:23:34	北海道電力の松本です。今回の評価につきましては12号埋戻し動の物性を使って、液状化パラメータにつきましては、
1:23:47	水オカパラメータにつきましては暫定的に液状化試験結果の下限值を通るようなパラメータを設定して今、評価をしているというところです。
1:23:58	うん。そういうのはわかりませんから1号機はもう使いにくいから3号機使ってるのかなと思っていて、3号機はまだ追加試験してないけど、今現時点の、
1:24:07	下限値を使ってるかなと想像したんですけど、一切書いてないので、
1:24:12	このまま行っちゃうと審査会合行ったら私に発言すると思います。
1:24:15	多分、何の物性値で計算したかわからないので、
1:24:19	私たちとしたら、もうね、
1:24:22	基準期間、いわゆる適合性の判断、いわゆるここ構造成立性という観点で、これが成立するかどうかは、
1:24:29	私たちとしては判断つきかねますっていう、
1:24:32	いうことを言わざるをえなくなっちゃうんですよ。だから、
1:24:34	少なくともこういったことはしっかり書かないといけなくて、
1:24:38	まずパワーポイントの2-1も書かなきゃいけないし、
1:24:41	2-2にも見るとですね、
1:24:45	189ページ下、189ページは、
1:24:49	第8-3の表で、液状化っていうのは2番目にね。
1:24:54	書いたんだけど、
1:24:55	それ見る等、基本的にはあれですよ。ここでもはっきり何も書いていないので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:02	うん。
1:25:03	詳細は何かどうも液状化影響方針か何か。
1:25:07	この後出てくるんだけど、
1:25:09	そっちでまた御説改めてご説明しますみたいな感じになっちゃってるから、これはちょっとね、
1:25:14	あまりよろしくないですよ。何の条件でって言ったときに、それ津波の大きさもさることながら地震時においては、液状化の脅威っていうのがあって、液状化による側方流動、
1:25:25	方がリスクが高いから、今回ガッツリ。
1:25:29	割と強度の高いものを買うんならだろう岩着までさせて、
1:25:34	作り直すんですっていうのがもともとの
1:25:37	もう巢守ですよ。そちら考えてる。それに対して何を説明しようとしてるかっていう時にね。
1:25:44	木曾議長から物性町の何々で、まだ決まっていなくて、コウに行かないと決まらない中で、今どのように、
1:25:52	ある程度余裕を持った設計と今しているのかどうかってのもちょっとわからないんであれば、それは判断できないですよ。だからそこをしっかりと書かないと駄目だと思うんですがいかがですか。
1:26:04	はい。北海道電力の立田です。
1:26:07	衛藤今野エザキさんのご指摘も踏まえてですね液状化の方は今、液状化の審査の方でちょっと防潮には、12号サンゴエリア横断するので、
1:26:22	12号エリアス使い12号の下限值を使いますっていう計画と書いていたのですが、ちょっとこちらの資料としては何の、
1:26:30	修正を使ってるかってのがわからないのでこれは今の現状を書いて、
1:26:35	これを用いてますという話と、あとそれに、そっちが変わればこっちも変わりますということも、そこを数字にして記載をさせていただこうと思います。以上です。今後作る資料の作り込みの中でもそうなんですけど、特に主要なことは、
1:26:52	上限として書いていただかないと、
1:26:54	もう以前もお話しております。あとちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:57	いつの会合の話なんですかって話になっちゃうんで、基本的にできるだけ佳境写し数値とかですわ書き落としていただきたいと思 いますんでよろしくをお願いします。
1:27:08	はい北海道電力のタツザワで承知しました。記載するようにいた します。以上です。
1:27:23	じゃあ、まとめて、規制庁イシダですけどまとめ資料せっかく開 いたんで、187 ページを開いてもらっていいですか。資料 2-2 の まとめ資料で、
1:27:33	今回の解析用の物性値の話に、
1:27:36	地盤のですね、お話をさせていただきますで、ここで 187 ページの 2 段、2 パラ目では、設計及び工事計画認可段階では許可と同じ。
1:27:46	物性値を用いた評価を基本とするっていうふうに書かれてます で、これは要は、6 で書かれた内容は、もうフィックスして、施工 に使うと。
1:27:56	ただもしかしたら設工認ですのでテンロクフィックスのやつは、 フィックスで書かれてないものは別こんにちゃんとやる。これが これまでの内容だったと思います。
1:28:05	ただですね、ちょっと今今今回の地盤の物性値っていうのが、例 えば 180、米 193 ページとか見たときにですね、
1:28:16	いろいろありますよと、これがテンロクに書かれるものだとは思 いますけども、おそらくそのハザード側で今後これの物性は、が ん、
1:28:26	三条の地盤安定性に大きな影響を及ぼすもの、あと四条の周辺斜 面に大きな影響を及ぼすものそれについて多分きちっとウエイト 物性値の設定に関して、審議がなされるものと理解してます。
1:28:39	一方で直接その安定性ん、或いは斜面に関係なさそうなそうだと か、A c 層或いはアクセスルートに関連するのは表土。
1:28:51	ですかね、そこら辺とかっていうのはちょっと扱いがどうなのか というのがよく、ちょっと今わかりませんで。要は、
1:28:58	今後ちょっと事業者としてまずやらないといけないのは、
1:29:01	あちらのハザード側の方で、要はきちっと解析用物性値をきちっ と定め、大きな影響あるものとして、審議をするものがどれかで それで余ったもので、
1:29:12	プラン、余り物が何か、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:14	余ったものが、についてプラント側で、きちっと妥当性設定だと示せないものは何か。
1:29:23	あと、要は、C、もしかしたら大きな影響を及ぼさないかもしれないんですけど、そういったものがどういうふうを示すか、今の大きな三つはちょっと今後、まずやらないといけないのかなというちょっと印象を持っていますが、
1:29:36	これは、
1:29:37	よろしいですかね。
1:29:45	規制庁江崎です。ハザード側の審査から聞いているのは、
1:29:51	基本的に、彼らのところで、
1:29:54	その事実確認をして、その
1:29:57	設定根拠とその設定根拠における妥当性を、
1:30:02	審査
1:30:03	審議。
1:30:04	するものとしては、ほぼ岩盤しかないですと。
1:30:08	それ以外の土みたいなものっていうのは、基本的モデルとしては入ってくるかもしれないけど、
1:30:13	基本的に滑り安全性には何ら関係ししない。
1:30:16	考えているので、
1:30:18	それに関しては、特に設計値、
1:30:22	その後のそうなんだろう。
1:30:24	後段規制で使う設計値としては、
1:30:26	審査、
1:30:28	の対象外になってしまいますよと。
1:30:30	ていうことになるので、それはプラント側で確認してくださいって話はされてます。
1:30:35	そうするとね、何が起きるかっていうと、
1:30:38	柏崎コウ、今しっかりと区分けしているんですけどそれは、
1:30:46	添付資料、工認の添付書になるとね、
1:30:50	地盤支持性能、地面地盤の支持制度の基本方針ってあります。
1:30:55	それに対する
1:30:57	当初、当初っていうか添付図書とすると、その詳細説明資料という、補足説明資料があるんですけどその類の中で何をしてるかっていうと、
1:31:08	いわゆるテンロク

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:10	側で行っている、この
1:31:12	三条と四条周辺斜面で行われた物性値で確定、設計値としてその後使われても、
1:31:20	構わないというぐらいまでちゃんとを審査されたもの。
1:31:26	が一応設置許可で決まった。
1:31:28	除雪費用ってのが出てきます。それとともに、
1:31:32	公認で新たに、
1:31:35	設定しなけ設定されるものということで、いうものの二つの表が出てきます。
1:31:41	いわゆる章立ての下二つに分かれてるんですよ。
1:31:44	後段の方は大体普通は改良地盤、
1:31:47	だったり、今、いろいろ追加でどこでも残ってしまう。
1:31:51	工認段階で決まる液状化強度特性、
1:31:54	要は中心、
1:31:55	なんですね。
1:31:57	たまたまそのあと、アクセスルートでたまたま使うものが出てきたりすると、そこでも検討はしますけども、
1:32:04	保管場所とか離れた場所のところですね、それと入ってくるかもしれないけども、大体そういう話なんですよ。大体がもとに入ってくるものは大体収まるん。
1:32:17	テンロクで収まって書いてはいるんだけど、審査をされてないっていう状況あまりレアケースなってくるんですけどここってかなりいろんな物性値が多いので、
1:32:26	すべては全部呉を包含はできないっていうのが電力言い分なんですよ。うん。特に、アクセスルートとか、防潮ての右側の方とかですね。
1:32:37	だからそうするとそういったものは、どこかで確認しなきゃいけないっていうふうになると、
1:32:42	設工認で確認することになります。
1:32:45	で、
1:32:46	困ったときに困ることが起きるとしたら、この設置許可では何を、我々、
1:32:51	関知してるとか審査の対象にしていないので、今までもしたこともないので、今、仕事ができるんですよ。ただ、していないので、そうしたときに、物流が危ないという。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:02	だから、
1:33:05	いわゆる海底ボーリングして、
1:33:07	追加してくださいっていう話せざるをえなくなったときに、
1:33:10	困るなっていうのはちょっと奇異うん。起こるかどうかわかんないですよ。僕も何も資料も説明も受けてないので。ただ、それが起きてしまうと、ちょっとお互いに困りませんかという話がある。
1:33:22	あと、
1:33:23	困るものとしてはそのアクセスルートのところで、いわゆる
1:33:28	すべる斜面なのか、滑らして復旧する斜面なのか。
1:33:32	それとスミダせないとして頑張らせる斜面等がいろいろありますよね。あと物揚岸壁が、部長補佐と、
1:33:39	保管場所だとかそういったところで安定性解析をする上で、看板、
1:33:46	に関しては、もうそれはもう、
1:33:49	テンロクで審査が終われば、それは保証付っていう形になって我々せ、それをもとにして設計の人たちは審査することになるんですけども、
1:33:59	それ以外のものに関しては
1:34:03	新たに公認で確認する、それ陸上なんで、それはもうボーリング足りなかったらやってくださいっていうことを言わざるをえないけど、そんなにそんなには海上ボーリングよりは、
1:34:15	わからないですよ。でかい情報リングで、新たに地盤のサッピングしようっていうと、ど偉い大変だよね。それで船持ってこなきゃいけないし、
1:34:25	テラサワ呉会場に櫓を作んなきゃいけないとかいう大掛かりになってくると。
1:34:30	失礼。多分そう。
1:34:32	そういうことができる季節っていうのがありますよね。
1:34:36	限られてきちゃいますよね泊もね。
1:34:38	そういうことになるちょっと、
1:34:40	困るな。
1:34:42	そういうことが起きたならば、大変だな。
1:34:45	ては、思っております。
1:34:47	まずは認識してもらおう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:51	ということは、
1:34:52	その設置許可に仏説表が出たとしてもそれはすべて工認に使えるものではなくて、工認で新たに審査しなければいけない分、地盤物性値も出てくるってことですよね。
1:35:03	それをまず認識してもらおう。そのためにはどうしていただきたいかっていうというと、まずはそちらの担当者連絡は泉さんだよな。
1:35:22	するか、それでなおかつ私も中に入ってきますけど、
1:35:27	申し送り事項は書いて欲しい、テンロクに。
1:35:29	テンロクに書けないんだったら、
1:35:31	まとめしろ、パワーポイントですねあちらでは、
1:35:35	会合にかけてください。
1:35:38	いわゆる、何か形を作っておかないと仕組みを作っていかなきゃいけないんだから、そうしないと、工認の時に何を起きるかっていうと、工認図書では、基本方針とかいうのは、
1:35:49	テンパチ電力見て作っていますから、そういうところに書いてないとスルーされちゃうんで、何も誰も審査しないで終わっちゃうんですね工認の多分、
1:35:57	審査官にしてもそちらの。
1:35:58	増設の申請者にしても、人が変わる可能性だってありますよね当然ね。ない。
1:36:04	ていうことは、開発も、
1:36:05	もうできないわけで否定できないわけだから、そういうことも考えたときに、しっかりと図書として、
1:36:11	やるべきことをコウに引き継がなきゃいけないことはどっかでしっかりと、
1:36:15	明示しておかないと、ちょっと大きな話が出てきて、
1:36:19	来る可能性があるんで、
1:36:20	さっきのコウの審査結構そういうのも多々あったりして、継ぎ接ぎだらけになってることは否めないんですけど、
1:36:27	それが多分、
1:36:29	その時の審査なんか規定が効いてそれをなんかねりカバーできてはいるんだけど、ただ、長期化してる。
1:36:37	泊なんかで言うと、うっかりすると、後からちょっと取り返しがつかなくなっちゃう場合もあり得るので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:42	その辺はもう非常に危惧しててそれ、今問題だって思っていないくて、
1:36:47	こうした長期化した中でちゃんと
1:36:49	やるべきことが引き継いでいかないと、後々大きな問題が起きるということがあり得るので、それをお互いに気をつけましょうということで、まずそのアクションとしては、
1:36:59	泉さん聞いていただいているんだったらその泉さんと方としてのその取り組みを、
1:37:03	うちの方の名倉た形のハザードチームともやりとりしながらどういような作り込みをするか。
1:37:10	多分土木だと、責任はあるが、立田さんもいいけど星さんの方がいいのかもしれないけど、
1:37:16	うん。アクセスルートの斜面とかいろいろあるので、そういった中で、こっち野瀬工認として何を使って、
1:37:25	イクノで機種として、
1:37:28	それは
1:37:30	大泉さんの方で全部審査、
1:37:34	の対象のにはならないんであればそれはどこで審査して、それを確実に、
1:37:40	引き渡す。そう。
1:37:42	設置許可と、工認の間の引き渡しのその、
1:37:46	文章をどのように文書化して、
1:37:50	引き継いでいくのか比木を出していくのかという仕組みもちょっと考えていかないといけないなと思っていて、
1:37:55	我々としてもそれぞれ下手する審査書とかいう環境の中に何か落とす必要も出てくるかもしれません。
1:38:01	そういうことも含めて両者
1:38:04	抜けのないようにしておきたいということで今日ちょっと緊急的にですね、
1:38:11	今後の問題点があり得ることについて一応提言させていただきました。コメントではないです。提言ということでお互いこれどのように取り組むか、まず頭の対象から、
1:38:22	始まって、最終的に、多分まだ、
1:38:27	お互いに図書を作る段階ってのはさ、相当な先になると思うんですけど、そこまでにある程度、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:34	二つのハザードがフラジリティー側、
1:38:36	の中でどのような取り返しをしていくのかということを決めていかなきゃいけないので、まずは、
1:38:43	私の方からそのお話をさせていただきました。
1:38:46	場合によっては、泉さんたちのそのハザード側の方も、多分、名倉の方から逆に言うとそういう話はもう出てくるかもしれませんが、こちらの方からも、こういうような提言があったことを記憶しといてください。
1:38:58	私は以上です。
1:39:02	北海道電力以前でございます。今、
1:39:05	矢崎さんおっしゃった趣旨は、
1:39:07	一応私なりに理解したつもりでございます。
1:39:11	33条というかハザードアノ、地盤斜面の審査については、
1:39:18	先日のヒアリングをしていただきまして、審査については防潮てに換気関係しない断面の審査をまずやっていただくそれから、
1:39:28	そのあと、今議論している構造成立性を調整での工場成立性が、めどがついた時点で、今度は防潮てに関連する断面2の審査をやっていただく、大まかにはそういった流れで、
1:39:41	で進めさせていただいております、今説明の中で、解析用物性値の説明も、
1:39:49	ハザード側の資料に盛り込んでですね説明をさせていただいております。
1:39:54	節説明としては当然のことながら岩盤の物性、それから表土ですねそれから今後膨張での断面に実現する、A s層ですとかそういった砂槽類も、
1:40:07	説明をさせていただいているところです。
1:40:10	名倉さんからはですね、
1:40:14	その説明のタイミングはいつにするのかといったところですかあとは、例えば、包丁で断面で海側のSOSにそうですね砂層が、
1:40:25	地盤の安定性にどれぐらい寄与するものなのかといったようなやりとりがありました。
1:40:33	どちらのハザード側で審査をするのか、それから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:38	プラント場で審査をするのかその辺は、今後仕分けをしていかないといけないですねといった、問題提起はなされているといったようなところになってございますのでそれは
1:40:50	お互い困らないような整理が必要かなというふうに思っています。一方で我々、
1:40:58	ハザード側としてましては、これは地盤斜面それから、アクセスルートも含めてですね、設置許可の中で説明をし切らなきゃいけないといった案件でございますので、
1:41:10	地盤のモデルに出てくるものについては、
1:41:14	木空気金井という重要な観点もある、ありましようけれども、何らかの説明は一つ設置許可段階で必要かなという思いで、一旦
1:41:26	オザワの資料に盛り込んで、一旦説明をさせていただいたという次第になってございます。
1:41:33	いずれにしても今、どちら側で審査をするのかといったところを、ですのでその辺を仕分けしていきたいと思っておりますけれども、
1:41:41	ちょっと1点ちょっと気になってるのが後任に送った時に後任に送っても、地盤斜面の側としては
1:41:51	モデルに出てきている以上は入力して計算をしなくちゃいけないので、その辺りの扱いをどうしたら良いものかという思いでちょっと今江崎さんのコメントを聞いておりました。以上でございます。
1:42:04	ケットクエザキです直で全部ね確認フラジリティーとハザード分けて、それぞれここ我々の方で、
1:42:11	ちょっとどういう形で見るとかという仕組みは考えないといけないんですけど、図書の作り込みがね。
1:42:19	公認じゃないから、地盤の支持性能とってという図書がないじゃないですか。
1:42:26	その辺をどうするかというのにはありますけど、4条の中で何か、
1:42:31	まとめ資料の中で確認する。
1:42:34	という。
1:42:35	ダテぐらいしか思いつかないですけどテンパチが書けない。
1:42:38	ですよ。
1:42:39	項目がないので、条文としてないので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:42	その辺から含めていったときに、どうするかってのはあるんですけどね、最終的には、公認という一番いいんでしょうけど、もう後々問題にならないように設置共同で、
1:42:54	最初の段をその設置許可の段階である程度、
1:42:57	確認はさしていただくっていう。
1:43:01	ことはやぶさかではないということだけお伝えしておきます。
1:43:04	であるならばできるだけもうこちらがいわゆるハザード側の審査、
1:43:10	もし進捗にもよるんですけど分類ということでキハラされていくのか、あるのであれば、それについてはまだ、決まった段階である程度早急にはお互いに、
1:43:21	ディズニー連絡は取り合いたいのでその辺は
1:43:25	プラント側、ハザード側のそちらの呉と北陸電力の方でも情報共有を密に行っていたら、
1:43:32	どういう状況にフェーズであるかってのは把握しておいてください。
1:43:38	はい。北海道電力泉でございます今の江崎さんのコメント承知いたしました。ハザード側の審査を進めるにあたって今名倉調整官といろいろ説明して、
1:43:49	いろいろコメントいただいたりしておりますので、
1:43:52	ハザード側としてもですね、名倉調整官と、この辺りの問題意識は持たれているということは確認してございますので、
1:44:03	今後細かな調整をさせていただきたいなというふうに考えております。以上です。
1:44:20	今、庁内で打ち合わせしますので少々お待ちください。
1:52:53	あと今、庁内打ち合わせが終わりました規制庁フジワラです
1:52:57	ちょっと庁内でも話したんですけどもし今後ですねプラント側の方でなんすか、例えばアクセスルート関連の表土とかが多分、許可段階でどうしても固めないといけないのかそれとも設工認に決めないといけないのかっていうのちょっと、
1:53:11	あれもありますけども、いずれかの審査の段階で確認する場合においては、多分ハダと同様と思うんですけども、地質調査結果の代表性。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:23	あと網羅性ですかねこれちゃんと説明してください。どういった広がりを持って、ある地質があるのか、その深さもどんなのか、その
1:53:33	それらを踏まえて調査ポイントどう設定したのかそれが足りるのか、足りないのか、それを使ってどういうふうな規格基準に基づいて設定するのか。
1:53:43	そういうのが妥当なのかっていうのだから先行です実績があるのか、実績なかったらそれどういうふうにな実績に戻して整理するのかというのは、やって欲しいと思いますそれだから、
1:53:56	今回の江藤イシイさんの方でも後段規制のかちょっとよくわからないですけど一応もし上絵プラントが出るとしてそういったのは、やっていただくようお願いします。よろしいですかね。
1:54:10	はい北海道電力の辰田です。衛藤今おっしゃられたお話ですけどもちょっとゴトウでもありますけども、アクセスルートも含めてですね。
1:54:21	ちょっと敷地内にある、使ってる物性値と見渡して、ちょっと方針をこちらで再検討させていただこうと思います。ちょっと防潮底に今見えてるS1と2の、
1:54:34	済まそうの話ですけどもこの扱いについても検討させていただきたいと思います。以上です。
1:54:42	規制庁、平木よろしくお願いします。でね、
1:54:45	もう1個、幾つかコメントが少しあって、そそこだけもう言い切っちゃうと思うんですけど、一つか。
1:54:52	セメント改良度のお席を物性値の設定、室内配合試験及び品質呉確認試験の扱いに関して、
1:55:02	設置変更許可から後段規制までの各段階でどのような考えを、
1:55:09	なのかっていうのをパワーポイント等に落として欲しいんでまとめ資料入ってんだよ。208 ページだよ。うん。
1:55:17	こういった考え方を、こちらにもちょっと落としといてくださいねっていう、参考資料の巻末でも結構なんですけど。
1:55:25	それを載せておいてもらった方がよくて、
1:55:27	さっきの、うん、液状化の強度の話もありますけどそういったやつもそっちに同じように参考資料で落としておかないと、
1:55:34	どういような検討をしていくのか、またこの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:38	今回のその液状化強度だけじゃなくて、セメント改良度としてはどれを用いていて、それが今後、設計として、
1:55:48	どのように、
1:55:52	決めていくのかというその決定の仕方とあと最終的に確認の仕方というのはこの表を見ればわかるわけですよ。この辺のちょっと、ちょっと説明書きとその表は、どこかで落としてくださいっていうお願いです。よろしいでしょうか。
1:56:09	電力のマツモトで承知いたしました。
1:56:18	閉規制庁フジワラですけど、パワポ7ページですね開いていただいて、二つ目の丸の施工目地抜け津波による地中部の透水力については止水ジョイントの根入れ深さの延長とか、
1:56:31	あとその他の対策を、許可段階で説明する、これ止水ジョイントのところのヒアリングのところでも申し上げたところの内容をここにも反映されて、
1:56:39	と思うんですけどちょっとごめんなさい。これ一応1月末の審査会合で、この資料が出てくるものであって、それ以降でこれ説明される。
1:56:49	ていうふうに理解したらいいんですかこれは、それとも、1月末の審査会合では、ここを更新して、説明がいただけると理解して、どっちでしょうかね。
1:57:04	北海道電力の立田です。衛藤1月の1月末の審査会合には間に合うように説明したいという思いです。
1:57:13	そうですね。きちょうわけでしょう。一応このパワポは1月末の対応しようということなんで、ちょっとこれでいうと何かまたあるんかっていうのは思うんですがまずやってきちんとやってください。
1:57:23	文書適切にやっていただきたいとともに、これわあ、現状の検討状況を何か今いえることありますか。
1:57:39	当北海道電力の松元です。現状静的な力の釣り合いボーリングの検討を行った結果、何かしらの対策が必要な状況になっております。
1:57:52	ですので何かしらの対策をどうするかっていうのを今、社内で検討中というところが今の状況でございます。何かしらの対策としましては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:02	止水版を施工無時間に止水版等の止水材をセコム時間に設置するというようなことを考えております。
1:58:16	多分これ、書いてあって、審査会合で言わざるをえないのは、
1:58:21	止水ジョイントの様式をね基本的に構造、
1:58:25	トーク。
1:58:26	今回、1回1回で構造変更とか設計変更が1回目なんだけど、
1:58:32	2回もあり売りますかっていうことだけど、
1:58:37	それ駄目だと言ってないんだけど我々というとしたら、今の像だと、基本的に、
1:58:43	変わるような状態があるならば、いつもと同じセリフですけどい わゆる早めに早く、
1:58:49	それが決まったらね、わかったね、段階で。
1:58:52	構造をまた変更することがわかった段階でまた、
1:58:57	速やかに報告はしてくださいっていう、言わざるをえないので、 駄目だとは言えないので、
1:59:03	そう言わざるをえなくなりますけどよろしいですねっていう。
1:59:36	はい。北海道電力の立田です。今説明スライド7、パワポの7ペー ジのようなこの青で書いてる水ジョイント、背面側につける位置 については、
1:59:48	地上部というんすかね、地上部き中部からの町地上部地上部の増 し。
1:59:54	津波に対しての対策ということの方針は変更するつもりはありませ ん。
2:00:00	またアノ等水力町中部伝わってくる等水力に対しての対応とし て、別途、対応、対策を考えていくということでございますの で、止水ジョイントの設置位置、この
2:00:12	基本方針は変わらないです。以上です。
2:00:16	吉良坪田です。わかりました。
2:00:19	うん。
2:00:20	海側に設置し直すとか、いうこともないですね。
2:00:23	わかりました。
2:00:30	アキムネから一つご連絡あります文字を大きくしてくださいって 以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:21	北海道電力のツツザワですちょっと資料の文字、見づらいところ小さくて見づらいところがございますのでちょっと改めて値を大きくしたり、見えるようにしたいと思います。以上です。
2:01:35	はい。規制庁塩田です。ヒアリングをちょっと一時中断しますお昼ですので、はい。
2:01:40	はい。規制庁藤原です。ヒアリングを再開したいと思います。それではちょっと私の方から資料2-1の6ページを開いていただいてその、
2:01:48	地震選定という項目のところについてちょっと確認させていただきます。この地震はっていうのは構造成立性の評価っていうことで、
2:01:58	要はこの構造がひっくり返らないかっていうことを確認するために代表、波を使うという内容だと理解してまして、そこで女川とかの
2:02:09	構造成立性とかですかね、ちょっと見てみますと、あとそのものだと何か液状化の影響も踏まえて何か継続時間の観点を踏まえて、地震はオノナカ選んでるような、
2:02:20	そんな記載がありました。
2:02:21	今回のこの泊のこの6ページにおいて何かそういう観点とあまり書いてないようですけど、液状化の観点っていう件に関してこれ、どのように考えているか、説明いただけますか。
2:02:49	北海道電力の松本です。
2:02:51	衛藤。
2:02:53	先行サイトウの審査においては液状化の観点から地震継続時間が長いSまつまりでいえばS _{s1} が選定されていたという、
2:03:03	ことは認識しております。泊のサイトウにおいても3-5においてある程度過剰間隙水圧が上がっていて、液状化しているのかなというところと、
2:03:14	あと泊の膨張ての構造の特徴として、
2:03:17	停滞構造そして固いものが、硬いもので仕上がってる停滞構造ですので、
2:03:24	液状化の影響もありつつも地震動の加速度の大きさが影響してくるんだろうなということで、S _{s3} の方を一般に選定したという経緯がございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:36	規制庁藤原です。衛藤。今回 S_s 3-5 で評価をすると、おそらくそのセメント改良の地震の慣性力が、
2:03:46	結構きつかったとかまあ、要は結果を見たらそういうふうなものもあったので、
2:03:51	ていうことだったら、何かちょっとこのなんすか、6 ページの中ではその辺が全然ちょっと見受けられないので、やっぱ構造成立性とやっぱこれまでの施栓
2:04:01	先行の審査というのは液状化の影響でもちゃんと成立し得るのかってところがやっぱ一番日ん見るところだったと思うんでそこはちゃんと、
2:04:10	まず書いていただかないといけないのかなと。あと、その継続時間が本当に影響ないのかっていう、何かこれ
2:04:18	今の言葉で何か過剰海水暑うの大小で、
2:04:23	言ってはあるんすけど、何か、
2:04:26	継続時間なんか関係ないんですかね。ちょっとその、いや、表現ぶりだけ何か説明できるのかちょっと今、私もよくわかんなかったんすけど、もうちょっと説明って可能ですかね今後なんですけど。
2:04:40	このマツモトです。今、液状化の観点での成立性のコメントというか考察等が抜けておりますのでそちらのコメントを充実させていただきたいと思います。
2:05:00	規制庁熊谷です。と同じく 6 ページのところですけども、
2:05:05	こちらでそれぞれ
2:05:07	水平最大加速度と水平最大相対変位とかそれぞれ出してもらってるんですけども、
2:05:14	せいぜい最大加速度のところの、
2:05:17	その S_s を見てみると、
2:05:20	3-5 とか、それ以外のところも、
2:05:23	若干値、
2:05:25	動いてるんですよ。だいたい $TP0$ メートルぐらいのところ、
2:05:29	急にその
2:05:31	速度が変わったりする加速度が変化してるんですけど、こういったものってどういった観点でここ急に変わってたりするんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:45	北海道電力の松本です。この前、0メートル付近で急激に応答が加速しているというところは、何か地質上の変化があると。
2:05:57	高さではないというところですので、ちょっと加速度の大きさでは、といたら小さいものになるんですけども、例えば衛藤、
2:06:07	黄緑色のSへ数、
2:06:11	2か3、2かな。
2:06:14	2シリーズだとかあと3シリーズの水色のラインでも、0メートル付近でちょっと変化が出てきているというものがございまして、この音につきましては地震動特有の応答が出てきているものと考えておりました。
2:06:35	規制庁駒井ですそれは何かその、
2:06:39	地震動の、
2:06:40	はい。
2:06:41	2とか3とか、
2:06:45	その内数、その変化があるものとなないもの、あるみたいですけども、
2:06:51	何ら何らかの
2:06:54	固有の何か影響があったってことですトラムも派遣によって、
2:06:59	何か、
2:07:01	出てきてるってことですかそれはS _s の、
2:07:05	3-4とかはあんまり影響ないみたいですけど。
2:07:10	そういったのが何か個別にあるってことですか。
2:07:13	北海道電力の佐藤です。
2:07:16	この各地震動の加速度応答スペクトルを見てみると、大体0.1秒から0.2秒ぐらいで、
2:07:25	振動が大きくなってる。
2:07:27	ところの、
2:07:28	だということは、3-5のスペクトルを見たり、
2:07:32	あと同じように、0メートル付近で増えている、この
2:07:37	S _s 3-2のN-Sとか、そういったところでは、
2:07:40	大きくなってましたので、そういった地震はの、固有周期との関係で、この0メートル付近のところはぐっと上がる場所あると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:48	逆に伊勢さんのようなその辺りの周期が大きいというのはもっとそこは小さいので、影響が出なかったと、そういうふうに
2:07:56	考察しております。以上です。
2:07:59	規制庁熊谷です。はい。それぞれ地震動、
2:08:02	によってそれぞれの特徴が出てきているところであるということ
2:08:06	で、
2:08:06	話確認できました。
2:08:10	今回このページでは、19は、前、
2:08:13	12 ジンノ 19 班のうち、
2:08:18	構造成立性評価に係る用いる基準地震動、一般に選定するという
2:08:25	ことで、一番最初のところに記載してるんですけども、
2:08:25	これいっぱい選定するってあるんですけど、
2:08:28	この19か。
2:08:30	何かすべて代表できるようなものを一つ、一つというか、
2:08:35	代表できるものを、
2:08:37	何、何%が選定して、
2:08:40	した結果、
2:08:42	1%とかそれぞれのも、
2:08:45	今回はS s -3の後に、
2:08:48	を選定するというので、
2:08:50	これ選定するとか、網羅できるオオノ代表性のあるものを、
2:08:54	代表させるようなものを、何ていうか
2:08:59	導き出すっていうような考え方で行ってるってことでよろしいん
2:09:10	ですか。
2:09:10	北海道電力の佐藤です。はい。おっしゃる通りこれS s 3-5が代
2:09:19	表できると考えております。
2:09:19	規制庁熊谷です。
2:09:21	であれば何か一般に選定するというよりも、何か代表させるみた
2:09:29	いな形に、記載ぶりについてはそういうふうにしてもらった方
2:09:32	が、
2:09:32	お考えが、
2:09:32	表現できるのかなと。
2:09:34	思いましたのと、
2:09:35	あとはこれ、一般に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:37	限定してますけどこれ、
2:09:40	一般に必ずいっぱいしなきゃいけないっていう考え方なんです か、それとも複数はでもいい。
2:09:47	代表できるものがあれば何か先ほど
2:09:50	地震動の基準地震動によってそれぞれ特徴が微妙にあって、
2:09:57	加速度のところとかも変化するものとしなないものがあったりとか かっていう話もあったんですが、
2:10:02	やっぱり一般に、
2:10:03	選定一般に代表させたいっていう思いがあるんですが、
2:10:14	北海道電力の松本です。地震動については一般に選定したいとい う思いが根底としてあります。この、
2:10:24	着目した点としましてはセメント改良度と下部コンクリートの音 を示してますけども、強度的にもセメント改良度の方が弱いとこ ろではございますので、
2:10:35	%セメント改良度のところでの応答を見て、SSさんの方で評価 するのが妥当だろうというところで、伊勢さんのご一般に絞って
2:10:45	評価をしたというところです。
2:10:47	さらに補足させていただきますと後段で結果を示させていただい てますけどもそちらで、ある程度セメント改良のところの裕度も ありますので、S s3-4でも成立見込みはあるというふうに考え ております。
2:11:06	規制庁熊谷です。
2:11:07	それではこれは後段のところでもた確認させてもらえればと思 います。
2:11:13	はい。私からは以上です。
2:11:17	規制庁藤間ですけど、今のクマガイの件はこの6ページにおい て、何かあたかも何か一端かやらないために、何か理由づけを書 いているかのように見えるのはちょっとちょっと何か、
2:11:30	自然かなというところがあって、要は、構造成立性の評価とい う、オオモトの目的っていうのが要は構造が、許可段階で本当は 設工認に全部やるんだけど、
2:11:41	各段階で変わらないことを確認するために、どうやるか、その中 で、こういう構造、防潮ての構造としてこんながん、頑丈という か、要は結果見たら結構頑丈だったんですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:52	だったらじゃあ、この1%程度でもいいんだろうと。だから講座成立ですとか、というような最終的な目的や、
2:12:01	そこに多分やらないと、この6ページの表現って何か、あたかも何か一般しかやりたくないですっていうちょっと後ろの期間が見えるようにですね、そこだけちょっと、ちゃんと説明の、
2:12:12	趣旨は今の回答をし踏まえて考えた方がいいように思いますがいかがですかね。
2:12:19	北海道電力の江マツモトです今のご出資承知いたしました。
2:12:24	はい。資料に反映させていただきます。
2:12:39	他、
2:12:53	はい、規制庁の谷口です。
2:12:57	ちょっとえっとですね、まず、
2:13:02	最初2-1の資料の8ページ目のところに、
2:13:07	包丁での解析モデルの話が突然、突然現れてるような形になってて、
2:13:15	倉崎条件はこうですって書いてあるんだけども、
2:13:19	この間関井については、
2:13:21	例えば、2-2の資料の15ページ目を見ていただけますか。
2:13:38	結局15ページ目に書いてある主設計フロー。
2:13:43	この先ほどの中で、
2:13:45	具体的に、例えば津波時は二次元で動的CFAMやるものと、3次元がある。
2:13:54	それから、重畳時は、それを合わせたものであるとかそういうフローが書いてあって、
2:14:01	こういう流れの中で、具体的に次元のやつはこうやってやりますよ。
2:14:07	ていうのが、
2:14:08	パワーポイントのところの、
2:14:10	条件のところだと思っただけけれども、そう。要は、このフローがあった上で、これを書いてあれば、このモデルの説明が、
2:14:21	出てきてるのは何となくわかるだけけれども、
2:14:24	このフローがないままで、突然二次元とか3次元が出てきてるので、
2:14:28	モデルの位置付けがよくわからないんです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:31	それで、結論とすると、要は、地震時と重畳2次元でやると。
2:14:37	で、それから津波は3次元でやりたいって言うてるんだけど、それもこのフローを見ていくと、
2:14:47	下部のコンクリートは2次元であるけど3次元の
2:14:51	FMは、
2:14:52	セメント改良のところやるとか、これも15ページ目に書いてあるフローと合わせて46ページ目に細かく書いてあるんです。だから、この辺せっかくこういうフローが書いてあるんだったら、
2:15:04	この辺をきっちり説明した上で、モデルのことを説明しないとわからないんじゃないかなと思うんだけど、いかがでしょうか。
2:15:17	電力の松本です。今おっしゃられた通りだと思いますので、全体の検討フローがわかるように説明させていただいた上でこの部分とご説明しますというところの流れがわかるような資料構成とさせていただきますと思います。
2:15:31	はい。そういうことでよろしくお願いします。それで、ケース負け、結論からこれ見たベースでいうと2次元の静的はFLIPをやるということに、
2:15:42	なってるんですか。その辺は、要は有効力解析はどれを有効力糟谷どれをどのモデルのやつをやるのかっていうのがわからないんだけど、
2:15:51	それはどこ見ればわかりますか。
2:15:57	北海道電力の松本です。資料2-2のまさしく15ページ。
2:16:05	になるんですが、庄野4ポツ、2ポツ、防潮ての設計フローと、
2:16:11	書いてあるところの、2段落目包丁で標準部は線状構造物であるというところで、最後の文章中に有効力解析で評価することを基本とすると書いております。
2:16:24	フロー中にはそれがちょっとどこにも書いてない。
2:16:28	その辺がね、有効力解析をどのモデルのやつは10コウ6解析をやって、どのモデルのやつはそれじゃないっていうのがそういう区別が、要は、
2:16:38	このフローの中に書いてあれば一目瞭然かなと思うんだけど、そういうことを書いておいて、それで、先ほども最初の時に、この間、先ほど午前中に話があったみたいに、
2:16:52	それだから液状化の仕様が要るよねっていう話に当然なるので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:57	その辺をきっちり書いといていただかないとわからないと思うので、もう少し整理をして、
2:17:04	わかりやすく資料も、ポイントとまとめの資料とまとめ紙の資料の中でも、フローが二つあるし、そういう中でいうと、
2:17:15	どういう流れになってるかってきっちりわかるように、
2:17:18	まとめていただくのがいいのかなと思いますけどいかがでしょうか。
2:17:25	北海道電力の松本です。まずフローの中で何をやっているかという具体的な内容も含めてわかるようなフローに修正させていただきたいと思います。はい。よろしくお願いします。
2:17:38	それからもう一つ、
2:17:39	その流れの中で、
2:17:44	津波過剰については2次元の動的と、3次元の静的なものが出てくる。
2:17:50	ことになると思います。
2:17:52	その時に、
2:17:53	例えば今、今の流れでいうと、
2:17:57	セメント改良度のところは、
2:18:01	どのモデルで確認するか。
2:18:05	このフローでいうと、
2:18:07	3次元の静的のモデルで評価します。
2:18:10	というふうに書いてあるんで、
2:18:13	株コンクリートは、
2:18:15	二次元の動的で評価しますって書いてある。この辺、その辺2次元と3次元の使い場は、使え、
2:18:24	使い分けをしてるんだけど、
2:18:27	それを、
2:18:28	どういう形で、長兆治もどうやって評価するのかそういったものもちょっとわからないので、
2:18:35	2次元で出てるものと3次元でやった結果と、出てきてるものを、
2:18:39	どう見て、
2:18:41	当方重畳時に考えていくのかっていうのは、
2:18:44	何らかの形で記載をしといた方がいいんじゃないかなと思うんですがいかがでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:11	北海道電力の佐藤です。ご指摘の点、まとめ資料の中、
2:19:19	7、
2:19:20	15の、第4-4の図ですと、その辺の使い分け。
2:19:27	確かにわかりづらいかと思います。
2:19:29	まとめ資料のですね、40、
2:19:35	6、
2:19:36	46ページでご覧いただけますか。
2:19:39	こちらですと、津波、
2:19:43	鍛冶の方ですね、フロー。
2:19:47	途中枝分かれして三つに分かれるんですけども、
2:19:50	津波時、二次元動的FEM解析。
2:19:54	Aと書いてあってそちらで下部コンクリートの調査をすると、右側で3次元の静的平面解析をすると。
2:20:01	この辺の使い分け本文中に記載しております、
2:20:06	あと重畳時のところの記載もあるんですけども、
2:20:11	ちょっと評価としてわかりづらいところがあるかとは思っていますので、
2:20:15	重畳の時にどのように、
2:20:19	例えば変位とか、それを取り出してきたり、どう評価しているのかってところもちょっと、
2:20:24	記載のほうを充実させたいと思います。
2:20:27	実際どう評価してるかといいますと、上司の方はですね、衛藤。
2:20:34	ちょうど内野アノ自身の残留変位とか、
2:20:37	そっから上の実施、頂上のSDの地震は揺れたときの変位、プラス、
2:20:45	3次元の、津波波力をかけた時の変位、そういったものを足し合わせ、
2:20:50	いろいろ組み合わせて評価はしておりますので、
2:20:54	その辺りはちょっともうちょっとわかるように記載を充実させたいと思います。
2:20:59	やっぱり今おっしゃってるわからないので、
2:21:04	どういうふうな流れでやってるのかその部分もやっぱり節説明しておかないと、
2:21:11	方針として、やっぱりやっとなかないと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:14	わからないと思いますんで、特にこの辺株コンクリートと、
2:21:20	それからセメント改良と言っても扱いが全然違うし、
2:21:23	下部コンクリートは二次元だけでやるって言うので、
2:21:27	その辺やっぱりもう少し、
2:21:30	丁寧に書いてあげないと、書かないと。
2:21:34	やっぱり、
2:21:36	何となくしかわからないので、
2:21:38	きちりどっかで説明をするようにしておいてください。
2:21:54	ホリグチが対象なんですよ、漢字がね。
2:22:07	結局どういう形で使うかっていうの目的当然目的があってそうやって使ってると思うし、
2:22:14	実態としてその境界条件だってそれに合うような形で境界条件決めてると思うので、
2:22:20	そういった点を考慮に入れて、使い分けをどうして、どういうことをやるから、3次元を使うんだと。
2:22:27	dすってというようなことを、
2:22:55	規制庁の江寄ですが、いわゆるですね
2:22:58	2個二次元3次元の使い分け、多分、
2:23:02	平均的な、
2:23:03	応力評価。
2:23:05	安全性の評価ですね。
2:23:07	それと、局所的な評価、
2:23:10	で分かれてるんだと思うんですね局所的評価多分、
2:23:13	標準衝突荷重が集中化中だから、そういった部分で局所的なんなるでしょうから、そういったものをどのようにモデルで表現して、
2:23:23	その最後の安全性の評価、
2:23:26	4に導くのかというのがわかるような、
2:23:30	表として、
2:23:31	体系立てて整理したらどうですかねだから、
2:23:35	何を左側にねどういった小項目を評価しようとしているのかってことでその評価しようとしているものが、
2:23:42	どういったモデル化。
2:23:44	で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:46	モデル化して出てきたものをどう処理しようとし、評価書をですね簡単にそれを言葉に、
2:23:52	宇井さん別の表でつくれると思うんですよね。そういった形を作ると、それが多分す。
2:24:00	大きなその設計方針だと思うんですよ。一番最初の前提となる。それに対して、じゃあそれがフローに落とすところというフローになりますとかそういうふうに説明していくと、
2:24:10	わかりやすいのかなと思いますけどね、今、今の。
2:24:13	これまでの審査官の指摘を踏まえると、いかがですか。
2:24:18	ちょっとわかりやすい資料を説明を上げてもらえればと思うんですけど。はい。北海道電力の佐藤です。衛藤。
2:24:25	一応現状の記載をちょっと説明させていただきますと45ページですね、まとめ資料です。資料2-2の45ページ。
2:24:35	こちらの3段落目のただしのところ、
2:24:38	こういった、
2:24:41	地震荷重及び津波荷重は汀線方向に一様に作用することに対し、漂流物荷重は局所的に作用する荷重であるため、
2:24:48	津波時における評価は以下の通り2次元と3次元を使い分けると。
2:24:53	で、
2:24:54	いうことを記載していて、こういった局長荷重に対しては、もうちょっと下ですかね、下のポツの二つ目。
2:25:02	漂流物課長が直接対するセメント改良ドイコウ強度恐縮に作用する漂流物荷重に対する、
2:25:09	高強度部による荷重分散を精緻に考慮するため30mで評価するという記載はあります。
2:25:15	ただ、ちょっと多分、今みたいな話を文書でチラッと書いても読み取れないから、47ページの表があるじゃないですか。ここに落として、もう少し改良して落とし込んでください。
2:25:27	そしたらわかりやすくしてそのあとに、
2:25:29	多分、
2:25:31	46ページのダイゴ23-1。
2:25:34	フロー書くんだと思うんですよね。
2:25:36	ただ設計の前提が最初にあって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:39	そのあとに、やる方法論ってというのが、このフローチャートだと思っんですよ。だから、全部逆かなと。うん。
2:25:46	はい。
2:25:48	はい。北海道電力の佐藤です。
2:25:51	ご指摘の通りだと思いますのでその通り、修正かけたいと思います。以上です。
2:26:11	矢崎ですけど、パワーポイントもね、ここまで詳しくなったとしても、どういう前提で考えて、そのためにこういうようなフローの流れになりますっていうのちょっと説明していただいて、
2:26:22	結果がこうですっていう、モデルとかそういう話はありませんけど、
2:26:25	薄く
2:26:27	そういったせ、説明をしてもらえれば、割と話は、
2:26:31	スムーズに頭にみんな入るんじゃないかなと思いますのでよろしくをお願いします。
2:26:35	よろしくをお願いします。
2:26:42	久米田ですけど、ちょっと確認をさせてください。はい。
2:26:45	ちょっと確認をさせてください。
2:26:48	ちょっと私読んでて、これあれですよ。例えばSSGは二次元動的FEMでやりますよね。
2:26:54	でその残留ひずみは残して、
2:26:57	津波時の解析。
2:26:59	余震の解析をやっていく。
2:27:01	すそうですか。そうじゃないですか。
2:27:06	泉北海道エネルギーのサトウです。ひずみは残しておりません。変異とかを考慮するとき、地震時の残留変位を考慮して、止水ジョイントの評価などが起こって行っておりますけども、
2:27:20	ひずみを残すとなると、連続して解析しないといけなくなっておりますけどそれはやっていません。
2:27:26	そうするとだから、地震時等、藤松波ワダから3次元なんで、残留ひずみ残さない。重畳時、これも当然残念ひずみ残さない、弾性状態で全部やっていく。
2:27:39	やり方をしている。
2:27:46	わかりました一つのやり方だと思うなと思うんだけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:51	オガワとカーの腰山リズム残しながら言ってんですよね。島野もそうじゃなかったっけな。矢崎さんそうじゃなかったっけ。
2:28:18	基本的には、
2:28:19	やるっていう、
2:28:24	うんうん。もう今許可段階なんでね、それでも構わないとは思ってますけど、
2:28:30	何かやっぱり弾性状態で続けていくっていうことを念頭に置いてるならば、
2:28:37	それが基準地震動 S_s に対して、
2:28:40	あまりひずみレベルが高くない。
2:28:43	からとかね。
2:28:44	やっぱり工認時までそれで通されるならば、何らかの説明がありますよ、きっと。
2:28:51	ちょっと念頭に置いといてくださいサトウさん。
2:30:45	北海道電力の佐藤です。ちょっと事業者にお話しておりました。
2:30:52	今ご指摘のあった地震後のひずみについて、許可の段階で、今出てる結果からちょっと
2:30:59	どういう方針で整理するのか、まとめたいと思います。以上です。
2:31:11	規制という形でちょっと話戻るんですけども、うちの資料の2-2の方の、先ほど出てた
2:31:20	45 ページ 46 ページ 47 ページの話なんですけど、こちらからも審査官の方からも、
2:31:30	ある程度このフローがわかる前提ってのをまとめてくれって話でちょっと表を先に出したらどうだって話なんだけど今のところごめんなさいこの表、5047 ページの
2:31:42	表の5-10 っていうのはフローを流した後の結果を示してる表。
2:31:50	それともうフローを説明するための表、僕は何となく、結果としてここ、こういうことを、何か考えなきゃいけないんじゃないですかっゆうか、
2:32:01	そして、
2:32:02	やるっちゃうことにしてますよっての風呂流した後の結果がここに示されてるんですかって話なんだけど、
2:32:11	どっち。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:20	それで僕言いたいのはどっちかちゅうと結果を示してるのであればこの表の様式使うんでもいいんだけど、フローをちゃんとわかりやすく、
2:32:30	説明できるための前提としてね、こういうことをちゃんとまとめましたよっていう表をちゃんと前につけてもらってその上でフローをちゃんと、さっき谷口も言ったんですけど作り込みをしっかりしてもらって、
2:32:42	それで、4、5ポツの4ポツ2行はそのアウトプットとしてこういう結果になりましたっていうのをちゃんと繋がるようにしてもらわないといけないのかなってちょっと思ってるんで、
2:32:53	そこんところは、単純に表を移すんじゃなくてあくまでもフローの前に持ってくる表としてね適切なものをちゃんと作ってください。
2:33:01	似たようなものになると思うんだけど、そこんところをしっかりやってもらった方がいいと思いますそれと、
2:33:06	僕もこのフローの方はとてもわかりづらい違うんでちょっとこの作り込み特に分岐のところについては何でこれ二股なのとかねさっきいろいろ話題出たんだけどそこはちゃんと、
2:33:19	向きがわかるようなことをちゃんと記載してもらわないと、これをえないですよ、このままだと、そこんところをしっかりやって、そのための条件を、前のところにちゃんとしっかり表に作り込んでもらうとかねそういうことしてもらった方がいいと思うんですけど、いかがでしょうか。
2:33:39	北海道電力の松本です。
2:33:41	まず47ページの表の項目につきましてはタダウチさんのおっしゃる通りで、これを確認する。
2:33:49	あとでこれを確認するために46ページのフローで確認をしていくというような流れになっております。
2:33:56	なのでさ、その考えでちょっと資料の説明は再構成させていただきたいと思いますが、まとめ資料上はですね36ページ。
2:34:09	を見ていただきますと、
2:34:11	各部位の調査項目というものを、ちょっと飛んではいるんですけど、こちらに記載をさせていただいておまして、
2:34:19	それを確認するために46ページのフローがあって、
2:34:23	47ページの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:34:28	手法があるというようにちょっと飛んでいてわかりづらいところはちょっとございます。
2:38:12	ちょっと、今、
2:38:15	こんにちは。
2:38:28	北海道電力の佐藤です。事業者の方でちょっと今検討しております。
2:38:33	衛藤。
2:38:35	そうですね資料の作り方としていろいろちょっと情報が散らばってて、わかりづらい構成になってるかと思いますので、
2:38:46	まとめとしてはちょっとフローのところに記載してる内容、分岐。
2:38:51	そういった内容を、
2:38:52	のところもしっかり書いたり、あとはですね、
2:38:56	表を事前に設計方針として表で整理すべきことがあれば3と整理して、
2:39:02	ちょっとそれをしっかりパワーポイントに落とし込むといったところをもうちょっと、
2:39:08	頑張りまして、わかりやすい資料作成に含めたいと思います。
2:39:12	以上です。
2:39:16	藤規制庁フジワラですけど、
2:39:20	何かちょっと私の今のこの二次元3次元とのやりとりっていうのは、何となく私の理解なんですけども、すべて本当2次元でやればいい話だったところを、
2:39:32	多分2次元でこの漂流物をぶつけると多分、ちょっといや、ちょっと大分保守的なやり方ですねにじんで漂流物が、だから、ちょっと精緻化しました。
2:39:43	ていうのが多分出資なんですんで、その精緻化のやり方が何か、従前は何か、荷重分散45となる方法を使おうとしたのを、
2:39:52	止めて3次元という形で多分、あったという経緯をおナカそういったようなイメージがあったんですね。
2:39:58	うんただその経緯が何か、さっきフローのところにも、もしかしたら何かそういったのが一つあるのかな。要は、余りにもその2次元が保守的なものだからとか言うんであって、
2:40:08	でもきちっと荷重の分散の効果を確認するために、3、3次元で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:40:14	やる一のかなっていう、まあはちょっとご参考と私の印象です。はい。
2:40:19	ちょっと続きまして
2:40:21	この今回の3次元の静的解析っていうのが目的っていうのが、要は、
2:40:27	何ですかね、単純な45の分散じゃなくて、
2:40:30	要は高強度部にまずぶつかった後その高強度の中を荷重が分散して、セメント改良ドイなんかある程度なんか、
2:40:38	なんすかねこう集中せずに分散して、物等は、何か分布するような、
2:40:45	そういった効果がもしかしてあったのかなと。で、その結果っていうのはなかなか今回のまとめ資料にあまり見えてこずなんか、一応なんか3次元の局長安全に関する
2:40:57	何もないものだけあったんすけど、そもそもじゃ分散効果はどうだったの。
2:41:03	ていうのが、
2:41:04	あんまりちょっと見えなくて、実際ちょっとその資料なんか今後あったらいいなと思うんすけど、実際どうなんでしょうね、分散効果ってどれくらいの意味なんか効果があったのか、或いは3次元静的解析の、
2:41:16	効果、これはいかなるものだったか、何か説明いただけますか。
2:41:20	はい。北海道電力の佐藤です。
2:41:23	おっしゃる通り確かに結果に分散の部分記載しておりませんでしたけども実際45度ぐらいで分散して効果は実際見られました。
2:41:33	です。
2:41:34	それで、コンターの色合い特に色もついてないところですけども、応力的に見れば、きちんとその色が、
2:41:45	荷重が分散していくようは様が見えます。そういう結果終わられています。以上です。
2:41:52	そうじゃないですけどそういった何か藪さんの効果が見られるような何か結果の図って何か示すことはできますかね。
2:42:02	北海道のイクノサトウです。はい。示します。
2:42:06	すいません。それはですね説明今後いただけたらと思ひまして、じゃあその分散が効果っていうのは、ちょっとまだお伺いするんすけど、今のそのモデル上を例えば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:17	14 ページを、パワポの 14 ページですね、見たときに、今おそらくこの左の
2:42:28	下に書いてあるモデル図 3 次元のモデルっていうのは、3 次元ではあるけどこの端っこの部分ですかね膨張での縦断方向の端っこの部分、これは、
2:42:38	おそらく、施工目地括弧緩衝材なり、ある意味ですかね、がある状態を想定して、ルーで、それのど真ん中にかけてる家をそういう理解でよかったでしたっけこれは、
2:42:53	要は、フリーの状態ってことですね幹部は、
2:42:56	北海道電力の松本ですおっしゃる通り 3 次元のモデルにおいて両端部は何もないフリーな状態で評価しております。
2:43:04	ちょっとそういった境界状況あんまりよくわかんないんでそこら辺をちょっと今後何か示されたら、示して欲しいんですけども。
2:43:12	ちょっと今の分散効果の観点で、真ん中に今、この荷重かけてるのは、平面的などんな形ですね。それで分散効果があったと。わかりましたじゃ、
2:43:23	端っこにぶつかることも当然有り得ないでしょうか大分施工目地括弧緩衝材ありの近傍に当たった時にその分散効果がどこまで期待できるのはこの辺って何か、
2:43:36	ご検討とかされてらっしゃいますでしょうか。
2:43:42	電力の松元です。高強度部の端っこモデル端部に当たった検討も内々に行っておりましてそちらでも問題ないということは確認しております。
2:43:53	はい、規制庁フジワラセトちなみに問題ないことを確認したということでその照査値というのは、このど真ん中にあった場合と端部でやった場合はどちらが厳しいでしょうか。
2:44:05	北海道電力の松本です。表彰たちとしましては端部に当てた方が、若干厳しくなるというところです。
2:44:14	規制庁じゃ若干ってことですかね。要は構造成立性の中での代表として、今回中央締め指数で、設工認段階で要は端部がもしかしたら一番厳しいのは当然、
2:44:28	出すんですけど、一応す、設工認がちゃんと端部を示すということでもいいですかね。
2:44:33	北海道電力の松本です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:44:36	照査値としましては、
2:44:40	若干程度、裕度もある結果ですので、あまり若干のサーかなと考 えておりますで、工認段階においては、
2:44:52	距離別荷重が当たる1、あと、
2:44:54	当たる方向等も考えて評価しなければならないんだなというふう に考えております。
2:45:01	はい。衛藤規制庁主事ですわかりました。一応、主に衝突荷重用 位置の観点で何がしかの注記はパワーポ或いはまとめ資料にち よっと、その通りですが、なぜ真真中でいいのかで、
2:45:13	要は、後施工にどういうことやるのかこの辺ちよっともうちよっ と書いていただけたらと思うんですが、いかがですかね。
2:45:20	電力のマツモトで承知しました。
2:46:20	はい、規制庁藤原です。続きまして一応3次元モデルのそのんな んすかね、境界条件っていうのはもう、例えば二次元だと底面固 定だとか要は静的解析。
2:46:32	に対して多分固定条件だと思うんですけどそういった情報がちよ っとあまりちよっと入ってないようだったんで、その辺、3次元に ついて何か合わせて、
2:46:40	あと、境界条件とあと、
2:46:44	荷重ですかね等、これ3通にこれをキシノ3次元静的FEM解析 の背面からの動圧とかいうのはこれは二次元のやつそのままかけ ているという。
2:46:57	んのかなと想像はしますけどそこら辺の記載もちよっと足りない ので、一応どういうふうな条件かっていうのは、
2:47:03	まとめ資料レベルかもしれないけど書いたほうがいいように思い ますが、いかがですかね。
2:47:15	も、こちらにどうやってこれ、何を起点ですかねこの3次元平 面、3次元静的FEM解析において、
2:47:47	両電力のマツモトですと3次元のモデルにおいて、ドア数は数か けておらず、津波のキャンセルになるので、タダノ地盤ばねで埋 め戻し動を表現しているというものになります。
2:51:40	今日は規制庁の江寄です今ちよ町内の方でもちよっとヘリの処理 だとかその応力の処理ってちよっと意見が合わなかったんで今ち よっと調整しましたので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:51:49	一応その調整の結果ですね、いわゆる、ここを今現在どのように処理しているのかはある程度書いていただかないとわからない部分をちょっと、
2:51:59	あって、
2:52:00	なんつうか論点っていうかですねそういったものもちょっと定まらなくなってしまうので、人それぞれ変わってしまうんで、
2:52:08	考え方がですね、表の審査の判定の考え方なんです変わってしまうので、これはちょっとちょっと丁寧に説明。
2:52:17	していただけますか。
2:52:21	北海道電力の松元です。3次元等の評価3次元評価において、当協会条件等の設計条件、あと変位の処理応力の引き継ぎ等について考え方を
2:52:35	まとめ資料に補足させていただきます。
2:52:41	じゃあ規制庁アベスズキましてこの14ページのところでちょっとセメント改良度と高強度部が、照査値がバーになってて、許容値が言ったようにこれ要は、
2:52:51	局所安全係数というのは※1で振られているので、内容はわかるんですけどただ、許容限界を定めたものに対してバーっていうのはこれ、表現上ちょっとあまり、
2:53:04	なんかすごい何か違和感を
2:53:06	感じるので、何か表イケダ値を決めたら当然それ結果違う、何か示さないといけないようにも思います。その協調何を定めるか、もし考えた方がいいように思うんですが、どうですかね。
2:53:40	規制庁の土岐ですか表現として※1ニワ1.5以上であるはずだということが調査中なんだよね。
2:53:46	ただそのこのところにいるような局所安定係数、
2:53:50	呉、
2:53:51	どこ結論の話をここに落とした方がいいんじゃないの。
2:53:54	うん。
2:53:56	そうそう。
2:53:58	呉てOKするんじゃない。うん。
2:54:01	うんじゃなければこの狭いところに交差局所安定係数的にもうね、1.5以上なので、滑り安全ス滑り安全評価をする必然性がありませんっていう、長い文章書く必要ないですもんね。
2:54:13	表に出すそういうことですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:54:41	じゃなければ、それで安全率のところ、2段にさせていただいて、局所安定係数って入れてもらって、
2:54:48	1日5以上、
2:54:50	確保できてるって見えるようにしてしまっ、
2:54:54	今度はコミュニティーをふるとかですね。うん。
2:55:00	だから基本的に言うと、
2:55:02	通常、あんまり
2:55:05	安定性の評価を、
2:55:07	特化して審査してない。
2:55:10	ここの審査官があまり経験ないっていうのもあるんだけど、
2:55:14	基本的には局所安定係数をやってみて、基本的に、
2:55:19	破壊、
2:55:20	領域がなければ、滑り安全率は省略できるんですよそれが、実際のそう。
2:55:27	基礎地盤の安定性評価での本当のフローなんですよね。
2:55:32	そういったこともあって、その辺の話まで細かく書く必要ないと思うんで、ここ、こちらの方の取審査の本文ではないので、
2:55:41	ただその辺の考え方、そちらでやろうとしてるは、口が見える、見える化した方がいいと思うんですね、割とわかりやすく、
2:55:49	大変な、やっぱり介護ですから、一目で見て、ぱっと見てぱっとわからないと、基本的には短い時間で
2:55:58	審議はしにくいので、その辺はちょっとここはちょっとわかりやすいの観点で、ちょっと工夫してください。
2:56:04	はい。北海道電力の佐藤です。
2:56:07	おっしゃる通りちょっと表を見てバーなんてOKなんてちょっとうなが0コウソネオオノもちょっとあれなんでまず一目でわかるようにちょっと、
2:56:15	ここの調査票に局所安全係数の値を変えて側溝をどう見せるかを考えた方がいいかもしれないと思ったんで、ちょっと考えています。はい。
2:56:37	はい。続きまして、パウポの8ページにちょっと戻って、
2:56:41	させていただいて、
2:56:44	8ページの境界条件のところですね一番左下の動的解析カッコ津波時、ではモデル速報底面に固定境界を設けるってなって、
2:56:55	ちょっと何となくですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:56:58	津波ってこれあれ井清てきいに荷重をかけるっていうわけでもなかったでしたっけ
2:57:05	ごめんなさいちょっと何か女川とか見ると何か私は静的な時には、境界はこうしますってなってる、
2:57:14	津波時の動的解析でしたっけこれって、
2:57:17	表現を弾性的に、静的解析は固定境界にするぐらいでもいいのかなと思っただけなんすけどね。
2:57:24	北海道電力の松本です。おっしゃる通りで津波時は静的な解析を行っておりますで、こちらの記載の意図としましては、動的解析プログラムを使っているので動的解析というふうな記載をしておりますがちょっと混乱を招くので、
2:57:40	書き方を修正させていただきたいと思います。
2:57:44	ちょっと規制庁フジワラです続きまして9ページの方行っていて、9ページのその地下水と地盤の条件のところ、右の真ん中ですね、その二つ目のポチ、
2:57:54	津波時、重畳時では背面の馬越橋田さん基準地震動による、
2:58:00	地盤沈下量を考慮することから、この沈下量がいきなり出てきてですね、そのどれくらい沈下するかはコウ値がないんですけど、想像するに山側の水は地表面9.5暫定的。
2:58:14	多分これはあれですかね、0.5メートル沈下するっていうふうに間接的に言ってるのかなと思っただけなんすけど、まずそれが正しいかっていうこととあと、0.5メートルと沈下量でどこで説明されてるのかちょっと。
2:58:26	この資料まとめ資料含めてなかったんでこれでどうなんでしょうかっていうのを説明してください。
2:58:44	当北海道電力の松本です。まず1点目ですが、沈下量は、
2:58:51	50センチ下がり旧TP9.5メートルに設定しているというのはおっしゃる通りです。こちらは暫定的な値というふうに認識をしております、
2:59:02	パワーポイント中も暫定的に設定するというふうに記載をさせていただいております。
2:59:07	今後の審査において、こちら、確定していくものというふうには認識しておりますが、防潮でのこの構造成立性の評価上、今は9.5メートルとして設定しているという次第です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:59:25	規制庁です。ごめん、暫定的っていう文章がちょっと見つけなかったんですけどどこに書いているかだけちょっと教えてもらって、北海道電力の松本です。パワーポイント9ページのポツ二つ目。
2:59:41	そう。すいませんそうですね文章中では、
2:59:44	山側の水は地表面を暫定的に設定するというので、
2:59:49	地盤沈下量ん。
2:59:52	のした後の、
2:59:53	地表面、
2:59:55	ということで、書いたのが暫定的に設定するというふうになんかちょっと連動するような記載になってます。
3:00:03	ごめんなさい私達日本語として読めなかったもので、できれば、もっと暫定的ん前の方ね、地盤沈下量のところにも振っていただけると良いと思いますが、いかがですかね。
3:00:15	電力のまつもとでしょうといたしました。
3:00:19	続きまして9ページの上載荷重として積雪荷重考慮し、誤差、まとめ資料の方で223ページですね。
3:00:28	開いた時にですね、
3:00:32	この積雪荷重が上載荷重だ、積雪荷重は、土木学会に従って、0.5を乗じます。そこまでは別にいいんですけど、
3:00:43	積雪量が泊発電所最大積雪量というのが、書かれていてこれが今6条のまとめ資料を見ると、あちはなんか10戸の方の189センチを使って、
3:00:54	要はそれを使わなかったのは何か暫定的だろうというような印象はあるんですけど、一応、これも暫定的に、何かやって出すのは無理をちゃんと書いて欲しいのと、あと実際のこの泊発電所最大積雪量って幾らぐらいなんですかね。
3:01:09	六条とちょっと、簡単なちょっと繋がりだけでも確認しておきたいなと思ったんで。
3:01:28	あと事業しゃあないで協議します。
3:01:42	北海道電力の佐藤です。セキネⅡの、
3:01:46	6条、大きさについて確認して、記載するようにいたします。
3:01:53	規制庁藤間です。もう1点だけ
3:01:55	11%の11ページに開いていただいて、
3:02:01	幹部の方の評価っていうのがここに出てると。で、またば全然結果見ると、かなり余裕があるのはもうわかってはいるものの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:02:12	評価用地震動がアノなんすかね標準部、防潮て標準部で選定されたものをそのまま使って、
3:02:19	るんだと、別にこれは否定されるものじゃないんですけど、もうちょっと何か理由、要は、
3:02:25	いや久喜評価地震ってのはあっちの方でやったけど、多分要は、大分余裕があるからそれをリュMa a S使いましたぐらいな、
3:02:35	説明がないと、ちょっと何かあたかも端部のために選定されたものというふうにも見えてしまったんで、そこだけちょっと、もうちょっと記載は、
3:02:44	適正にした方がいいよね。思いますいかがですかね。
3:02:47	北海道電力の松本です。今、藤のコメントを踏まえまして衛藤。
3:02:53	このA3の方を用いる理由について補足させていただきたいと思います。
3:03:06	規制庁大橋です。パワーポイントの8ページ。
3:03:09	8ページの解析条件の
3:03:12	件なんですけど、
3:03:14	8ページの右下に減衰特性について、
3:03:18	F L I P研究科の資料に基づいて、剛性比例型減衰、
3:03:23	を使うという、
3:03:25	ことが書いてあります。
3:03:27	剛性比例型減衰っていうのは、固有振動数、
3:03:32	高くなると。
3:03:33	減衰の値が大きくなっていくっていうそういう特性を持ってるんですが、
3:03:38	今回の評価としては、地盤の評価以外にも、
3:03:45	セメント改良度、それに取りついている止水ジョイントとかを評価するということになると、
3:03:52	地盤よりも、固有振動数が、
3:03:54	高伊井。
3:03:56	ものに対しての、
3:03:59	低アノ減衰が正しく評価、設定されるかっていうのが、
3:04:04	重要になるかと思うんですけども、
3:04:06	そういう観点から、この減衰の設定についての妥当性について説明してください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:04:34	と北海道電力佐藤です。ちょっと事業所内相談させてください。
3:08:34	当北海道電力の佐藤です。この、
3:08:37	剛性比例型減衰。
3:08:39	を設定した経緯について記載を充実させたいと考えております。以上です。
3:08:45	長オオハシです。お願いします。
3:08:57	はい。規制庁、谷口です。
3:09:00	パワーポイントの11ページ目のところに、
3:09:07	協力、秤量物過剰の作用イメージって形で1メートルのところに、こんなふうに、
3:09:13	加えますよって書いてあるんですけど。
3:09:16	この辺のイメージスルー者がちょっとよくわからないんですけど。
3:09:21	解析モデルに具体的に差異化するイメージっていうのは、
3:09:25	どんなイメージになりますか。
3:09:35	2-2の資料の、
3:09:38	52ページ目。
3:09:42	この50人じゃないか。
3:09:44	ごめんなさい。
3:09:46	54ページ目。
3:09:53	54ページ目のところの上の絵のところ、
3:09:58	包丁て上から見た図。
3:10:00	海山断面とか書いてあるんだけど、
3:10:04	わかります。
3:10:09	54ページ目。
3:10:16	こういうイメージで荷重を分散させるんですか。
3:10:31	その辺の書き、皆さん、実際のね、今表現物荷重のイメージは1メートルのところに加えるって書いてあるんだけど、その再開するというようなイメージが、読めないんで、
3:10:44	このまとめ資料のところにこんなふう書いてあるんだけど、
3:10:50	それとの関係はどうなってるのかなと思って聞いてるんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:11:29	北海道電力の白川です。漂流物荷重の裁可方法についてはP52 ページ2の資料2-2の52ページの
3:11:38	奥行き1メートル。二次元モデルの場合は奥行き1メートルのモデルに対して1メートルの高さの分布荷重で採用されているということで、今分散は考えてないでそのまま、
3:11:49	1平米に、2000kNをかけて、
3:11:52	かけるってことなんですね。そうするとこの、こっち54ページの改定のイメージってのは、
3:12:01	結果的にこんなふうになってるってことを書いてるんですか。
3:12:08	はい。おっしゃる通りでございます。
3:12:17	今の54、52ページ、54ページ、54ページすいません。
3:12:21	54ページについてはそう。
3:12:23	ですね。
3:12:27	北海道電力の松本です。二次元のとして差異化した場合には、このような分散の効果は期待できないと考えております。
3:12:37	ていうか、
3:12:39	これは
3:12:41	ごめんなさい。
3:12:42	これは津波時の評価ってことは、
3:12:46	じゃないね時限の場合はこういう形にするってことねそしたら、
3:12:51	これよくわからないんですよ、ここは二次元の動的FEM解析のことが書いてあって、
3:12:57	ほんで標準を使うようなイメージはこうですって書いてある。
3:13:01	で、
3:13:02	54ページ目のものは、
3:13:04	3次元の要は、こういう3次元的な効果を見るには3次元で見ないとわからないわけでしょう。
3:13:10	だから、その辺の考え方が、二次元ではこうやって頭分布でやるってことなのか、3次元ではこういうふうに分散させてやるってことを言ってるのか。
3:13:22	ちょっとわからなかったんで聞いてるんです。
3:13:27	北海道電力の松本です。今おっしゃられた通り二次元では分散を考慮してない。もう1平米差異化をしていると。3次元ではそれを設置するために、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:13:37	はい等を3次元で評価しているところについては、仮の分散に考慮していると、精緻に考慮しているというところですか。端部につきましては津波時のこの評価自体を、
3:13:49	設置許可段階では、標準に代表させるといったところもありますので、漂流物作用荷重の作用イメージと書いてますけども、
3:14:01	ここでは、
3:14:04	ペーパーポイント上説明したいのは地震時の解析モデルとなりますのでちょっと、
3:14:09	異なりますのでちょっとこちらにはそぐわない内容かなと。
3:14:13	思います。
3:14:16	結局、荷重は1メートルの範囲では、1メートル1平米の最下面積に再開するって書いてあるので、その1平米のイメージがこういうイメージですってことを書いてある。
3:14:28	ということでもいいんですかこれ。
3:14:31	横野マツモトです。おっしゃる通りです。はい、わかりました。趣旨はわかりましたけどそれだけ、非常に紛らわしいので、書き方がわからず、どういう具体的にどうするのかってことは、どっかに書いておいてください。
3:14:47	海田電力のマツモトで承知しました。
3:14:55	それからですね、パワーポイントなんかには、
3:15:00	ごめんなさい、ちょっと見つけられない。
3:15:04	公共でも、下端の直下のセメント改良度2、漂流物荷重を再開した限っていた表現。
3:15:12	が、
3:15:13	どっかにあったんですけど、
3:15:17	公共でも、
3:15:19	パブの直下のセメント改良度2章、漂流物課長を再開したっていうケースは、
3:15:25	考えてるんですか。
3:15:35	横野マツモトですすいませんもう一度よろしいでしょうかコウ共同の下の5メートル下がったところに、漂流物荷重をぶつけるってことは言う解析をやってるんですか。
3:15:47	北海道電力の松本です。そちらの解析を、
3:15:51	した結果が、すいません、あと10ページをお願いいたします%ポイント。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:15:56	資料 2-1 の 10 ページをお願いいたします。
3:16:02	10 ページの 3 次元静的 FEM 解析モデルの右側の高強度部の設置 範囲検討ケースということでこちらで採用している箇所について は、
3:16:12	高強度部の直下のセメント改良度に作用させたケースとなっております。
3:16:20	これは微妙にそういうふうに書いてあるんだ。
3:16:26	さあ、そういうケースもやってるってことですね。わかりまし た。了解しました。
3:17:05	藤原ですけども。ちなみに高強度部の高さ方向が 5 メーターでい いですよという、根拠の一つかなと私自身この件、聞いてて思っ て、その考え方として要は
3:17:18	イセセメントやゴコウ共同直下に当てた時でも、そういったんなん すかね、奥行きが広いとか、そういったことから、今の 5 メー ターで
3:17:29	今構造がいいんだと、その辺をちょっともうちょっと説明を加え ていただいた方がいいのかなという結果を、今回の評価結果を踏 まえた考察的なイメージで、その点いかがですかね。
3:17:43	クドウ電力の松本です。承知いたしました。
3:17:56	はい。続けていきます。
3:18:03	2-2 の資料 N o .
3:18:05	28 ページ目のところ、
3:18:13	施工目 G の断面に緩衝材を入れる場合、
3:18:17	29 ページ目ですか、この辺に緩衝材を入れろとか設置しないと書 いてあるところの、
3:18:26	目地の目的と使用っていうのは、
3:18:31	目的はこれは、
3:18:35	どれ見ればいいんですか。
3:18:55	結局イメージとして感じるのは、5-3 の表のところに屈曲断面と か、①から⑥まであるんだけども、例えば、屈曲断面について は、こういう目的で、
3:19:08	入れます。これは文章的にはちょっと書いてあるように見えるん だけども、
3:19:13	そういう表現が、
3:19:16	よく対応してないので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:19:19	どういう目的で対処されるのか入れないのかっていうところって いうのがよくわからないのと、
3:19:25	それから、
3:19:27	これは高さ方向の目地。
3:19:30	以外に、
3:19:32	例えば、施工量のものに基づいてブロック割りの箇所として、水 平方向に入れる可能性もあるんでしょうか。
3:19:43	どう電力の松本です。現在水平方向に施工目地を入れることは考 えておりますので、てことはもう江藤タテ目地で施工動に基づい て、
3:19:55	施行令に基づいてタテ目地しか入れない。
3:19:58	で、
3:19:59	緩衝材を、こういう目的でするってことでいいですね。わかりま した。
3:20:06	その辺ちょっと明示の入れ方、干渉緩衝材を入れないとして入れ るの入れないのっていうのが、
3:20:13	一目瞭然でわかるような形で書いといていただいた方がいいかな と思いますんで、書き方を検討しておいてください。
3:20:24	北海道電力の松本です。資料2-2の29ページ表の5-3のところ で目的もわかるような記載をちょっと考えたいと思います。は い。よろしく申し上げます。以上です。
3:20:44	規制庁仲座です。資料2-2の、
3:20:47	30ページを見ていただくと、
3:20:51	これ10呉ダイゴ、5-8図を見ると、
3:20:56	施工短いであるんですけど、
3:20:58	その上の施工目地については、
3:21:02	藤氏、いわゆる止水ジョイントの下に施工目地と言って緩衝材が 入ってちゃんと縁が切れるようになっている。
3:21:11	多分緩衝材は
3:21:13	基礎コンクリートの下まで行ってると思うんですけど、
3:21:17	この位置も後で確認したいんですけど本当にその下のですね、
3:21:21	緩衝材なCは、
3:21:24	上の方になってる鉄管商材貸し野瀬込みっていうのは、
3:21:28	前回聞いたときに、目荒らしをしているだけと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:21:32	いう話だったんですけど、
3:21:36	緩衝材ありなしによって、
3:21:39	地震時津波時余震プラス津波時に、
3:21:43	挙動が違うと思うんですよね。
3:21:47	フェイス、
3:21:49	膨張分包丁て本体や止水ジョイント様子影響が多分違ってて、
3:21:54	間緩衝材ありの場合は絵が切ってるんで単体でやれば良いと思うんですけど、
3:22:05	227 ページの
3:22:08	第 99。
3:22:11	ニイツ。
3:22:12	の 2 次元モデル。
3:22:14	等、
3:22:16	228 ページの 9-21 図の 3 次元 FEM を見ると、
3:22:23	ワンブロックのみで計算してるんですね。
3:22:26	この緩衝材。
3:22:29	なしの場合については、そのブロック間で、多分、応力の連携があると思うんです。というのは、
3:22:38	基礎コンクリートの高さも違うし、上、
3:22:42	だから伝わる波で若干、
3:22:45	ほんの少しでも 5 対 2 などで、
3:22:48	相対変位が行うとひずみは。
3:22:51	場合によっては今改良ため、
3:22:54	ひび割れするという事なんですけど、
3:22:59	これについて、
3:23:01	緩衝材ありなしについては特に、
3:23:04	この応力のブロック化の伝達についてどのように考えて導入で安全性を確保しているのか教えてください。
3:23:23	北海道電力の松本です。
3:23:25	今緩衝材なしのところにつきましては、施工目地のところは、目荒らし等もせずに、宇津木処理もせずに、施工することを考えておりますので、
3:23:39	ここで農園は切れているというところを想定し、考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:23:46	出てるというコンクリート時間内するんですよね。
3:23:50	目荒らししないと言ってるんですけど、本当にアオキれてるんですかって、何か根拠はあるんですか教えてください。
3:24:01	普通のコンクリートの言い過ぎでコンクリートをなくして、普通は0炭素って藤過ぎてもそれは一体のコンクリートとみなしますよね。擁壁で団地するときなんか、
3:24:12	だから目荒らししないから、
3:24:15	切れてるという理屈は、ちょっと今、通じないと思うんですけど。
3:24:19	この点について根拠を持って説明の方をお願いします。
3:24:36	北海道電力の佐藤です。
3:24:39	江藤。
3:24:43	施工目地の緩衝体なしのところ、ここの
3:24:48	延長方向の応力の伝達については、持ち帰り検討させていただきます。以上です。
3:24:56	お願いします。会合までに何らかの答えがあればと思っております。
3:25:01	私から以上です。
3:25:10	江藤記帳です。私もちょっとこの施工目地括弧緩衝材なしは何かなんかよくわかんないので、本当に、
3:25:19	ちょっとそこは説明を欲しいところです。で、仮にちょっとなんすかね。一体行動構造の挙動を示す場合ってのが何か、何か或いはなしっていうのが、やっぱ何かあって、
3:25:30	私がちょっと1個懸念してるのは例えば、延長方向で、例えば、何ですかねえと荷重がなんかこう、
3:25:38	結構防潮での延長方向ながーいいやつで、
3:25:41	それに何か局所的にその液状化のうど圧がナカがんとかとか或いはかからないとかいろいろ、
3:25:48	もしかしたら土の、埋戻しの何か不審度が結構、延長方向で軽いやつも、もしあるかもしれないですね、そういった何か、延長方向で何か、
3:25:58	異なった荷重が作用する時には延長方向の断面力が生じるのか、そこで、仮にその万がー
3:26:06	一体構造の挙動をさっきの、なんすかね施工目地括弧緩衝材なしか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:26:12	やったら何か、
3:26:13	何か全然違う、何か想定しないところで何かぼきっと折れて、そこが浸水経路にならないかとかそういうところなんか何となくちょっとよくわかんない状況なんですね。そこをちょっときちっと説明を、
3:26:25	はい。私の方もお願いしたいと思ってます。
3:26:29	うん。ちなみにこの資料だと許可段階では、もう、この施工目地括弧緩衝材ありを、
3:26:37	確定っていうふうな感じで今書かれてるんですけど、何か、
3:26:42	M a a S どっちかって設工認でも何かそこは改めて検討してもいいのかなという印象何となくちょっと思っておりますのでそこら辺をちょっと、中身の方はご確認ください。よろしいですかね。
3:26:56	はい。北海道電力の辰田です。
3:26:59	緩衝材ありなしのちょっとわかりにくいところがちょっと伝わって、
3:27:04	伝えきれてないところがございますのでちょっとその辺も局で説明する範囲なのか、工認で説明する範囲なのかも含めて、ちょっと検討して記載することとさせていただきたいと思います。以上です。
3:27:26	これって、設計でどうすんのっていうことだけだと思うんですよ。
3:27:31	緩衝材なしっていうことは、
3:27:35	基本的にもう一体性あるとして見いだすしかない。
3:27:39	で、そこで止水ジョイントを作ってそのためノダしかないから設計的な対象にならないんで、
3:27:45	停滞能力としてそこに応力集中が、
3:27:48	起こるんであれば起こるような設計を設計として加味しますっていうふうにしなないといけない。
3:27:55	しないんであれば、縁を切るしかないんだと思う。
3:28:00	そうですね。うんうん。
3:28:02	だから、
3:28:03	基本的に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:28:05	金太郎飴状態ですと、だから鬼頭宇津木共同しますと、だからそこへんは切らなくてもこれ集中する部位ではないので、切らないんですっていうのも一つ。
3:28:14	ただ、
3:28:15	施工ジョイント
3:28:17	的ですよ、打ち継ぎ目。
3:28:19	うちどっちかっていうとこれ落ち続けないに近いと思うんだけど、それは多分一体のものとして考えますよと。ただ、そちらとしては、そうは言っても、
3:28:30	継ぎ目は継ぎ目だから、念のために、水準と裏で、
3:28:34	つけときますよってそれをフェールセーフ的な意味合いですよっていう前のためですよっていう、いうんならそれでいいんだと思うんですよ。
3:28:41	その辺が何か設計的にそれは、
3:28:44	何も考えずに応力集中を実する部位を目指してしまうようなことあってはいけないので、今こういう今議論になってると思うんですよ。だから、どういう設計するのか、だから応力しその地盤の条件だとかその設置してる深度によって、
3:28:59	偏差が生まれる。
3:29:01	て言ったものにあるんであればそこに関しては、
3:29:04	応力集中が起きるものとして、3次元的に計算するとか、
3:29:08	呉するのか、何でしか計算しないといけないんでもそれが、あまりそれほどではないはずだけど、
3:29:15	もうあらかじめ、
3:29:18	緩衝材ありで完全切りしてしまっ、
3:29:21	応力集中が起きない場所として、割と細切れにしていまいますよという考え方もあるし、うん。
3:29:29	その辺野瀬設計の考え方はちょっと、
3:29:32	整理した方がいいと思いますんで、よろしくお願いします。
3:29:39	はい。北海道電力の辰田です今のコメントを踏まえまして、考え方は長手方向に一体に動くというケース考え方をもとに、
3:29:52	まとめ資料でいくと 29 ページの
3:29:57	緑で示したところ、
3:29:59	こちらの方で、緩衝材なしというところで、
3:30:03	選定はしてます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:30:06	ただちょっと、先ほどの関とも重複しますけども、緩衝材入れる入れないの目的とか、ちょっと設計の考え方それも含めて、ちょっと整理、補足をさせて補足とか、木崎さん、充実したいと思います。
3:30:22	城野ウエダです
3:30:24	一番あれなのは、例えば、下部構造が0° ロックの厚さとか違う下部構造動的解析のね、変位成分が時刻歴でほとんど変わってないよとかね。
3:30:35	そうすれば、解析的にも問題ないっていうのが出てくるし、そういうやり方もありますよね。
3:30:42	無理やり全部施工目地入れなきやいけないってことではなくてね、長手方向が同一共同するってことが言えればいいでしょ。
3:30:48	そういう工夫もちょっと考えてみてください。
3:30:53	はい。北海道電力の田澤で承知しました。
3:30:59	引き続き、高さです。
3:31:01	資料2-1の20ページで、
3:31:05	この図のですね、右側に、
3:31:09	定着部及びアンカーボルトの配置イメージで、
3:31:14	以前議論した定着部に、
3:31:16	この定着部材の補強材っていうのが上の方についてるんですね。
3:31:21	これ一て、以前なかったやつが何でついたんでしょうかっていうことなんですけど。
3:31:28	よくよく調べてみると資料2-2の、
3:31:32	231ページに、
3:31:35	定着部材の身近多方向の裕度向上のため、
3:31:40	ではあるが原石。
3:31:43	10度向上のために、もうつけてるというふうな書き方してるんですけど。
3:31:49	じゃあ、裕度向上しないといけないっていう理由がよくわかんないですよ、これで。そう。そう。その理由がわかんなくてただ誘導工場かっていうの全部言うところすりゃいいじゃない。
3:32:00	もっと厚くすればいいじゃないっていう話になるんですけど。
3:32:04	そういう裕度向上のどこをねらってこういうリブをつけたかっていうのがわかんないんで、
3:32:09	その理由を聞きたいのと、郡分をいっぱいつけると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:32:14	今まで言った、Z方向の図、FFzプラス、
3:32:19	いわゆる、
3:32:20	V1タテVで横Vの
3:32:24	引っ張りの分担する分、剪断分断率もだんだん構成高めると変わってくるんで、
3:32:32	そういう理由も今はそんな変わんないかもしれないんですけど、そこら辺の理由というのをもう少し詳しく説明の方をお願いしたい。
3:32:41	いいですかよろしいでしょうか。
3:32:45	はい。北海道電力の佐藤です。まず裕度向上のためと書いた経緯なんですけども、
3:32:52	パワーポイントの資料2-1、20ページにいただいたの仕様を示しております、
3:33:00	定着材の形状で、
3:33:03	幅と高さがサカイております。この9mmだけだと、
3:33:08	短い方向の解析で
3:33:11	具体として、
3:33:13	曲げせん断NGだったものですから、ここに保護材を入れるという、
3:33:17	のが目的です。裕度向上というのは成立のためです。
3:33:22	で、
3:33:24	これによって解析的な影響はというと、この身近てには聞くように、
3:33:31	肋骨のように入れてるんで、剛性が高まるとは思うんですけども、ナガタの方に関しては、
3:33:36	こちらの5隻イデこないというふうに考えております。
3:33:41	以上です。
3:33:44	わかりました。じゃあ、裕度コウじゃなくて正確に、
3:33:48	理由を書いてくださいもたないということと、
3:33:50	あとこれリブツ狂う以前にもう少し厚さを、
3:33:54	例えば12ミリとするとかいう方法もあるんですけど、
3:33:59	かえってにぶつけるとコンクリート周りに、はい、風間回りにくいのかなとか思って、なんでリブつけるようにしたのか、一つ教えてください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:34:10	該当電力の佐藤です厚さにつきましては、
3:34:13	まず構造を考えるとときに、
3:34:18	できるだけ定着材を、長手方向に剛性を持たせたくなかったというところがございます。
3:34:27	そうすると、アンカーボルトに慣性力、あとそのずれ力ですねそれによって出てくる力が増えてしまいますので、
3:34:36	江藤。
3:34:37	厳しいアンカーボルトにとっては不利な方向に働くというところで、こちらの方鋼材を検討するに至りました。
3:34:46	理由もですね、踏まえて、
3:34:50	リブを作った理由もしっかり記載の方をお願いします。私から以上です。
3:35:10	はい。規制庁藤原です。私の方はちょっとアンカーボルトの配置間隔と埋め込み長さの変更に関するもので、200 まとめ資料の 231 ページの、
3:35:21	表の上のポツがあってここで構造成立性の増しを示して、結構、引張に対してせん断が、照査値が厳しくなる傾向から、
3:35:33	これこれの通り 7 に応じて、アンカーボルトの埋め込み長さや配置間隔を変更するというふうになんかもう、この中で確定的な文章になってて、
3:35:45	以前ですね埋め込み深さが 200mm だったの 155mm、配置間隔もこれ、私書けますよね。
3:35:51	前が 525 なのかな。ですが、400、
3:35:56	これは何すか、パワポだと、何か大前は長さが 200 で、配置間隔は長いんですけど、
3:36:03	このまとめ資料、ここでも、
3:36:05	変えますってあと、
3:36:08	どっか、そのあとの方の解析結果の方ですかね。ここでいく等どこでしょうかね。
3:36:15	244 ページか。
3:36:18	まとめ資料で、アンカーボルトだと、204 ページはもう、
3:36:22	もう決定ケースとしてこれは 155 ミリで、その隣の 245 ページからこれは衛藤呉 3 行目に、上、文章の作業が参考として、
3:36:34	埋め込み長さが 200、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:36:35	何か、どれが正解なのかがちょっと私すごい混乱してしまったんですけどこれは、どうとらえたらいいんでしょうか。
3:36:49	北海道電力の佐藤です。ちょっと混乱させるような記載になっておりますので、開催させてください。
3:36:56	衛藤。
3:36:59	まず今まで 200 で話をしてきました。衛藤。
3:37:04	で、
3:37:05	ここで 155 という数字が出てきたのはですね。
3:37:09	衛藤。
3:37:11	244 ページと 245 ページを見ていただいて、
3:37:17	そこですね。
3:37:20	これまでちょっと記載が古くてまた恐縮なんですけども、
3:37:28	表として、
3:37:30	何だ。
3:37:31	表 9-26 の、
3:37:33	影響検討ケース 1 と非書いてるのは今、引っ張りで負担させる場合の検討のことです、
3:37:43	検討ケース 2 が、せん断の負担を考えた場合の検討になっております。
3:37:50	この裕度を見たときに、厳しいのが、
3:37:55	重畳時なんですけども、
3:37:57	重畳時の融度 0.410. 39 というのは、埋め込み長さ、
3:38:04	155 の時です。
3:38:06	で、245 ページに行っていたきまして、埋め込みナカ 200 の時だと、長寿 0.37、
3:38:13	引張せん断が 0.52 ということで、
3:38:20	本数を、埋め込みを浅くして、たくさん本数を入れた方が照査値上は有利になるというところから、
3:38:27	155 は、
3:38:30	融度的には、
3:38:32	いいんじゃないかというところで、この
3:38:34	結果の、
3:38:35	ところでは記載して、155 ベースでの記載になっております。そういったことです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:38:45	はい規制庁城です大体そうかなとは思ってたんですけど、私がちょっとアノ以外のシンプルなことで、パワーポイントに、じゃあ何で 155。いけないのか。
3:38:54	で、155 にするんだったらじゃ、これまで性能試験でやってた 100200 ミリ。
3:39:00	との関係、あと、それであと設工認にどういうふうにするかっていうのがパワポに全くないので、その繋がりがよくわかんなかったんですね、その辺は。
3:39:10	もうちょっとここは適正化されるという理解でいいですか。
3:39:15	それとも今のあくまで構造成立性は、
3:39:18	どっち行きたいんですかね、別紙で言われた設工認 DR でも、
3:39:24	いいんだと思うんですけど、ごめんなさい単純にパワポでどっちをシミズ見つかって、聞いているだけです。
3:39:34	ちょっと事業所、事業者内で相談させてください。
3:40:54	いや 55 って出てたんでどういう意味で使われるのかと思ったんだけど、
3:40:58	考えなきゃいけないのは、フジワラ言った通りなんですよ、性能試験は。
3:41:03	懇話会を対象にされて試験以降ないんですよ。
3:41:06	悪魔のアンカーボルト引張耐力で懇話会が先行しないっていう条件のもとでの試験なので、155 だとこれ懇話会で決まるでしょ。
3:41:15	だから、
3:41:16	これをもしても 150 でいくならば、追加実験をやる必要がありますよ。
3:41:21	はい。今の性能試験を生かしたまま行くんだったら 200 でいく。
3:41:25	あそこんところなんか、
3:41:27	多分その 155 でやってもう結果としてはね、問題ないと思うんだけど、それやっぱり性能試験との、
3:41:35	コウ関係ね、そこだけはきちっとは会計士が違っちゃってるんで、
3:41:40	そういうことを含めて考えてください。
3:41:46	はい、北海道電力の立田です。150 埋め込み。
3:41:50	長 155 にした場合でもですね、工認段階で、性能試験の結果を示さなきゃいけないだろうなということは考えてございまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:42:01	今まで 200 で示してきた実験結果の流れをちょっとどういうふうにつないで、変更していくのがいいのかとかです。変更しない方がいいのかというところの整理を今、
3:42:12	つくれてないというところですのでちょっとその辺は方針をしっかりと整理をして、説明をしていきたいと思っています。
3:44:32	北海道電力のタツザワタテたですその事業者側で協議してまして、
3:44:38	いずれにしても 200 埋め込み町の 155200mmの話、
3:44:45	サカイ形式の何に決まってくるかというところも含めてですね、ちょっと方針が、
3:44:50	わかりにくいところがわかりにくいとか決まってない状態を書かせていただいていますので、ちょっと検討させていただいて、
3:44:59	ちょっと方針がわかるような、どっちにするんだというのがわかるような記載に改めたいと思います。ちょっと次のアンカーの方もそういう話になってますんで、合わせて検討させていただきます。
3:45:13	規制庁ございますわかりました。ちなみにこのまとめ資料の 242 ページの高強度部の方もこれは、
3:45:21	許容引張力が 56.4 で、多分これ 155mmの長さのものになってんすけど、コマツと合わせて、公共でも、
3:45:31	何かどういうふうを考えるかちょっと合わせて、今後説明をいただくようにします。
3:45:36	そしたら、荘司益子さん。
3:45:46	規制庁中澤です。資料 2-2 の、
3:45:49	240 ページの上 (3) の津波のところで、
3:45:55	第 9-18 図の上の方から、
3:45:59	上の方になおセメント改良度に作用する精製やつは、
3:46:04	仮に地下水を海側と同様に朔望を平均潮位を設定した場合より、
3:46:12	1000、
3:46:14	224 ページですね。
3:46:17	第 98 の上の図なんですけど、ここに書いてある、設定した場合より 1400 kNほど大きくなるがその差は、
3:46:28	津波荷重と比較して小さいことから影響は小さいと考えてるんですけど、これは荷重の差だけで影響は小さいということは、
3:46:38	多分ゆ言えないと思うんですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:46:41	で、
3:46:41	これは資料を 2-1。
3:47:50	電力のサトウです承知しました。
3:48:21	マイクのテスト中です聞こえてます。
3:48:25	はい。
3:48:27	引き続きましてナカムラですけど、229 ページ資料 2-2 の 299 ページ。
3:48:38	ここに、
3:48:40	真ん中ぐらいに、
3:49:01	すいません、マイクの調子が悪いので最初からいきます。
3:49:06	資料を 2-2 の、
3:49:09	229 ページで、
3:49:12	この上から文章の 123 真ん中ぐらいに、
3:49:19	アンカーボルトの役割はタゾエ高強度部とセメント改良度の境界面に生じた圧縮力の静止摩擦係数 0.5。
3:49:31	を乗じた摩擦かって書いてあるんですけど、この 0.5 の根拠はどっから出てきたんでしょうかっていうことです。
3:49:40	我々もならしコンクリートと基礎コンクリートの摩擦係数ってどうきょうでは、0.6、
3:49:49	コウ案ではですねコンクリートとコンクリートの静止摩擦係数は 0.
3:49:55	5、
3:49:57	D、今見たコンクリートの共同部とセメント改良等の摩擦係数って、主な示方書とか基準見ても書いてないんですけど、
3:50:10	これが使えるという根拠は分かんないんでこの根拠について教えてください。
3:50:26	回動電力の松本です。今、資料 2-2 の 229 ページに書いてある静止摩擦係数につきましては今おっしゃられた考案技術のコンクリートとコンクリートの静止摩擦係数 0.5 を用いておりますけども、
3:50:41	その中にコンクリート製メーカーへの関係については書かれておりませんのでそちらの考え方を衛藤、
3:50:48	持ち帰り検討させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:50:51	はいよろしく申し上げます。ほかに実験等もやった論文等もあるかもしれませんが、そういうのも踏まえて調整の方をお願いしたいと思います。
3:51:01	はい。
3:51:04	衛藤。規制庁藤井ですけどこの229ページの先ほどの
3:51:10	奈須金子の評価、摩擦力による評価を確認する意味合いをちょっと五味さん何かよくわかんなかったんですが、これは、
3:51:18	津波防護の、止水性の確保の観点で、どういうふうな荷重に対してどういうふうな抵抗力を、
3:51:28	持ってとか、その辺で何か何か説明ってできますかね。
3:51:32	いや、何か何をやろうとするのかちょっとイメージが沸かなかったんで、
3:51:39	北海道電力の松本です。ポツの摩擦力の評価につきましては、高強度部、すいません、津波時の評価において、
3:51:51	高強度部とセメント改良度が一体化しているかどうかというところを確認するために、行っているものでその評価を摩擦力で評価しているというものです。
3:52:04	衛藤コウ強度部に津波荷重漂流物荷重が当たった時にセメント改良度からずれることがないかっていうのを確認しております。
3:52:16	一体化しているかっていうところを確認するために行っております。
3:52:21	ごめんなさい。規制庁白井です。もうちょっと教えて欲しいんですけど、説明して欲しいんですけど高強度部なんか高強度とセメント改良等の接続。
3:52:30	接してる箇所って、館野長井所と横野短い方向があって今おっしゃってるのは、どっちの方向ですか。館野北海道電力の松本です。立野永井方向において、
3:52:43	摩擦力の評価を行っております津波時には、アンカーボルトに期待しない設計としております。
3:54:58	そういうしかなく、
3:55:01	趣旨としましては、高強度部とセメント改良度の間、
3:55:08	一体処理してうちするわけじゃないので、
3:55:12	今日何かフルタせますよと、いうことを考えています。
3:55:16	北海道電力佐藤です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:55:19	ですので、基本的には、アンカーボルトで地震時離れをする時に引っぱり取るとか、
3:55:25	0する時にせん断だとか、そういう考え方をしています。
3:55:28	津波で基本的に剥がれるような話とか、ずれる話じゃないんですけども、面倒して、
3:55:34	力として押すので、
3:55:37	それに対しては、
3:55:39	特にアンカーに期待するんじゃないくて、アノをされた部分は摩擦でそろって、そんなことでコウを期待をしたんですけど。
3:55:47	ええ。
3:55:50	うん。はい。
3:55:54	いや、だから、変えてやらない。うん。
3:55:57	それから、何か書くと何だこれはという話もあるかもしれない。
3:56:03	うん。
3:56:05	ちょっと記載のほうを見直しかけたいと思います。
3:59:40	多分、
3:59:42	はい。北海道電力の佐藤です。ちょっと今議論を踏まえて、記載の、
3:59:47	適正化をかけたいと思います。以上です。
3:59:53	はい。よろしくお願いします。
3:59:56	同じく中尾佐々ですけど資料2-2の242から245の、
4:00:03	アンカーボルトとか止水ジョイント定着材の
4:00:10	各種調査結果が各表で出てるんですけど、
4:00:14	これって、
4:00:16	どういうふうに出してきたのかわからないんですね、FEM解析をどうモデル化して、これをボルト1本当たりをどう出したかって、どの位置のボルトだ出してるんですか。
4:00:28	例えば津波に対してのボルトは、多分、津波圧がオオキイシタの方で出してるとか、地震は地震がどこで、このどこのやつかわからないんでこの結果だけ示されても、
4:00:42	これでいいです悪いですっていう判断ができないんで、
4:00:45	少しは、許可段階と言いながら、こういうフローでこういうやつで、一応試算はこういう仮定でやってみました程度ぐらい書い

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	てくれないとわからないと思うんですけど、この点についていかがでしょうか。
4:01:18	北海道電力の千葉です。こちらシース、
4:01:26	街道電力の千葉です。こちら止水ジョイントのアンカーボルトの調査費の表につきまして、地震時と津波時と重畳時と、どういう考え方でこの発生力が生まれて、
4:01:38	調査ができるのかそこの考え方がわかる説明を追記したいと思います。どの位置のボードでMACCSを出してるのかって言うのも教えてくださいね、津波と地震じゃ多分違うと思うし、
4:01:51	細かい話は設工認じゃなくていいんで、こういう過程でこういう概要で出てるという程度でわかればいいんですけど、突然表で出されてもわからないんで、
4:02:02	そこの説明の方よろしくお願いします。私から以上です。
4:02:25	はい。
4:02:28	はい、社長の谷口です。防潮での構造概要は、パワーポイントの7ページ目のところに書いてあるんですけども、
4:02:40	包丁での標準部と、それから端部って形で書いてあるんですけど、
4:02:45	これ膨張での、茶津側の端部っていうのは、
4:02:52	南部できるんですか。
4:03:01	両電力のマツモトで生徒防潮での茶津側の端部につきましてはセメント改良をそのまま邪魔にすりつけるという形状になります。
4:03:10	私としては聞きたかったのはこの収まりを茶津側の部分も何か入れといたらどうかなと思ったんですけど、ていうことです。
4:03:19	電力のマツモトで承知しました。
4:03:23	以上です。それからもう一つ、
4:03:26	19ページ目、えっと、
4:03:30	これはもうこれから対応されると先ほどおっしゃってたんだと思いますけど、後段排水設備を集水枘も入れてコウない設備だというスタンスなので、
4:03:42	これはそういう表記にするということになるんですか。
4:03:48	北海道電力のマツモトで生徒構内排水設備の中には修正マツオ含むという考え方です。はい。
4:04:02	規制庁中尾さんす資料2-11 一時110位。
4:04:07	1ページなんですけどこれ単純な話なんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:04:11	同ページの上から4行目に記載している。
4:04:14	包丁て山賀にある屋外タンクの参照による施設水の何とかって書いてあるんですけど
4:04:23	大井水のゴムジョイントを材を設置するって書いてあるんですけど、これは1セガワの、どの資料を見れば分かるっていうふうに、
4:04:33	注意書きの方お願いしたいと思います。
4:04:37	よろしいでしょうか。
4:04:44	北海道電力の千葉です。承知いたしました。こちらの111ページの衛藤オノ衛藤対策のところに、他の関係するし、
4:04:54	資料の東村主任による溢水の関係する資料の場所がわかるように記載いたします。よろしく申し上げます。
4:05:04	規制庁藤原です私の方から記載関係だけちょっと申し上げます特にこれはそちらで私が言った内容踏まえてご検討いただければいいので回答は、
4:05:15	求めません。まず4ページ目、4ページ目の方ですけども、二つ目のマル。
4:05:23	の方で、
4:05:27	何ですかね、
4:05:29	端部脳構造成立性は、一部やりませんっていう、要は後ろ向きな記載になってるんですけども、こうしろうまいですけど後ろ向きな記載は要らなくて、
4:05:40	もともと構造成立性評価はヒョウジン分で、液状化の影響が大きいとか、具体構造が大きいからそれを主でやるで、端部も一応別途やるんだけどそこは、
4:05:51	端部において必要なものをやる。その過程においてボードための津波とか重畳時ってのは多分やらないというような流れだと思うんで、わざわざ丸で書く必要があるのかと言われるとなんかちょっとすごい。
4:06:04	後ろ向きに見えるのでそこはちゃんと考えた方がいいのかなとで、要はあのフローの中でなこ注釈なりでやればいい話だと思いますし、あとはそもそもその標準部と端部が並列でこのフローで示されてくるんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:06:17	そんな、同じようなレベル感のものですかっていうとちょっと何か、いや、どうかなっていうのもあるのでそこはちょっともうちょっと考えてもいい気がします。これはただ、私の気づきです。
4:06:28	その次、7ページ目。
4:06:33	7ページ目の右上の図で当懇話会の図があるんですけどこれまでヒアリングを受けた私どもは、
4:06:44	何なのか、細かいとこですけど、普通一般の方がこれだけ見ると、何かよくわかんないんでここでは、いるかいらないのかももう一度ご検討されては、いいような気がします。
4:06:54	その次、9ページ目。
4:06:57	9ページ目の風荷重呉なんですけども、荷重の組み合わせのところ で津波と重畳がバーになっていて、その理由が山から海は、云々 って書いてはある。これ、
4:07:11	よくよく見たらわかるんですけどもそもそも実は、地震時にどう いう方向にかけてるっていうのがないと繋がらないので、まず、 地震時の風荷重のところには、
4:07:21	外山から海にかけるっていうふうにした方が、下の方に繋がる のではと思われます。
4:07:28	衛藤もう言いつばなしでいきますのであとは、資料2-2の191ペ ージの方は、
4:07:39	資料2-191ですね。
4:07:43	小コウも
4:07:46	果樹衝突速度とか、衝突物、あと漂流物荷重、これ全部暫定とい うのは理解してんすけど、
4:07:55	随所に全部暫定というのを書いて欲しいですじゃないと何かあた かも決まった方にちょっと見えてしまうんでもう目立たせて欲し い、した方がいいんじゃないでしょうか。
4:08:06	ていうところです。
4:08:07	ソウノウ他は資料2-3。
4:08:13	コメント回答資料の、
4:08:15	3ページ目。
4:08:18	見ていただいて3ページ目の、
4:08:21	No.7、本日回答となっている対応状況に、一番右の欄、回答予定時 期が、
4:08:28	設工認なんかになってますが要は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:08:31	はい。本日回答にもかかわらず回答予定時期が後ってどういうことですかというふうになりますので、ここはきちんと対応、本日回答し切れたら回答し切ったような表現にしてください。で、もし残れたら回答概要はそこを合わせてちゃんと
4:08:46	やって欲しいです。えと円以上。
4:08:50	ですなんかもし今の内容でわからないことあったら聞いて欲しいですけどよろしいですか。
4:08:56	はい、じゃあ、衛藤。
4:09:00	続けて規制庁クマガイから私も
4:09:02	気づき事項だけコメントしますので、
4:09:06	お願いします。2-1 ページ、資料 2-1 のですね 9 ページのところですけども、
4:09:12	こちらの地下水位及び地盤の条件のところで、地下水のですね、
4:09:17	記載ぶりについて膨張てから山側の水イワタ稼動調停より海側の、
4:09:23	水はってというのが記載されてるんですが、防潮てまさに防潮堤外あるですね 30 メートルの区間の錘についての記載がありませんので、そちらについてはどのように設定されてるのかっていうのを明示してください。
4:09:35	それとあと、
4:09:38	先ほど地下水のところで二つ目のポツのところで先ほど藤原からもありましたけど、
4:09:43	地盤、
4:09:45	沈下量、
4:09:46	これ具体的な数字もここでですね書いとい 0.5 メートルですか、書いともらった方がいいかなと、朔望平均満潮位と下の 1 ポツの、
4:09:55	どこでも、
4:09:56	0.26 メートルとかってありますので、その並びをとってここでもですね、記載を 1 人とわかった方がですね、わかりやすいと思いました。
4:10:05	あと
4:10:07	この 9 ページのところでいろんな荷重の説明があるんですけども、
4:10:12	これ余震荷重についても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:10:14	S D-1 でしたっけ、モンマなんか検討されてるかと思うのでそう何をどういったものをやるのかってのはですね、評価用地震動だけじゃなくて、
4:10:24	ヨシノときはどういったものあるんですっていうのもここで帰ってってもらった方が、その整理しやすいかなと思いました。はい。
4:10:31	あと続いて 10 ページのところですけども、
4:10:37	一応右下の漂流物荷重のところ、
4:10:42	ショートする作用位置、
4:10:44	これについては
4:10:46	高強度部。
4:10:48	カタン直下のセメント改良度っていうのが記載されてるんですが、これ基本ケースでは、図の方では書いてありますけど、
4:10:55	包丁天端の方にも、
4:10:57	衝突する作用させるということなので、この文章でもですねそちらについても、
4:11:03	記載していただいた方が、
4:11:05	わかりやすいかと思いました。
4:11:10	あと続いて、
4:11:12	12 ページのところですけども、
4:11:15	これ、
4:11:16	下の表のところですね、解析方法がありますけれども、
4:11:21	添付資料 25 に示すっていうふうな、
4:11:23	記載ぶりになっていて、
4:11:26	添付資料 25 に言えばまたこの同じような表がより、
4:11:30	書いてあるんですけども、
4:11:32	このパワポですね、解析方法ってのは、ここ見ただけで全くわからないと。
4:11:38	いう状況なので、
4:11:42	全部書くのが難しいのであれば、ちょっと簡潔な記載にさせていただいて、添付 25、
4:11:48	飛ばすような形にしてもらった方がいいのかなと思います。それが 20 ページもですね、同様な
4:11:55	ところがありますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:11:57	そこも解析方法のところの記載ぶりについては、
4:12:02	もうパワポを見て、何か情報がえられるような形にしていだければと。
4:12:10	と、
4:12:12	続けて 13 ページのところですけども、
4:12:15	これちょっと私さ、先ほど、
4:12:21	13 ページのところごめんなさい、13 ページだと、15 ページを見比べて欲しいんですけども、
4:12:27	15 ページのところでは三つ目の丸のところになお書きで、
4:12:32	3-4 の、
4:12:35	基準地震動として 3-4 の方がですね、下部コンクリートの応答は大きいんですけど、
4:12:43	という話が記載されていて、
4:12:47	また 3、3-5 の方を使ってますということだと思んですが、
4:12:51	これ、13 ページの方にもですね、これは、
4:12:55	これは記載を、
4:12:57	された方がいいのかなと思ったんで、ここは何か記載のするしないって何か考え方があるんでそれちょっと教えてもらえ、ご説明いただけますか。
4:13:14	北海道電力の松本です。あえて 15 ページに S s 3-4 の評価の記載をさせていただいたのは、
4:13:21	資料の 2-1 の 6 ページですね。
4:13:26	の
4:13:29	下のグラフの中で水平最大加速度のところ、あと水平せん断応力のところが S s 3-4 が下部コンクリートのところで卓越してるような状況になってますので、あえてこちらの考察を加えたというところではございます。
4:13:43	冒頭にありました通り衛藤 S 他の地震動に対する評価についての考察も加えて 15 ページと同様に、
4:13:52	13 ページにおきましても S s 3-4 の評価に対する考察を加えたいと思います。
4:13:59	規制庁熊谷ですはい。
4:14:02	ご趣旨わかりました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:14:04	そうですここでは、おっしゃる通りその下部コンクリートのところに滑り線が入ったりしてるので、その下、下部コンクリートとしての、
4:14:12	どの、
4:14:13	基準地震動を使うのかっていうような観点もですね。
4:14:16	何か
4:14:18	管理が必要かなと思いましたので、そこら辺についても整理していただいて記載をしていただければと思います。
4:14:26	あと、続けて 16 ページの、
4:14:30	ところですけども、本当に、
4:14:33	コメントだけですけども、
4:14:36	右下の、
4:14:37	※3 のところでですね。
4:14:39	2 行目とか 3 行目のところで、
4:14:41	津波荷重が小さいことからとか、外力が作用する外力が小さいという、
4:14:47	記載ぶりがあるんですが、
4:14:49	何人どれに比べて、
4:14:51	小さいのかっていうのがですね
4:14:54	文章よりはですね何となくその繋ぎ合わせて読めばわかるようなところもあるんですが、
4:15:01	あの文章それ自体ではですねそれが明確に認め、
4:15:05	ないので、そこはわかりやすくですね、記載を、
4:15:08	していただければと。
4:15:10	考えました。
4:15:13	あと、
4:15:15	続けてあと、
4:15:17	あと二つですけど 18 ページ。
4:15:21	こちらについてもわかりやすさの観点だけなんですけど、
4:15:24	回答の一つ目の丸のところですね 1 の、
4:15:28	1 行目のところで、
4:15:31	包丁て前面の
4:15:33	既設護岸及び、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:15:36	埋設、埋戻しドイについては、役割を期待してないなためと書いてあるんですが、
4:15:41	これ、
4:15:42	既設護岸及び埋戻しだけでなく、
4:15:48	中川理事とかそういったほかのものもあるかと思うので、
4:15:52	そこは正確にそういったものがあるのでは藤とかそういった文章を入れてですね整理正確な記載に、
4:15:58	していただければと思いました。
4:16:02	あと、もう、
4:16:06	そうですね、はい、以上でございます。あと何か、私が言った点で不便な点等あればお願いします。
4:16:17	はい。規制庁藤原ですそしたらちょっと10分休憩を挟みたいと思います。
4:16:30	はい。規制庁藤原ですそれではヒアリング再開したいと思います。次資料3-2ということで、規制委員会設計方針これについてもうちちょっと一応質疑からもいきなり入りたいと思います。はい。
4:16:43	ちょっと規制庁エザキサトウ知らん、ページで107番。
4:16:48	107ページかな。108ページにかけてなんですけど、
4:16:52	これゴムジョイントの耐候性耐久性の書かれてるんですが、
4:16:58	以前もお話したんですけど、僕設置効果と言って自分だけで終わるのではなくて、
4:17:04	今、東海第2も調べたんですけどそれなりにみんな、
4:17:08	大井も、小野田を見るとですねそれなりに許可の段階でも括弧書かれていますので、
4:17:13	それは多分、
4:17:15	各サイト見ていただき各発電所見ていただければ、かなり参考になることいろいろ書いているので、そこも踏まえてですねいわゆる審査実績、
4:17:24	先行の審査実績を踏まえて
4:17:29	よりそこ中身をですね充実していただきたいと思ってます。
4:17:33	よろしいでしょうか。
4:18:43	北海道電力の千葉です。今事業所内で検討中です。
4:19:19	いいですけども基本的にですね

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:19:22	3 サイトウ読見たんですけど、やっぱり許可のまとめ資料としてはそれなりに書いているので、少なくとも他社並みのことはしていただきたいと思います。よろしいでしょうか。
4:19:35	北海道電力の千葉です。質問の趣旨承知いたしました。このゴムの当選耐久性につきまして先行サイトと同様なものを付けると考えておりますので、そこの耐久性について記載いたします。以上です。
4:20:59	はい。先ほど聞いたので、大体わかりましたけど、
4:21:04	要は 155 ミリの
4:21:07	結果が、3-1 の資料の中にいっぱいついてるので、無礼ぶれの資料になってるので、それを見直しをしてください。
4:21:16	それで、中身的に言うと 17 ページのところのアンカーボルトの調査結果は、
4:21:24	埋め込み長さ 200mm のやつだと思いますので、それをちゃんと書いて、
4:21:30	その辺、
4:21:34	町を調整してください。
4:21:36	以上です。
4:21:38	北海道電力の千葉です。衛藤コメント承知いたしました。アンカーボルトの衛藤しようと。衛藤。
4:21:47	その処置の見せ方について記載と修正いたします。以上です。
4:21:52	よろしくお願いします。
4:21:57	じゃあ、えっと、
4:22:00	あと私、3-1 の資料。
4:22:04	今 17 ページのところ、
4:22:07	それは今の見込みな埋込の破産ですね、すいません。
4:22:12	それから、3-2、
4:22:15	その根拠になる資料ですけど、207 ページ。
4:22:22	207 ページ何これ止水ジョイントのか。
4:22:26	ふ化場の分の比率を考慮した結果を、
4:22:30	表だけ 2 枚つけてるんですけど、
4:22:33	結局荷重、
4:22:35	分担を考慮して、それでも、
4:22:38	もちますよっていう結果を出したってことですねこれ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:22:44	荷重分担率はというふうに評価してるんですか。
4:22:54	北海道電力の千葉です。こちらまとめ資料 207 ページにアンカーボルトの調査の暫定値載せておりますけれどもここの荷重の分担比率につきましては、
4:23:05	パワーポイント資料、衛藤さんの
4:23:12	1 ミイ。
4:23:18	15 ページに、引っ張り方向の調査とせん断方向の調査と、衛藤 X 方向と Y 方向の荷重分担比率載せておりますけれども、こちらの分担比率で賞賛した結果になってございます。
4:23:30	以上です。これの中の、
4:23:32	した上、
4:23:34	これでやってるってことですか。
4:23:41	この 9-1 条の
4:23:44	計算は、
4:23:45	これが分断荷重はどのどれでやってるんですか。
4:24:13	これは F E M の解析の結果から出してるんじゃないんでしょう。
4:24:19	北海道電力の千葉です。まとめ資料 207 ページの 9-1 表に書いてあるアンカーボルトの左右荷重作用荷重につきまして、ラージ F X Y。
4:24:32	この三つにつきましては F E M 解析の下からられるトゴウバネの絵と荷重をここに記載してございます。また、その通りに書いてある衛藤スモール。
4:24:43	F X モール F z こちらは、ゴムジョイントの聴力を解析の結果を用いて計算しておりますので、とそコウノ衛藤計算値を載せております。
4:24:57	その辺の前提が全然わかんないので、ただ要は作用する荷重の分担比率を考慮して、
4:25:04	セールスしてることを確認したって書いてあって、
4:25:07	この 2 枚だけぽろっとここについてる状態になってるので、
4:25:12	その説明を 3-1 の方見てくださってというのは、
4:25:16	これにも、
4:25:18	親切かなと思ってるんですけど、これは、要はこういう分担率で、荷重分担で評価しました。
4:25:25	F E M の解析で、
4:25:27	青井。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:25:28	コールに入れて計算しましたってことだったらそういうことを、
4:25:31	書いたものにしておかないと。
4:25:34	この表だけ、値直しして、
4:25:39	そうしてるのは何か。
4:25:41	非常にわかりにくいので、
4:25:45	きっちり帰ってください。
4:25:48	北海道電力の千葉ですコメント趣旨承知いたしました。こちらの表の一番に書いてあると右側に照査に用いる荷重っていうのが、X5とY報告とZ報告と。
4:26:00	出てるのと、あとこの荷重分担の絵と考え方の関連がちょっとわかりにくいところになっておりますので、実際に詳細を用いると引張力とせん断力の計算方法が、
4:26:11	わかるようにこの絵と記載修正したいと思います。ここの部分だけでちゃんとそれを読むようにしておいてください。よろしくお願いします。
4:26:18	以上です。
4:26:22	規制庁シゲマス今のタニグチの話は。うん。確か、すごくわかりにくくてこれパワポのあれですね17ページもまさに同じ。
4:26:30	状況なんですんで、
4:26:34	どう、どういう、上の方が薄吳そうかもしれその下の、この17ページの下の表ですか。
4:26:42	正直これ一なんか、電卓たたいたんですよ。
4:26:47	すごいわかりにくいんですよ。どのケースがどれだっけとか、何か1回、下に二、三ページ戻りながら、電卓15ページに戻って、
4:26:58	何かここで式がトダテ15ページの右に負担する荷重、 $0.454 \times F_z F$ とかかな、これを見ながら、だから、縦と横でこれも違いながらとか、
4:27:11	それがこの17ページにいくと、もう土塀としてわからない。なので、もしかしたらこの17ページもっと工夫して、例えばどういうふうなケースを、
4:27:21	例えば15ページでこういうふうな負担する荷重を書いていますよね。そういったのが何かのポイントをちゃんと書かないとわからないし、頭もっとせん断方向の照査っていう、せん断力の合力ですか、ここの数字が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:27:36	何かを
4:27:37	ポンプ入ってんすけどこれ、電卓叩くのに、
4:27:40	足し算ですか、それとも事情の平均値あへ事情は平行本かな。なのかというのも全然書いてない。一条平方根連絡会でわかったけど、
4:27:51	でも値が13コウなんだろう、17ページの下の二つ目の16というのは間違ってると思うんですよね。ちなみに、お伺いしますけど、これ私、16.6で、
4:28:03	暴力が出てるやつを照査値0.15になるかということ、んならないかったんですよ。
4:28:09	うん。4.0なんですよ。
4:28:11	だから、
4:28:12	うん、わからないし誤記もあるしで、すごい、これは不親切ですのでまずはちょっとだし、もうちょっと何か出し方がわかるように、17ページのさ、この部分、
4:28:28	規制庁の江寄ですがこの多分17ページの、
4:28:31	呉ところって、基本的にはこのせん断応力っていうのはまず、
4:28:36	15ページの分担荷重の絵図がありますね右図。
4:28:41	それぞれ0。
4:28:43	タテ方向と横方向のその分担会社ってあって、なおかつ
4:28:49	確か、事情は平方、どっかで確かベップと、
4:28:53	ベクトル変換してるんですよね確かこれね。
4:28:57	そういう観点で決まってるんだと思うんですよね。そう言った記載が何をどこも書いてあるんだけど全部、
4:29:05	前のページを全部読んでいくとそれがわかるという状態になって電卓叩かないと、
4:29:11	図、逆に言うと最初の前の文章が僕読んでてわかった。
4:29:16	数字を超え、連絡いただいて、こういうことを
4:29:19	数字があってこういうことを全部やってるんだなっていうのがわかるような状態なので、
4:29:25	ちょっとここ工夫してもらえませんか見える化としてさ、例えば少なくとも
4:29:30	表のはどのように計算してるのかという計算式とか入れてもらってやるとわかりやすいと思うんですがまずね。
4:29:37	そうするとそれが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:29:39	上のところどこの部分と紐づいてるんですかと紐付けの何か何か記号とか入れてもらって、
4:29:45	これ、これによってこういったことになってるんですっていう感じで、
4:29:49	全体の紐づけがちょっとわかるようにしてもらった方が理解しやすいかなと思いましたが、いかがでしょう。
4:29:58	ガイド電力の佐藤ですご指摘の趣旨理解しました。
4:30:02	おっしゃる通りパワーポイント17ページ見ても、上の表から再評価上の表から照査結果のところは変わらなくて15に戻らないといけませんし、
4:30:11	まとめ資料の207ページ見ても、9-1から9-2繋がらないしそれを読み解くには7章に戻らないといけないというところで、
4:30:19	わかりづらいと思いましたので、工夫します。はい。
4:30:27	ならば、
4:30:32	うん、まとめ資料がね。
4:30:41	しました。
4:30:45	いや、三浦ですけど今皆さん全く言った通りなんですけど例えば17ページ見るとね、右上の表のところ0.5をF I ってるじゃないですか。
4:30:56	0.5 ってるこれ縦横のせん断で合わしてるから片方向0.5でチェックしてるんだと思うんですよ。
4:31:02	何ていうか直行方向とね、アノタテをコウと横方向のアンカーボルトでそれも
4:31:08	0.5にした理由って、こういう理由で0.5にしてるんですよっていうようなことが必要だし、
4:31:14	あとは言ってたように右下の表のね、暴力暴力に関しては、
4:31:18	45.4%使いながら、事情は平方根取ってたそういう式がないと追えないし、
4:31:26	ちょっと
4:31:28	数字を追えるように、もちろんまとめ資料はもう十分充実してるんだけどこの中でもやっぱり数字追えるにしとかないといけないんじゃないすかね。
4:31:36	やられることは非常によく理解できました。
4:31:41	これで十分保守性があると思います。はい。私から以上です。
4:31:50	はい、江藤規制庁藤間です。うん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:31:52	そうですね。
4:31:54	ちなみにこれ高橋さんとか見てこれぱっとわかりました。やっ てること。
4:31:59	いや、
4:32:03	北海道電力の高瀬です今ご指摘いただいた通りしっかり
4:32:08	修正したいと思います。
4:32:17	わかりました。
4:32:19	はい。規制庁藤谷ですわかりました。そしたら、じゃあ、次なん ですけども、10、私の方に行きます。14 ページ。
4:32:28	パワポの 14 ページ開いていただいて、記載だけの話ですね。もう やってる内容はもう大体、そうなのかなというところが、
4:32:37	あるんですけど、もうちょっと記載の適正化ということで、
4:32:43	上から二つ目の丸の一つ二つ目の矢羽根のただし書きのところ ですか。
4:32:50	固定条件、云々かんぬんかなってというのが、
4:32:55	あってですね。
4:32:57	ちょっとここの何か、日本語だけですよ長ったらしくて何かわか りにくいので、一言言うと必ずしも固定条件とみなせないとい うことは不確かさを踏まえると、
4:33:09	ていうところをもうちょっと何か言ってもらった方がいいのか な。書いてあるんですけど、ちょっと何か文章長すぎて、読む気 がしなくなるのもうちょっと何かシンプルにできたらいいな というのはこれ、
4:33:20	思いつきですけど、これ、もしご検討いただければというの が1点。
4:33:27	続いてですね。
4:33:28	15 ページ目。
4:33:31	これも記載だけなんですけども、
4:33:35	へえ。
4:33:36	藤。
4:33:37	うん。
4:33:38	前回のヒアリングでの内容を踏まえて、文章をこの一つ目の丸の 文章を作られてるのは理解しますようは、引っ張り方向というこ ととあとさ、せん断も一応そのいろいろ、
4:33:51	何か分担させるのも、要は、やりますと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:33:55	やってることは理解するけど文章が何か表現がちょっと、
4:33:58	何か何ですかね、句読点でつなげると、あたかも何か前の方の引張りと後ろの方のせん断というのが、何か関連性があるって、何か、
4:34:09	連続的にやってるんだっていうふうに見えるんですねで、一応私の理解だと、この引張とせん断とそれぞれ実証っていうかね、荷重の考え方が全然違うもので、
4:34:19	違うものを並列的にやってるっていうことを、
4:34:22	だと理解します。だとするとなんか
4:34:25	具体的に言うところの丸印の一つ1行目の後半の、ここの成立を書く欲しいなとか、また、
4:34:34	ていうふうにつなげたら何か要はユリ並立感があるってやってることが理解しやすいのかなと。
4:34:41	もう1点これまとめ資料も一緒なんですよねまとめ資料の127ページをちょっと開いていただきたいんですよ。
4:34:53	まとめ資料の127ページの
4:34:57	三つポチが主、三つ目の上から三つ目のポチですかね。
4:35:02	ここで
4:35:06	失礼しました一つ目の、
4:35:08	どっちですかこの123一つ目のポチで弾性係数比は9対1。
4:35:13	その二つ目のポチが、フジタが支配的で、三つ目のポチですの。
4:35:20	アンカーボルトの保守的な荷重分担を、要は、
4:35:24	あれですかね45.4。
4:35:26	この弾性係数の9対1と45.4で全く別の考え方でやってますよね。
4:35:32	だから、
4:35:33	これはそれぞれの条件に対して引張りとせん断を強化しているのがあって、
4:35:39	ごめんなさい、127ページのその三つポチがウノ下のこれより下、
4:35:43	だからこの、このこれヨリキの上の三つを総合したらこうするってなってんすけど、実際違いますよね。
4:35:50	9.一位だから引張りをやる。
4:35:53	45.4%のせん断の分担ガス、何か保守的に考えてあるから、せん断をやる、そういう名が0だと理解したんですね。もし私の理解

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	がちよっと違ったらあれなんすけど、もしそうだったらそういうふうに、
4:36:06	きちっとやってることを書いた方がいいような気がしますけど、いかがですかねこれは。
4:36:14	北海道電力の千葉です。藤原さんのおっしゃる通りですのでこちらの記載について引張の条件等、衛藤せん断の勘定系の考え方とちよっとこちらの書き方になっているので、そこを区別して整理して書けるように江藤表現へと修正したいと思います。以上です。
4:36:31	はい。規制庁伊澤ですわかりました。その次ちよっと事実確認に入るんですけどもパワポの17ページで、ちよっとこれ確認です。
4:36:42	17ページのその上の作業荷重のアンカーボルトの再加重ですか、これの津波時のF、ラージF I。
4:36:49	10.3 っていうのがここであるんですけど、
4:36:52	F I っていうのはこれでいくと、包丁て法面の方法によった荷重具ですかね。
4:36:59	津波時においてこういう荷重がかかるという状況っていうのは、
4:37:04	あれですか、漂流物がぶつかったときに、
4:37:08	越冬て、
4:37:10	定着部に対して、
4:37:12	どういうふうな変形があって、こういうふうな荷重が出るのか、例えば何かの形態が、
4:37:18	山側にコウをされて、それでその堤体の剛性と定着部材の剛性との関係からコウF i がコウ。
4:37:26	何か出るのか、何かちよっとよく、なぜこのF i が出るのかわかんなかったんですけど、そう、ちよっとそこって、
4:37:32	何か説明できますかね。
4:37:46	北海道電力の千葉です。こちら採用数の津波時にF I 7.8が生じている理由としましては、松波神。
4:37:59	ちゅ
4:38:06	すいません。
4:38:12	北海道電力のサトウですこのF i -10.3について説明させていただきます。
4:38:18	こちら津波時に漂流物荷重を当たったときに、
4:38:22	山側に変形する。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:38:26	まず青年、公共部が受けて、セメント改良道具が受けてそのあとで定着部のところに力が伝達したときに、そういうふうに動くやつです。
4:38:35	で、
4:38:36	ただ、このときに、漂流物荷重どこに当たってるかというのと、
4:38:43	このカドイカドノやったときの、
4:38:47	断面力使っていて、これ書いてます。
4:38:50	3次元の漂流物荷重の作用位置。
4:38:55	先ほどのやつだと真ん中のところは出てましたけど、
4:38:59	過度に当てた。
4:39:00	事故に充てたときに出てきてる。
4:39:03	天端かと。
4:39:08	さっき宮さん。
4:39:20	そういったカトウにあった時の荷重をここに持ってきて、調査を行っております。
4:39:25	以上です。
4:39:52	平面的にここの、
4:40:05	灰色規制庁以上です。大体状況がわかります。はい。
4:40:09	続けまして
4:40:13	18ページに行ってください、
4:40:17	18ページの指摘事項は、これは昔の構造の時、昔ニシズミ構造のときのアンカーボルトBの指摘に対する回答がなされてるっていうことで
4:40:28	流れがなんかすごいわかりやすくなってきてると思いますが、ただちょっともうちょっと記載ワー何ですかね指摘事項の日本語の内容をちゃんと回答に盛り込んで欲しいんですね。
4:40:39	具体的にどこかというのと、二つ、一つ目の矢羽根の、
4:40:43	性能試験の結果から判定される、これこれの破壊モードっていうふうに書いてるじゃないですかで、これが今回の性能試験、或いは、評価でいうと引っ張り野瀬なんていうのが、やってますよねで、それが、要は、
4:40:58	引っ張り頭なんかで、せん断は多分4月サカイとかいう状況だったと思うんで、それがまずどういう状況かで、それに対して要は協議委員会伊井イワマ堂、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:41:10	その二つ目の矢羽根から破壊モードを踏まえた、その止水性の、これやっぱある程度、イシタイシダの方、矢羽根ナカイてるんかな。
4:41:18	うんあんまり書いてないかもしれない。
4:41:20	一応続いたような、言いたいのは要は指摘事項の日本語のちゃんと盛り込んで欲しいというのが、
4:41:27	お願い、危ないというか、盛り込まないとちょっと回答にならないんでこの件いかがですかね。
4:41:35	電力の佐藤です。いや、回答の一つ目の矢羽根のところでは会計士が一致というところにちょっと書いたけど、直接この指摘事項の
4:41:46	文言をもう少し
4:41:49	使いまして回答させていただきたいと思います。
4:41:53	はい。江藤規制庁シゲマスわかりました。
4:41:56	いや、もう1点だけ細かいですけど、100、まとめ資料の方の121ページを見ていただいて、
4:42:06	ここ、言葉の使い方とやり方だけの話ですけども、121ページの上から2行目の後半に、耐圧関係というのがいきなりポンと出てきて、耐圧さん、
4:42:17	経営がそもそも何ですかっていうのがわからないですし、あとそれを使って、津波発をどういうふうに算出したのかというその過程も、その次の122ページかな、そこにも何かあんまり、
4:42:28	リンクがちょっとなくて、そこをちょっともし日本語で書いてるやつわあ、何だろう、まとめ資料の日本語で書いたやつその間対応関係ですかねそこは、
4:42:38	もちろん関連性をわかりやすくして欲しいなと思います。詳細は設工認でやるのはわかっていますけど、単純使用上ちょっとリンクがないと言ってるだけなんでその点いかがですかね。
4:42:55	北海道電力の千葉です。こちらの121ページに書いてまとめて121ページに書いてある耐圧関係、ゴムジョイント常緑を計算するために必要な予想ですけれども、その耐圧案件の考え方と、その
4:43:10	江藤計算のイメージ、言葉の意味がわかるような記載を、こちら、充実したいと思います。以上です。はい、規制庁、ちなみにこの122ページでいくと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:43:20	なんすかね青井オノ、野猿のところがあってこの円の
4:43:25	半径が開発関係で、相対変位というのは
4:43:31	なんすかねゴムの辺ん。
4:43:37	その開発半径をどう関係してるのか、その関係も何か、もし何か、
4:43:42	わからない、掛けた、書いていただくとわかりやすいかなと思ったんで、はい、じゃあその点はよろしくお願いします。はい。確かに情報です。
4:44:16	規制庁中房です。資料3、3-1の16ページ。
4:44:24	16ページの上から二つ目の、
4:44:27	丸で、
4:44:28	保守的懇話会を想定した影響範囲を考慮して配置を決定するというんですけど、これ本当に保守的なんですかっていう質問があって、
4:44:39	だって弾性範囲の方が広いですよ。
4:44:42	何か保守的ってあえて使う必要はないような気がしたんですけどいかがでしょうか。
4:44:53	北海道電力の佐藤です。ここの保守的の意図なんんですけども、
4:45:00	アンカーボルトの許容限界が、
4:45:04	今現在、懇話会が一番最選考するのではなくて、
4:45:10	例えば引張ですと降伏が先行します。
4:45:13	幸せで降伏という順番です。で、
4:45:16	せん断に関しましては、まずシアツが起こって、せん断、
4:45:23	そのあと5という順番がありますので、そういった意味で一番弱い今
4:45:30	を、
4:45:32	想定した破壊、
4:45:34	というイトウでした。
4:45:36	何かそれ正確に書いた方がいいですね。
4:45:39	ご指摘って何に対する保守的かわかんなくなるんで、
4:45:43	正確に書いてください。よろしいでしょうか。はい、承知しました。
4:45:52	大仲宇佐です資料3-1の、
4:45:56	17ページ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:45:58	して、
4:45:58	これか。
4:46:03	30、これはあれですね。
4:46:07	すいません。
4:46:09	ポルト系の埋込長 200 の話なんで、前出てました。
4:46:18	資料 3-2 の 115 ページから 117 ページで、
4:46:25	よしに津波及び余震+津波時のゴムジョイントに係る聴力を求めるときって張力はどういうふうに出したのかなと。
4:46:37	いわゆる、
4:46:38	ゴム自体の伸びもあるし、空間的にも、
4:46:42	余裕がある。
4:46:44	この聴力っていうのはそういうことを考えて聴力を出したのか。
4:46:49	単に F E M3 次元 F M の持ってきて、
4:46:54	スウェイコウ A p p かっていうんですかね、津波 A p p 力の最大値を持ってきたのか何か、これがいまいちわからなかったんですけどここら辺説明してもらえますか。
4:47:12	北海道電力の千葉です。ゴムジョイントの聴力の計算方法なんですけれども、こちらのエンドウ先行サイトと同様に、ゴムジョイントの耐圧半径と、通すゴムジョイントは膨らんだときの内圧関係と水圧の透析で計算しております。
4:47:29	そのゴムジョイント耐圧の半径というのはその膨張てが、相対変位が生じた時にどんな体江藤ゴムが膨らむか、そのスクラ見方を想定してた関係を設置しておりますのでさっきこちらの
4:47:44	湯原さんから指摘ありましたけれどもその計算がわかるように記載を充実したいと思います。お願いします。
4:47:51	実際はですね、115 ページの、
4:47:58	ブロック間でと、ブロック、ワンブロックで解いてるんで、これのこういうふうな、
4:48:03	住む。
4:48:05	方向っていうのはわからないんで、どういうふうにとったかわかんないんですこれもちゃんとわかるようにしてください。
4:48:13	はい、以上で、それはお願いします。
4:48:26	後はこれ前指摘あったん先ほど指摘あったんですけど資料 3-2 の 143 ページで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:48:34	止水ジョイントの例については、暑い時ってなってますけどいわゆるボイルング臭エザキトウカセがあったボーリングについてはですね、町税全体の
4:48:45	構造成立性にもあるので、それは来週ですか。
4:48:50	ちゃんと基本方針を、いつ頃できるかっていうのはちゃんと書いて欲しいなど。
4:48:57	11、2がⅡ12月のやつで間に合うのか間に合わないのか、それが無理だったら、
4:49:04	2月に間に合うのか、これの見通しも教えてください。
4:49:10	北海道電力の松本です止水。
4:49:13	ジョイントの根入れ深さの考え方については2月1日の会合に間に合うように整理をしていきたいと思っております。
4:49:20	わかりました。1日ということで確認しました。私から以上です。
4:49:26	あ、失礼いたしました1月下旬の会合。
4:49:31	季節エザキです。
4:49:33	私の方からちょっと事実確認したいんですけど、ちょっと、
4:49:36	この%資料読んでてわかんないところがあって、
4:49:40	15ページの
4:49:43	このZ方向の縦方向のアンカーボルト、
4:49:48	の列を見、ツチヤアノ行見ていただいて、せん断方向の調査で54.6ってあるじゃないですか。
4:49:56	この54.6は、
4:49:59	まずそもそもこの54.6は、14ページの何だ、
4:50:05	アンカーボルトのところの、
4:50:09	縦断タテ方向54.6臭、横方向、45.6と言っている右側二つの列、この54.6。
4:50:19	から、引っ張られてるっていうふうに、
4:50:22	考えていいですか。
4:50:25	54.6ってどこから出てきたかという。
4:50:28	まず各1、1本目の確認ですけど、
4:50:32	北海道電力の佐藤です。衛藤。
4:50:35	おっしゃる通りで、
4:50:37	14ページの二つ目、右から二つ目からです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:50:42	54.6 ってねこの下の右の図から見ると、せん断方向じゃなくて、引張方向に見えるんだけど、副まあそれ荷重の分担だけの話だからそれ、せん断方向で考えても同じだからという、そういう解釈という、
4:50:56	から見ると、うん、ピン固定の方だから、
4:51:00	ここに何かがあるとしたら引っ張り引張力しかかからないですよねこの荷重からすると旋盤ではないんですよ。
4:51:07	例えば、うん。
4:51:10	なんで、なんでここ3年キタノかなっていうのはぴんとこなかったけどあまり深く考えやめておこうかと思ったんだけど、これがちょっと、
4:51:17	どういった考え方で移ればいいのかと、だけちょっと聞かないから教えて欲しいんですけど。
4:51:28	北海道電力の白川です。
4:51:32	B、15ページのせん断方向の調査ところに54.6%と書いてあるのはちょっと誤解を生んでしまいますので、そちらは書かずに45.4だけ記載するように、
4:51:44	ここは45.4と下の方だけで1の方は、上の欄はバーにします。そうですね。はい。そうそうだところと思ったんだけど、
4:51:53	米田、米印の4の中で影響評価ケースって昔の言った話でさ、今の話だとなんか全然話が。
4:51:59	理解できなくて、
4:52:02	雄さんの方の127ページの方のお話があって、
4:52:07	そこでは引っ張り方向の照査よりも、荷重分担率が小さいためになって全然違う文書書いてるんですよ。例えば文章も違っていて、
4:52:16	多分最後にこの54.6って17ページいったときに、何ら使っていないだろうと思っていて、それで間違いないんですよって話で、
4:52:25	嘘で、それであれば別に多分多分そうだと思うんだけど、タカハシ54.6億に変えた理由は何なんだろうとかいろいろ考えてよくわかんなくて、
4:52:35	では、発生元が何だかもよくわかんなかったんで、ちょっと聞きましたけどここはあまり気にしなくていいということで理解しました。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:52:42	北海道電力白壁衛藤今おっしゃられた通りでございます記載については※4の部分は、修正いたします。※サンゴですかね、※3※3、4については、
4:52:53	修正するようにいたします。
4:52:55	規制庁見るんですけど今のあれだよな。
4:52:58	その14ページの右側下の図の右から二つ目のこの境界条件時2品支店に働いてるのが50多分100の単位力を加えてると54.6しょっていて、
4:53:09	そっから出てくる曲げによって生じる。
4:53:13	横方向の反力がせん断力として45.4%ありますっていうことだね。
4:53:19	そういう分担割合で100の体力はそういうふうに分かれていて、54.6に関しては100でチェックしてるから、
4:53:27	特に問題。
4:53:28	ありません。やる必要ありませんっていうストーリーでね。
4:53:32	北海道電力坂部です。今おっしゃられた通りでございます。荷重分担の方については14ページの
4:53:39	方で表の中で74.3%ってのが一番大きい、引張力が一番大きい分担なんですけども、こちらも100%に
4:53:50	包絡される値なので、
4:53:53	調査を割愛しているというような検討が進んでおります。以上です。
4:54:33	規制庁熊谷です。多少記載の記載ぶりのところですね、ちょっとわかりやすさの関連からコメントしたいと思います。
4:54:41	資料3-1の4ページの方見ていただければと思いますが、
4:54:46	この上の方の方、
4:54:48	文章のところですね。
4:54:50	先行の実績との相違点が記載されていて、
4:54:54	下の表のところでは、
4:54:55	その相違点を踏まえた、
4:54:57	設計上の確認等々が記載されてるんですけど、
4:55:01	これぱっと見るとですね
4:55:05	下の図をぱっと見たときにですね。
4:55:07	先行炉との先行実績との相違点ってのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:55:11	何なのかってのがですねぱっとわかりづらいような形になっていて、
4:55:16	上の方で文書で書かれてるんですけど、
4:55:19	表のところにですね、どの相違点に対して、どういった確認事項が必要なかってのも表の方にですね、そういう点も記載してもらったほうがわかりやすいかなと。
4:55:28	思います。それでですねそのあとさらに言うとはですね、
4:55:34	一番左の確認事項のところ、
4:55:36	①のところなんかについてはですね、確認事項に対して、
4:55:41	定着部材に水平力と鉛直力が生じる。
4:55:45	で変えていて、
4:55:47	何を確認するのかなと。
4:55:48	思いました。確認事項②とか③とかはですね、設計保証しますとか、
4:55:53	確認を行うとか、利用についても評価を行うとあるんですけど、
4:55:57	一番上のところなんかは、
4:55:59	生じたので、何を確認するのかなと、そこら辺の書きぶりのところもですねちょっと丁寧に、
4:56:06	書いていただければなと思いますがいかがでしょうか。
4:56:21	北海道電力の千葉です。コメントの趣旨承知いたしましたところの当先行炉実績との
4:56:30	差を表に記載するのと、あとこの江藤確認事項1の部分の記載に修正いたします。実際に設計方針として、定着部材に水平力と鉛直力が生じた上で、その
4:56:42	統制力鉛直力に対して、定着力、定着部材に発生するとマーケットセンターの調査をするということがあって欲しいなと思いますのでそこを仮に記載修正したいと思います。以上です。
4:56:54	はい。規制庁熊谷です。はい。
4:56:57	お考えの考え方はわかりました。
4:57:00	あと、次の5ページのところで、
4:57:03	下位フローを記載していただいている、フローの右側のところにですね各フローで行う。
4:57:10	内容についてご説明をいただいているのかなと思いますけども、
4:57:15	この
4:57:19	2ポツ、2ポツのですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:57:22	記載のフローのところの2ポツのところですが、指針を参考する参考することの妥当性と、
4:57:30	ということなんですけど、
4:57:32	ちょっと言葉の意味がちょっとわかりづらくてですね、指針を参考することってというのは、
4:57:38	どういうことなのかなと、これ指針なんか参考に設計する。
4:57:42	ことの妥当性とかそういったご趣旨でしょうか。
4:57:49	北海道電力の千葉です。ここの2ポツで確認することとしては、アンカーボルトの、今日原価決める上で各種合成構造設計指針の、
4:58:00	等を参考に、各種合成構造設計指針に書いてある、耐力算定式を参考に、設計するということですのでそこが、
4:58:09	指針をどう参考にするのかっていうところ、その考え方わかるように表現修正したいと思います。
4:58:17	はい。規制庁熊谷です。はい、わかりましたとその、
4:58:21	1ポツの方でNGってなったときに、
4:58:25	傍聴で材料の見直しまたは参考にする市の変更とかって書いてるんですけど、
4:58:31	何か参考にする指針で、この指針以外にも何かいくつか、
4:58:36	何か考えてらっしゃるようなものとかって候補になるようなものって、
4:58:40	あったりするんですか。
4:58:54	徒歩
4:58:55	回動電力のサトウです。まず各種アンカーボルトから入って、今回実験として、
4:59:06	いい結果がえられたわけなんですけども、
4:59:08	例えば
4:59:11	グラウンドアンカーとか、そういった別のアンカー系のもので使えるものはないかということを探しにいくんだらうなということを考えていました。
4:59:20	以上です。
4:59:22	はい、規制庁熊井です。はい。わかり、
4:59:26	東海地震、
4:59:28	がまず一番最初に、
4:59:30	もうドンピシャであって、それ以外のものは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

4:59:33	それが本当に駄目であればまたさらにちょっといろいろと、
4:59:37	さらに類似のものを探していくというようなことなんですね。
4:59:41	はい。大体ご趣旨わかりました。
4:59:44	あと、
4:59:45	それと
4:59:47	今度
4:59:48	左のフローとですね右の説明の、
4:59:51	ところの関係なんですけども、
4:59:56	1ポツのフローのところの右側のところですね、二つのポツの下のポチで、
5:00:01	アンカーボルトの降伏潜航もしくは、
5:00:04	セメント改良度の改良体の脱税系内で十分な誘導も設計ってあるんですよ。
5:00:11	これっていうのはこの、
5:00:13	1ポツの適用性の有無の確認を、
5:00:17	やるという。
5:00:19	趣旨でここは設計を何か考えてらっしゃるんですか。
5:00:24	何か、1ポツの、
5:00:26	適用性の有無とはちょっと違ったりするのかなと思ったんですよ。
5:00:30	この記載してる趣旨を教えてくださいなと思います
5:00:58	よしやあないで相談させてください。
5:01:59	北海道電力の佐藤です。1の適用性の有無というところというよりは、
5:02:08	調査の方かなと思いますので、ちょっと記載1について、
5:02:13	改めたいと思います。
5:02:16	はい。規制庁熊谷ですはい。どうぞ。これもう一度ご検討いただいて正しいところにですね、
5:02:23	プロでちゃんと並べていただければと思います。
5:02:26	あと、
5:02:27	もう1点ですけど3ポツの仕様配置の検討の右側の説明のところ で一番最後に
5:02:36	決定した、
5:02:38	配置において3次元FEM解析で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

5:02:41	応力状態を確認するってあるんですが、これってのは、
5:02:46	今、設置許可の説明として記載されてる。
5:02:49	という、
5:02:51	保守担当官がぱっと見たときにそういうふうに見えるんですと。
5:02:55	今回そういったでもやるっていうことでよろしいんですか。
5:03:01	移動電力はサトウです。こちらの、
5:03:03	30kmについては、江藤設計及び工認段階での実施を考えております。ちょっと記載の方、こちらを確認いたします。
5:03:13	はい、わかりました。
5:03:16	あと、
5:03:17	もう1点あのところあと日本語の観点だけなんですポツの。
5:03:22	右側の説明、個別の説明のところですね一番最初のところで、
5:03:27	当作用荷重に対して、引張方向及びせん断方向が混在するためってあるんですが、
5:03:35	これ、
5:03:36	引っ張り方向及びせん断方向の、
5:03:39	何かが混在するためってことなんですよね。
5:03:42	そこら辺をちょっと具体的にわかりやすく狭く、ちょっとこの文章書きぶりですね他のページとかにもあったかと思うんですが、わかりやすく記載を、
5:03:52	ただそんな正しくしていただければと思いますけど、いかがでしょうか。
5:03:58	北海道電力の千葉です。こちらの5ポツの記載について作用荷重に対してアンカーボルトの抵抗の方向が引張と方向性の方混在するというのを、ちょっと後ろのページでも書いておりますので、ちょっとこちらの5ページの方でも記載修正したいと思います。
5:04:14	以上です。
5:04:16	はい。規制庁熊谷です承知しました。
5:04:20	あと、ちょっとページ下で17ページの、
5:04:24	ところですけども、
5:04:29	個々の、
5:04:30	右上のところの表の、
5:04:33	見方をちょっと簡単な、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

5:04:37	に教えてもらえればと思うんですが、
5:04:39	これ、バーとなってるところは、
5:04:42	※3のところで
5:04:46	地震時は、
5:04:48	アンカーボルトにX方向の力が生じないってあるんですが、
5:04:52	これは
5:04:57	これだけでよろしいですかこの三つ。
5:04:59	※3の記載があるんですけど、例えば引張力のF、スモールZのところとかも、コウの説明で、
5:05:07	正しい解ですか。
5:05:25	あとさらに言うと
5:05:27	車斜線部分もありますよね
5:05:30	L a r g e F Xがその地震時とか、
5:05:34	重畳時も、
5:05:35	ここについては斜線になってる。
5:05:38	理由についても、ちょっと、
5:05:40	脚注か何かですご説明、解説していただければと思いますけども、いかがでしょうか。
5:05:50	北海道電力の千葉です。まず、江藤米さんでバーにしてスモールAとFXとスモールf Zのところ、バーにしている理由としましては、そもそも地震時については松波、
5:06:04	ハートが生じないので、このスモールFXのスモールf Zが生じないとなっております。なのでこの※3でアンカーボルト、X方向の力が生じないと書いているのはちょっとそこが、と違いますので記載修正させていただきたいと考えております。
5:06:20	で、もう一つ、衛藤住ラージFX。
5:07:28	スベンの方です。
5:07:31	これはサノ事件で、
5:07:35	使命方向には、
5:07:48	効力がある。
5:07:53	衛藤北海道電力の千葉です。この衛藤L a r g e F Xをバーにしている理由としましては、まずその防潮堤外衛藤。
5:08:03	線状構造物で、このX方向に生じる力はかなり小さいと考えておりまして、さらにこの衛藤、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

5:08:11	二次元のFEM二次FM解析において、こちらのFX方向の力は考慮していないので、どこで江藤斜線にしております。ただ津波時につきましてはこの3次元でモデル化するにあたって、3、X方向にも衛藤荷重、
5:08:28	モデルがありますのでそこをばねで取り出しているため、0.3書いてあると、そういうことになっております。
5:08:36	こちらの中身についてもこちらへと注釈で説明追記させていただきたいと思います。
5:09:46	北海道電力の千葉です。このLargeFXが、地震時と重畳時出てない理由として地震時に江藤山、海山方向に荷重へと地震荷重をかけていて、
5:09:57	このX方向には衛藤オカ千葉荘司ナイトウHead考えておりますので、その記載を追記したいと思います。
5:10:16	はい。はい。はい。
5:10:18	当日は、
5:10:22	はい、ご説明わかりましたありがとうございます。あと最後にもう1点だけ
5:10:28	19ページのところで、高強度ウノ。
5:10:31	アンカーボルトの仕様を記載していただいているんですが、
5:10:35	こちらも、
5:10:36	各種合成指針をですね参考にした評価を行うということなので、
5:10:42	足の適応。
5:10:44	範囲との関係についてですね。
5:10:47	一番しようと。
5:10:49	対応がわかるような形でですね。
5:10:52	1000、
5:10:53	データを示していただければなど。
5:10:56	思います。だから、
5:10:57	6ページみたいな、
5:10:59	ものをですね、何か適用性が判断できるようなものを、
5:11:03	どっかで示していただければと。
5:11:06	思います。
5:11:09	いかがでしょうか。
5:11:17	北海道電力の佐藤です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

5:11:19	はい、承知しました。
5:11:22	はい。規制庁熊谷です。私からは以上でございます。
5:11:30	はい。江藤規制庁藤原ですが規制庁側の方ではい、じゃあタカマツお願いします。
5:11:37	すいません規制庁田内ですけれども。
5:11:40	ちょっと紙資料の中で、結局この止水ジョイントってまず定着材が、
5:11:52	アンカーボルトでね。
5:11:53	改良度と一体になってますよってということと、その定着材に、マボルトねじで、
5:12:03	押さえ金具をつけてゴムジョイントのゴムがついてますよっていう構造になってますということで、
5:12:10	そもそも止水機能としてね斯様な通り機能するんですって説明って、どっかにあるんですか。
5:12:19	一番近いの申し上げたばアノパワーポイントの3ページの、
5:12:25	構造から言ってるやつなんすけど上から五つ目下から二つ目止水ジョイントの構造は、構成部材定着部材押さえイダ及び袋ナットでゴムジョイントをセメント改良に固定することで、
5:12:38	ちょっとごめんなさい、このセメント改良に固定するってのが正しいかどうか僕ちょっとはな疑問なんだけれども、
5:12:46	ここぐらいしかちょっとないのかなって説明されてるんだよ要は構造としてこういう構造だから止水性がちゃんと機能するんですよって説明ってこの資料に何かはっきり書いてあるのはあんまりないんじゃないかなって気がしてるんですよ。
5:13:02	なんかアンカーボルトの話だといっぱい出てくるんだけれども、
5:13:08	我々が基準上求めているのは、津波が来たときに津波の水が浸入しないようにしてください。陸地ナカノね膨張の違いに入るようにしてくださいねっていうのが本来の目的だと思ってるんですよそれが、
5:13:21	斯様な通り達成されるんですっていうのをこういう構造をもってして達成しますって話が、
5:13:25	どこに書いてあるんでしたっけっていうのがまず一つ。
5:13:31	であるならばパワーポイントでこれはどっかまとめCMとかでもいいんですけどもそういったところをちょっと一つ加えていただ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いた方がまずそういった構造ですよっていう前提のもとに各パーツパーツがどういうふうにし、
5:13:44	構造としてね、成立性としてね、照明、説明すればいいのかなって話なのかなって気はしてます。
5:13:50	そういう意味だとすいませんさっき言った文章の改良度に固定する構造これちょっと、
5:13:56	検討してください回路に固定してるわけではないですよ。
5:14:02	定着部材と一体になってるんですよ。ゴム状のゴムゴムが、
5:14:07	その定着部材が改良と言ったようになってるんですよ。直接ではないですよ、定着部材返してるんですよ。
5:14:15	ところまで一つ。
5:14:18	回動電力の佐藤です。
5:14:23	3枚目のスライドで、右側に、この施工目地における止水ジョイント構造として書いてる止水ジョイントの定義なんですけども、
5:14:33	こういうゴムジョイントとか定着部会とかアンカーボルトを含めたものが、止水ジョイントだと。
5:14:41	いうふうに定義してまして、
5:14:44	なので、止水ジョイントはセメント改良度に固定というふうに、
5:14:50	書いてます。
5:14:55	うん。ただ、
5:14:56	本文でゴムジョイントセメント改良ドイ固定なのでちょっとこのゴムジョイント、
5:15:02	ってというのがちょっと、
5:15:04	うそというか変な文章になっちゃった。
5:15:06	どうかなと思って、今ご指摘、
5:15:22	そうですね議論を踏まえると、
5:15:27	ゴコウ目の丸の本文の方をちょっと修正させていただきたいと思います。もう少しこの、
5:15:33	止水ジョイントの、
5:15:35	セメント改良に肯定されるという文章をしっかりと書きます。はい。
5:15:54	いずれにしろですね構造が想像できるような形でここが表現できるようなことはしていただけますかねちょっとこれだと勘違いしてしまうようなところもあるかと思うんで、まず一つこれお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

5:16:12	それともう一つなんですけど、
5:16:20	さっきのその止水をどうやって、
5:16:23	達成するんですかっていう構図甲殻構造でねこういう斯様な通りやりますってのが本来あって、多分、資料3-2の128ページ。
5:16:35	損傷モードなんですけれども、
5:16:39	これね、表の7-5、第7-5表のところで、機能要求機能を喪失する事象としてこれが上がっているのは、
5:16:55	どういう理由でんですか、どういうふうにこれが、
5:16:59	抽出されたんですか。
5:17:02	普通だったら、さっき言った止水機能をかながみて、構造に展開して、その構造に対して弱部となるような話っていうのを網羅的に展開して、
5:17:13	それに対して、いかような通りイセ、設計施工上の配慮しますって話が本来あるんじゃないかなと思うんですけれども。
5:17:22	そういった意味ではさっき言ったように定着部材と改良体がまず一体になってなきゃいけないから、そこがハダハラにしないことってのが、もうここにも書いてあんだけどね、入ってるだろうし、
5:17:32	袋なったとなつたとね、押さえ金具とゴムが一体になってることと、これがなかったら、隙間から漏れちゃうわけだから、ここも検討しなきゃいけないんじゃないんですかってこれは何か企画課なんか使ってへ、大丈夫ですよって言ってんのかもしれないんだけど、
5:17:47	そことかの注意とかかってないんですかねとかいう話で、あとはそれぞれの部材が損傷するっていうことで泣いたら漏れますよねって話だから損傷モードって考えてるんですけど。
5:17:57	そういったことで、ここら辺はちょっと網羅的に展開されているのかどうか何をもとに展開してるのか、普通だったら構造をそれぞれつぶさに見てここが弱面ジャブジャブってなるからそれに対してコメントをするっていうような話になってんじゃないかなと思うんですけれども。
5:18:11	正木道じゃないところだけ確認をさしてください。
5:18:16	ちょっと検討してください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

5:18:25	そういった意味だとねもう一つ言っちゃうんだけど、端部の埋め込み部だって本来弱部になってくるからこういうところに上がってくるんだと僕は思ってますよ。
5:18:34	それともう一つ言わせてもらおうと、これ、通常の標準みたいなどころの、ゴム止水ジョイントの話なんだけど、
5:18:44	幹部については検討しなくていいんですか、構造が違うんですよ。
5:18:49	止水性としてどういう機能を持たせるのか、あっちはあの端部のところは、アンカーボルトと一体になったところでゴムを全部押さえていってそこで止水性を一括管理、担保するっていうな構造になってるじゃないですか。
5:19:01	ここと構造違いますよね。
5:19:04	というところで、必要なところをちゃんと抽出してそれに対する網羅性っていうのをちゃんとパーツパーツごとに展開してもらってそれに対して、問題ないですよって話が本来あるんじゃないかなと思ってんですがちょっと、
5:19:18	もう少し事業者の方で検討いただければと思います。以上です。
5:19:34	北海道電力の辰田です趣旨は 100、のまとめ資料の 128 ページのこの、なぜ抽出されたか、先ほどの今、
5:19:44	端部の話も含めてな、どういうことをやろうとしてるのかというところも含めて、抽出の仕方と、その対応の方法、やらなきゃいけないことというところをちょっとこの表で整理をさせていただきます。
5:19:56	以上です。この中で修正します。
5:20:30	規制庁藤原ですがその他規制庁側から Web で参加の方も含めて何か確認したいこと等ございますでしょうか。
5:20:48	じゃあねそしたら今回のヒアリング
5:20:53	に関するヒアリング、事実確認事項のコメントの良否についての確認を一番最初の膨張での構造成立性評価結果含めて、
5:21:04	やりたいと思います。お手元に資料 2-4 の方から、
5:21:09	ご準備いただけますでしょうか。
5:21:45	それではお手元にご準備できてらっしゃるルーのような気もしますので
5:21:51	ナンバー8、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

5:21:53	これは1号埋め戻し等を使ってるという、口頭での回答があったんですけどちょっとこう回答概要が全然そこ書いてないんで、ちゃんとそこは書いた。
5:22:05	か。
5:22:06	一応、口頭で確認をしたということなんで、一応進みにしても、
5:22:10	いいすかねこれは。はい。これはちょっと回答概要だけちょっと訂正して、今後廃炉にするんですけど赤字でちゃんとへと変更したものをやったり、
5:22:21	スミダさせていただきます、ああしますはい、じゃあその次、ナンバー58番につきましては、
5:22:28	これワー一応説明は何かとせ。
5:22:35	んとこ置換コンクリートのやつかな。うん。
5:22:38	説明はあったということ量になります。
5:22:41	その時N o. 60番は、
5:22:46	一応、津波重畳評価における地下水位設定について設定方針整理し説明っていうことで、これ今日、
5:22:53	そうですねなんかもナカセの方のコメントがあったと思うので、これは、
5:22:59	継続ですね。はい。
5:23:01	継続です。
5:23:03	その次79番の止水水の漂流物の衝突に対する、
5:23:08	配慮について、一応ちょっと説明はあったんですけどナカゾノからリンクとかいう話もあったと思うんで一応これはツツミにしますけど中沢が言った内容については改めてちゃんと
5:23:18	やっていただけるようお願いします。
5:23:21	次ナンバー115番は、
5:23:24	2次元と3次元で相違してることに對
5:23:29	で、
5:23:31	距離物、
5:23:33	を、もう一度説明は、
5:23:36	だということですかね。これは、
5:23:37	うん、以前ちょっと小宮さんの方からこれコメントだったんですけども、これはいいですかね。
5:23:42	はい、じゃあこれは了といたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

5:23:56	続きまして 124 番はアンカー後取り配置によって単体となりその単体の評価の根拠についてちゃんと
5:24:05	してねっていうところについては、
5:24:08	そうですね。
5:24:10	一応ちょ、
5:24:11	コース。
5:26:20	北海道電力の千葉です。こちら衛藤ヒアリングコメント 124 番について、衛藤、こちらは今回の当資料で、アンカーボルトの直交配置の渦中分担の考え方で、そこへと保守的な荷重の江藤アベ型の設定をしていると。
5:26:37	そういうことを江藤記載しているのと、応力、
5:26:42	応力状態につきましては F E M で、コウニントウ段階で説明するとその記載をしているので、そこがこの江藤回答の概要の中身になるのかなと思っております。
5:26:57	こちらの概要の江藤を衛藤修正させていただきます。
5:27:06	修正する予定。
5:27:10	規制庁今のようなその趣旨で、一応修正するというのは角になりますので、一応だからここは灰色ハッチングした上で、修正した文字は赤文字で、
5:27:20	さっきと一緒に回答いただけるように提出をお願いします。
5:27:26	じゃあ、次の方へと資料 3-4 の方ですかね、の方に行きたいと思いまして、
5:27:37	ナンバー 116 番、
5:27:40	これはアンカーボルトが、これわあ、
5:27:46	うん。
5:27:51	そうです。さっきと一緒にということですね。
5:27:54	はい。
5:27:57	そう。
5:27:59	続きまして 119 番。
5:28:02	これ、
5:28:41	その文章としては、
5:28:44	追加性能試験は不要ってんといえ言えないですよ何かその形も変えるし、
5:28:52	この言葉残さないほうがいいんじゃないですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

5:28:56	うん。
5:29:13	もう少し申し上げると、うん。
5:29:17	だからか、そういうふうには回答してくれれば、
5:29:21	よろしいかと思えますけど、はい。
5:29:27	北海道電力の千葉です。こちらの追加試験の記載につきまして、江藤小工認段階の設計で、年価値を変える時にはそのアカシ試験を、また主要会で実施するとそういうことも考えておりますので、
5:29:42	そこの衛藤記載を修正させていただきたいと考えております。
5:29:48	規制庁じゃないけど今のお話については申請の方針があるということで、次回は色にした上で、変更箇所を赤文字で示してください。
5:29:58	次は125番、アンカーボルトタテところの荷重分担の考え方を説明。はい。これは了解ということで江田鷺見とします。
5:30:09	その次128番の直行方向に変化する負担のメカニズムについてです、これも呉量になります。
5:30:19	次131番ゴムジョイント止水が耐候性耐久性はこれは、はい。継続です。
5:30:27	頭に書いてください。
5:30:31	はい。
5:30:33	ああいう、
5:30:49	と、132番の方に行きますと、
5:30:53	端部コンクリートの直交かボルトの配置及びも呉会ということ端部とは直交の考え方についてはこれさっきあれですかね、タダウチの話が、
5:31:03	ことも踏まえて、
5:31:06	んですかね。そうですね。
5:31:56	はい91を内容については理解しました別途、これについては、
5:32:02	鷺見都市マスその次、134番、
5:32:07	基本営業系。
5:32:09	同ケースの1人を整理し、説明これはそうですね一応説明がなされたということで、フローも作成これも済みとさせていただきます。
5:32:18	以上ですかね。はい。
5:32:20	今のお話、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

5:32:23	このコメント回答リストの良品費について、何か北電の方から確認、或いは規制庁から、
5:32:31	よろしいですか。
5:33:13	以上でそしたらちょっと本日のコメントの
5:33:16	ヒアリング内容についてちょっと整理をしますので、1回ちょっと文字起こしを停止します。
5:33:45	はい。規制庁フジワラそれでは本日の確認事項についてまとめましたので読み上げます。まず資料2シリーズの方からなんですけども、
5:33:55	地震の継続時間が議事課に与える影響を踏まえて、要は代表として選定した基準地震動、3.5が妥当、選定の妥当性について説明をいただきたいと思います。
5:34:08	その次については、ちょっとお待ちください。
5:34:14	はい。同じく資料2のシリーズで施工目地に緩衝材がない場合の、堤体間の延長方向の応力オビタツジでは説明をしてください。
5:34:25	その次、年資料2の方の定着材に保護材リブをつけた理由を説明してください。
5:34:35	その次、資料2のシリーズで制震初月例. 5の根拠については検討をした上で説明をしてください。
5:34:44	以上です。何か、本日の内容について、事業者の方から確認ございますでしょうか。
5:34:58	はい、北海道電力からはございません。
5:35:01	それでは今日のヒアリングについては以上としたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。